

326
13

5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

始



326
13

第九回上水協議會議事錄

岡山市主催

上水協議會

第九回上水協議會議事録目次

一、上水協議會規定	一
一、加盟各所	一
一、協定上水試驗法	二
一、協定事項	九
一、日誌	一八
一、議席表	一九
一、問題	二五
一、議事筆記	四〇
一、講演	二六二
水道鐵管ノ破裂ニ就テ	
内務省技師 阪田 貞明君		
傳染病ト上水道	
醫學博士 遠山 椿吉君		
一、實驗報告	
陸軍省醫務局回報.....紫外光線殺菌力實驗ノ件	二八五



水菌種類ト季節トノ關係……………二九七

水菌種類調査報告……………二九八

汚砂掃除法ト濾水ニ及ボス影響……………三〇一

濾過池削リ取後久シク濾過効力ノ完カラザリシ三例……………三〇六

膠質肉越幾斯寒天ニ於ケル水棲菌發育比較試驗……………三〇九

インドール反應ニ依ル淨水早期ノ檢査法應用……………三一〇

上水試驗法第二化學的試驗法(一)清濁及ヒ色ノ試驗ニ七十仙迷ノ水層トアルヲ直徑二仙迷以上高サ廿四仙迷ノ水層ニ改ムルノ可否ニ就テ……………三一

濁度ノ定量の標準物ニ油類混和水ヲ應用スルノ可否ニ就キテ……………三二

色度ニ沃度液ヲ用フルノ可否ニ就テ……………三三

沈澄池ニ魚類ヲ飼養スルノ可否ニ關スル實驗……………三一五

水中ニ含有スル鉛ノ簡易証明法……………三一八

多摩川源水濁度ト浮遊物量トノ關係……………三一九

水源水質消極的調査……………三二二

濾過砂層汚染程度ニ就テ第二回報告……………三二六

藥物沈澄法ヲ併用シタル濾水並ニ普通濾水ノ各濃厚熱液ハ鉄(蒸氣罐)ニ對……………三二六

東京市報告

大阪市報告

堺市報告

横濱市報告

横濱市報告

廣島市報告

朝鮮總督府報告

臺灣總督府報告

(シ如何ナル影響ヲ及ボスマ第二回報告……………三二九

濾過池ニ發生スル藻ノ濾過効力ニ及ボス影響……………三三二

横濱市内ノ重ナル學校ト其給水ニ就テ……………三三四

横濱市上水ニ濁濁ヲ呈スル物質ニ就テ……………三五〇

紫外光線ヲ應用セル用水殺菌器ニ就テ……………三五二

給水鉛管外面ヨリ腐蝕シ破裂ノ原因トナルコト尠カラズ其防止法如何……………三六三

鐵管内面ニ簇生スル疣狀鉄鏽ニ就テ……………三六五

秋冬春ノ期ニ於テ水菌培養ヲ坑道内ニ行ヒタル成績報告……………三六六

濾過池汚染程度ニ關スル報告……………三六七

濾過速度ト濾過効力トノ關係……………三六九

無蓋圓形配水池ノ各部分ニ於ケル細菌數調査……………三七三

濾過池換砂ト細菌數……………三七五

配水管ノ感電ニ對スル報告……………三七六

水質硬度ノ軟化試驗成績……………三七九

硬度ノ定量方法トシテ「クラーク」氏石鹼方法ガ誤差ヲ生スル原因ニ就テ……………三九二

臺灣總督府報告(第一報告)……………三九二

「大腸菌屬ノ存否ヲ檢スル條項ヲ細菌學的檢査法中ニ加フルノ必要ナキヤ」ノ問題ニ就テ……………三九九

新ニ發見シタル淡水海綿蟲ニ就キ……………四一〇

岡山市上水濾池ニ蕃殖シ主トシテ濾膜ヲ構成スル藻類ニ就キ……………四一一

濾池除泥前後ニ於ケル細菌數ノ消長並ニ濾過効力ニ關スル第一報告……………四一三

濾過池補砂前後ニ於ケル細菌數ノ消長並ニ濾過効力ニ關スル報告……………四一八

濾池除泥前後ニ於ケル細菌數ノ消長並ニ濾過効力ニ關スル第二報告……………四二四

岡山市上水濾過池砂層ノ試驗成績第一回報告……………四二九

濾過用砂ニ就テ第一回報告……………四三三

上水道改良前後ニ於ケル三種傳染病ノ統計的調査……………四四九

萬國原子量表……………四五〇

參 考 木浦居留民團報告水道沿革及概要……………四五二

一、東京市統計表……………一一

一、京都市統計表……………九

一、大阪市統計表……………一七

一、堺 市統計表……………二四

岡山市報告

- 一、橫濱市統計表……………三二二
- 一、神戸市統計表……………三五
- 一、長崎市統計表……………四六
- 一、佐世保市統計表……………六七
- 一、新潟市統計表……………七一
- 一、廣島市統計表……………七九
- 一、下關市統計表……………八七
- 一、朝鮮總督府統計表……………九四
- 一、臺灣總督府統計表……………一二〇
- 一、關東都督府統計表……………一五五
- 一、南滿洲鐵道株式會社統計表……………一七四
- 一、岡山市統計表……………一八〇

●上水協議會規定 (第八回上水協議會ニ於テ改正)

- 一 本會ハ改良水道ヲ存スル各所ノ當事者會同シテ上水ニ關スル諸種ノ事項ヲ研究シ且ツ相互ノ報告ヲ交換スルモノトス
- 一 本會ハ毎年一回各所輪番ニ開會ス
- 一 開會地及ヒ其時期ハ前會ノ決議ニ依リ之ヲ定ム
- 一 加盟ノ各所ハ必ス當事者ヲ出席セシムルモノトス
但人員ヲ限ラス
- 一 開會ニ關スル事務ハ當番所ニ於テ之ヲ擔當ス
- 一 當番所ハ加盟外(既設及ヒ計畫中)ノ各所ニ對シテ加入ノ勸誘ヲ爲シ開會ニ際シ報告スルモノトス
- 一 當番所ハ内務其他當局者ノ臨席ヲ申請スルモノトス
- 一 會議ノ議長ハ當番所ニ一任スルモノトス
- 一 本會ニ於テ協定シタル事項ハ議事録協定試驗法ノ次ニ掲載スルモノトス

●加盟濟及新加盟ノ箇所

東京、横濱、大阪、函館、秋田、神戸、廣島、下ノ關、佐世保、長崎、岡山、青森、吳、堺、新潟、名古屋、小樽、門司、京都、甲府、小倉、仙臺、高崎、長野ノ各市、臺灣總督府、朝鮮總督府、關東都督府、南滿洲

鐵道株式會社、釜山居留民團 以上二十九箇所(加盟濟)

宇都宮市、德島市、高松市、富山市、福山町、玉島町、木浦居留民團 以上七ヶ所(新加盟)

●協定上水試驗法

第一 採酌法

一、上水試驗用ノ採酌ハ左ノ三部分ヨリスルコト

一 水源

毎年春秋ノ二季ニ水源適宜ノ地ニ就キ採酌ス

水源地ニ沈澄地ヲ有スルモノハ本條ニ據ル

其他必要ニ應シ臨時採酌ヲ行フヘシ

二 淨水場

濾池、淨水池、溜井及ヒ沈澄池ハ毎日一回採酌スルコト

濾池、淨水池、溜井等甚タ遠隔スルモノハ其給水栓ニ就キ本條ヲ適用ス

事情ニ依リ一週一回迄ハ省略スルコトヲ得

三 給水栓

適宜ノ部分ニ就キ時々採酌スヘシ

二、採水器械ハハイロート氏法或ハエスマルヒ氏法ニ據ルモノヲ用ユルコト

八、但細菌學の検査用ノモノハ各箇ノ瓶ニ所属スル全装置ヲ殺菌スヘシ

三、濾池、淨水池及ヒ溜井等ニ於テハ可成周圍及ヒ深サノ中央ヨリ採酌スルコト

四、給水栓ヨリ採酌スルトキハ充分開放シテ五分時以上放流セシメタル後採酌スルコト

五、一定所ニ於ケル採酌ハ細菌學の検査用ノモノヲ先ニシ化學的検査用ノモノヲ後ニスルコト

六、濾池、淨水池、溜井等ニ於テ採酌スル場合ニ被蓋アル部ニシテ降雨ノ際ナルトキハ開放ノ爲メニ汚水混

入ノ虞アルヲ以テ暫時ノ後水質平均スルヲ待テ採酌スルコト

七、水温ハ採酌所ニ於テベツテンコーフェル氏採水檢温器ヲ以テ計リ、氣温ハ可成採酌所ニ近キ處ニ於テ日

光ノ直射ヲ避ケ計ルヘシ其時間ハ十分時、示度ハ攝氏ニ依ルコト

第二 化學的試驗法

一、清濁及色

七十仙迷ノ水層ヲ白紙上ニ置キ其上方ヨリ透見ス濁濁ノ程度及色ハ白陶土及ヒ「カラメル」溶液ヲ以テ比

較試驗ヲ行フ、評語ハ「リーテル」ノ水ニ對シ白陶土及ヒ「カラメル」各一「ミリグラム」ヲ一度トス

但便宜上七十仙迷以下ノ水層ヲ用ユルコトヲ得又地方ニ依リ便宜上「カラメル」ニ代フルニ色素液ヲ用ユ

ルコトヲ得此場合ニ於テハ其色素名及ヒ分量方法ヲ附記スヘシ (第九回上水協議會ニ於テ追加)

二、臭氣

檢水二〇〇立方仙迷以上ヲ倍量以上ヲ容ルヘキ「コルベン」ニ取り四十度乃至五十度ノ熱ヲ與ヘテ試驗ス

三、味

檢水冷却ナルトキハ温ヲ與ヘ十五度乃至二十度ニ於テ試験ス

四、反應

一 反應ハ中和シタル「ロゾール」酸溶液ヲ以テ試験ス、評語ハ弱酸性、中性、微弱亞爾加里性及ヒ亞爾加里性トス（第九回上水協議會ニ於テ追加）

二 反應ノ定量試験ハエルムス氏法ニ據ル（全上改正）

五、格魯兒ノ定量

檢水二〇〇立方仙迷以上ヲ蒸發シ濃稠トナシモール氏法ニ依テ定量ス但十分ノ一若クハ百分ノ一定規硝酸銀液ヲ用ユ

六、硫酸

檢水二〇立方仙迷ニ鹽酸ヲ加ヘ酸性トナシ更ニ格魯兒技留濾液ヲ加ヘ十二時間ノ後上清ヲ傾斜シ其濁濁ニ因テ量ノ多少ヲ定ム、評語ハ微痕跡、痕跡、極少量、少量トス但シ多量ノ場合ニハ定量スルコト

七、硝酸

檢水一〇立方仙迷ヲ蒸發シ其殘留物ヲ蒸餾水一立方仙迷ニ溶解シ之ニ純硫酸三立方仙迷ヲ和シテ冷却シタル後「ブルチン」一二ミリグラムヲ投シテ比色定量スヘシ（第八回上水協議會ニ於テ改正）

八、亞硝酸

檢水五〇立方仙迷ニ稀硫酸(1:3)一立方仙迷ノ比例ヲ以テ密閉スヘキ硝子圓筒ニ容レ十二仙迷ノ水層ヲ造リ之ニ沃度亞鉛澱粉糊ヲ加ヘテ試験ス但沃度澱粉溶液ノ製法ハ日本藥局方ニ據ル

九、安母尼亞

檢水一〇〇乃至一五〇立方仙迷ニ對シネスレル氏試藥(チーマン、ケルトネル氏檢水書ニ據ル)一立方仙迷ノ比例ヲ以テ注加シ白紙上ニ置キ反應ノ有無ヲ見ル但水層ノ高サハ十五仙迷トス

一〇、鉛

檢水五「リ―テル」ヲ取り醋酸ヲ加ヘ著シキ酸性ヲ與ヘ蒸發シテ約五〇立方仙迷トナシ十立方仙迷ノ水層ヲ造リ硫化水素ヲ通ス若シ鉛含有ノ疑アルトキハ他ノ反應ヲ試ム（第九回上水協議會ニ於テ但書削除）

一一、有機物ノ定量

ク―ベル氏ノ法ニ依リ定量ス、但百分ノ一乃至四百分ノ一定規過滿俺酸加留濾液ヲ用井煮沸時間ハ五分トス

一二、硬度

クラルク氏ノ法ニ依リ總硬度ヲ定ム（第九回上水協議會ニ於テ但書削除）

一三、蒸發殘渣ノ定量

檢水二五〇立方仙迷以上ヲ蒸發シ蒸氣乾燥器ヲ以テ二時間以上乾燥セシメテ秤量ス

一四、蛋白性安母尼亞

内容ニ「リール」以上ニシテ頸口ニ近キ所ヲ下方ニ向ケ鈍角ニ屈曲セシメタル有栓「レトルト」ヲ取り頸
 ヲ斜メニ上方ニ向ケ「リール」ビヒ氏冷却管ヲ接続シ蒸餾水「リール」ヲ「レトルト」中ニ注入シ之ニ結晶炭
 酸ナトリウム約一瓦ヲ加ヘテ安母尼亞ノ發生ヲ見サルニ至ル迄蒸餾シ次テ檢水五〇〇ccヲ注入シ可及的
 速ニ蒸餾シ餾液五〇cc宛ヲ順次ニ取りネスレル氏試薬ヲ用非色像試験ニ依リ安母尼亞鹽トナリテ存在ス
 ニル安母尼亞ヲ定量シ（水層ノ高サハ三十二乃至三十六仙迷トシ檢水ノ蒸餾シタルモノ五〇立方仙迷ニ對
 シネスレル氏試薬一立方仙迷ヲ用フヘシ）更ニ「レトルト」中ノ殘液ニ亞爾加里性過滿俺酸加留謨液一〇
 〇立方仙迷ヲ加ヘ蒸餾シ一〇〇立方仙迷宛ヲ三回ニ取り前法ニ依リ蛋白性安母尼亞ヲ定量スヘシ

亞爾加里性過滿俺酸加留謨溶液

精製水酸化加留謨二〇〇「グラム」及ヒ結晶過滿俺酸加留謨八「グラム」ヲ蒸餾水「リール」ニ溶解シ之
 ヲ「レトルト」中ニ注入シ安母尼亞ヲ驅除スル爲メ二〇〇乃至二五〇立方仙迷ヲ蒸餾シ冷後蒸餾水ヲ加ヘ
 一〇テ全量ヲ「リール」トナス

色像的定量用「クロールアンモニウム」溶液

精製「クロールアンモニウム」ヲ細末トナシ攝氏百度ニ於テ乾燥シ其三、一四七「グラム」ヲ蒸餾水「リ
 ール」ニ溶解シ（一立方仙迷ハ安母尼亞（NH₃）一「ミリグラム」ヲ含ム）用ニ臨ミテ稀釋ス

一五、水質定量分析ノ計算ハ最近萬國原子量表ニ據ルコト

一六、本法四ノ第二項及ビ七、一〇、一一、一四ハ必要ニ應シ施行スルモノトス（第九回上水協議會ニ於テ追加）

第三 細菌學的試驗法

培養準備

一、培養基ハ肉越幾斯膠質ヲ用ユルヲ常規トス
 其處方左ノ如シ

リールビヒ氏肉越幾斯	十分
食鹽	五分
ペプトン	十分
膠質	二百五十分以内
水	千分

但報告ニハ膠質ノ含量ヲ付記ス

二、膠質培養基ヲ使用シ難キ事情アルトキハ肉越幾斯寒天ヲ代用スルコトヲ得、カ、ル場合ニハ備考ニ其旨
 ヲ記載シ併セテ培養溫度ヲ付記スルヲ要ス

但寒天ハ二%以内トシ其他ハ膠質培養基ノ製法ニ準ス

三、培養基ノ反應ハ中和ノ後「リール」ニ對シ純結晶炭酸那篤留謨一・五ヲ加ヘ亞爾加里性トナス

四、培養基ハ可成新鮮ノモノヲ用ユ若シ製造後一週間以上ヲ經タルモノヲ用ユル時ハ時々其亞爾加里性ヲ檢
 スヘシ

培養

- 五、培養ハ採水直後該地ニ於テ施行スルコト
- 六、採水位置ニ於テ培養ヲ實行シ能ハサル場合ニハ可檢水ヲ氷ヲ詰メタル冷器内ニ保存スヘシ但此場合ト雖モ一時間半ヲ超過スヘカラス
- 七、濾過水ハ各一種ニ就キ〇・五立方仙迷宛ヲ二箇ノペトリ―氏皿ニ注キ豫メ溶解シタル膠質（三十度以下ナルヲ要ス）ヲ注キ靜ニ動搖シテ能ク混和セシム
- 八、源水又ハ沈澄池ノ水ニシテ細菌含量多數ナルモノハ殺菌水ヲ以テ適宜十乃至百倍ニ稀釋ス
- 九、培養平板ハ攝氏二十二度ノ溫度ニ靜置ス

聚落計算

- 一〇、聚落ノ計算ハ培養後四十八時間ニ於テス
但絲狀菌ノ聚落ハ加算セス
- 一一、聚落多數ニシテ各箇ノ計算困難ナルトキハ平均法ヲ用フルコトアルヘシ
- 一二、平板上強液化性細菌アルトキハ該聚落ノ液化部分ヲ濾紙片ニテ吸收シ過滿俺酸加留膜溶液（五プロセント）ヲ液化帶ノ周圍ニ塗布ス

第四 飲料適否ノ判定

左ノ數項ノ一ニ該當スルモノハ飲料ニ適セサルヲ以テ直チニ改善ノ方法ヲ實行シ其間ハ必ス煮沸ノ後飲料ニ

供セシムヘシ

- 一、外觀異常アルモノ
- 二、異臭味アルモノ
- 三、直ニ亞硝酸及安母尼亞ノ反應ヲ呈スルモノ
- 四、過滿俺酸加留膜消費量十「ミリグラム」以上ノモノ
- 五、細菌聚落數百一個以上ノモノ但土地ノ狀況ニ依リ百五十一又ハ二百一個以上トナスコトアルヘシ
- 六、反應、格魯兒、硫酸、硝酸、固形物總量、硬度ノ異常アルモノ又ハ鉛ヲ檢出スルモノハ適宜其良否ヲ判定シ其他異常成分、病原的細菌混在ノ疑アルトキハ特ニ試驗ヲ施シ判定ノ上改善ノ方法ヲ施行スルコト

●協定事項

(一)統計諸表様式

何市水道統計表 (一)

大正 年 月 日現在

第一期	第二期擴張	第三期擴張	敷設年		工費	水源	取入レ方法	一平方吋水壓
			著手	完成				

同 (二) 大正 年 月 日現在 一〇

設計 戸計	戸數 口	戸口調查年月	戸數 人口	戸口調查年月	給
					水
					水
			日平均水量		日現在
			日平均水量		日現在
			日平均水量		日現在
			日平均水量		日現在
			日平均水量		日現在

同 同沈澄池 (三) 大正 年 月 日現在

池數	容積	上部		下部		總深	池	淨	水	延
		長	幅	長	幅					

同 (四) 大正 年 月 日現在

池數	面積	上部		下部		總深	池	淨	水	延
		長	幅	長	幅					

同 (五) 大正 年 月 日現在

池數	面積	上部		下部		總深	池	淨	水	延
		長	幅	長	幅					

同 (六) 大正 年 月 日現在

延長	管	上部		下部		總深	延	水	管
		幅	幅	幅	幅				

同 (七) 大正 年中

配水量	計消			給水		
	普通	特別	噴水	計給	量	計
	計量	計量	量	量	量	差
年中ニ於ケル最大一ヶ月給水量						
同上最小一ヶ月給水量						
同上平均一ヶ月給水量						

何市水道統計表(十)濾過水質試驗成績
大正 年自一月至十二月

大正 年	一二三四五六七八九十十二月												平均	備考	
	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月			
試驗回数															
色度	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均
濁度	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均
臭味	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均
反應	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均
格魯兒	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均
硫酸															
硝酸															
亞硝酸															
安母尼亞															
硬度	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均
固形物總量	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均
過滿掩酸加 留讓脫色量	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均
細菌聚落數	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最高	最低	平均

111



全市戶口	水道使用戶數	堀井又ハ河水等使用戶數	堀井數	堀井又ハ河水等ノ水質概況	同 (九)			同 (八)					
					大正 年 月 日現在	放任供給水料計	專用栓共用栓計	普通計量供給水料計	特別計量供給水料計	雜收入合計	維持費	修繕費	合計

112

年	大正	何市水道統計表 (十二)											
		平	十	十	九	八	七	六	五	四	三	二	一
次	二一	均月月月月月月月月月月月											
人	年	雨量											
口	雨	源水											
戶	量	細菌數											
數		格魯兒量											
給水栓數		カメレオン消費量											
死亡數		固形物總量											
死亡數		源水											
死亡數		濾水											
死亡數		源水											
死亡數		濾水											
死亡數		源水											
死亡數		濾水											
死亡數		源水											
死亡數		濾水											

何市水道統計表(十一)各種水質試驗成績
大正 年自一月至十二月

驗水種類	源水	沈澱池	濾過池	市内栓	備考
試驗回数					
色度					
濁度					
臭味					
反應					
格魯兒					
硫酸					
硝酸					
亞硝酸					
安母尼亞					
硬度					
固形物總量					
過滿俺酸加					
留膜脫色量					
細菌聚落數					

計	年								

備考 加盟各所ハ前年中ノ統計表(第一表乃至第十三表)ヲ製シ開會ノ際提出スルコト
 水質統計表中ノ數位小數ハ三位マテヲ記載スルコト (第九回上水協議會ニ於テ決定)

(二) 上水道職工工夫取締同盟規約

第一條 上水協議會ニ加盟セル各廳相互ノ便益ヲ謀ル爲メ上水工事ニ使役スル職工工夫ニ關シ本同盟規約ヲ締結ス

第二條 本規約ニ於テ職工工夫ト稱スルハ鐵工、鉛工其他ノ職工工夫ヲ云フ

第三條 同盟各廳ハ職工工夫ノ需用又ハ不用ニ關シ相互通知ヲ以テ融通上ノ利便ヲ謀ルノ義務ヲ有ス

第四條 從前他ノ同盟廳ニ於テ使役シタル職工工夫ヲ備役セントスルハ最近使役廳ノ承諾ヲ求ムルヲ要ス
 但シ一ケ年間ヲ經過シタルモノハ此限ニアラス

第五條 不都合ノ行爲アリタル爲メ職工工夫ヲ解備シタルトキハ同盟各廳ハ互ニ即時通知スルノ義務ヲ有ス
 但シ本條ノ職工工夫ハ滿一箇年間各廳ニ於テ使役スルコトヲ得ズ

第六條 同盟廳ヨリ職工工夫需用ノ通知ヲ受ケタルトキハ其需用ヲ充シタル後ニアラサレバ同盟以外ノ需用

ニ應スルコトヲ得ズ

第七條 他ノ同盟廳ニ就職中ノ職工工夫ヲ採用セシコトヲ發見シタルトキハ直チニ解備スヘシ

第八條 同盟各廳ニ於テ職工工夫ノ待遇上ニ關シ設定セル規定(内規ヲ含ム)ハ互ニ通知スヘシ

第九條 同盟廳ニシテ本規約ニ違背ノ行爲アリタルトキハ其關係廳又ハ之ヲ知リタル廳ヨリ上水協議會ニ報告シ其處分方ノ決議ヲ請求スルモノトス

第十條 同盟以外ノ廳ニ本同盟規約ニ抵觸ノ行爲アリタルトキハ前條ノ手續ニ依テ上水協議會ヨリ當該廳ニ警告ヲ與フルモノトス

(三) 加盟各所ハ加盟ノ際濾過用細砂及水菌培養ヲ交換スルコト

但砂種ヲ變換シ又ハ新ニ水菌種ヲ得タルトキハ追加分配スルコト

(四) 當番所ハ開會ノ際當年ノ萬國原子量表ヲ分配スルコト

(五) 當番所ハ開會ノ際附近ノ簡易水道所有所ノ出席ヲ勸誘スルコト

(六) 加盟各所ハ每年上水協議會ニ於テ水道使用條例ヲ交換スルコト

(七) 當番所ハ陸海軍省醫務局へ案内スルコト

一 第十回上水協議會開催地 朝鮮京城總督府ニ決定

一 第十一回上水協議會開催候補地 新潟市ニ豫定

●第九回上水協議會日誌

- 一 十月廿八日(月曜日)
 - 議 事 自午前十時至同十一時五十分
 - 岡山陸軍衛戍病院、水道水源地參觀 自午後一時
- 一 十月廿九日(火曜日)
 - 議 事 自午前九時五十分至同十一時三十五分
 - 吉備津宮及吉備津彦命山陵參拜、 自午後一時
 - 細谷川舊蹟探勝
- 一 十月三十日(水曜日)
 - 議 事 自午前九時五十分至午後四時十分
- 一 十月三十一日(木曜日)
 - 議 事 自午前九時十五分至午後二時四十分
 - 絹絲紡績工場及全國特産品博覽會參觀 自午後二時五十分
- 一 十一月一日(金曜日)
 - 議 事 自午前九時三十分至午後一時
 - 講 演 自午後一時十分至同三時

撮影、吉備樂演奏
招待會

自午後三時二十分後樂園內
自午後五時全所鶴鳴館

●第九回上水協議會議席表

一 番	東京市	常 設 委 員	塚 田 幸 三 郎
二 番	同	技 師 醫 學 博 士	遠 山 椿 吉
三 番	同	技 師	西 大 條 覺
四 番	同	事 務 員	稻 生 豐 三 郎
五 番	同	技 手	早 野 實
六 番	京 都 市	衛 生 課 長 主 事	山 田 平 三
七 番	同	水 道 事 務 所 庶 務 主 事	福 田 峯 造
八 番	同	課 長 兼 給 水 課 長	原 全 路
九 番	同	全 所 工 務 課 長 技 師	平 井 勝
十 番	大 阪 市	全 所 技 手	岩 田 成 實
十 一 番	同	土 木 課 長 技 師	龜 井 重 磨
十 二 番	同	上 水 道 工 事 課 主 任 技 師	安 川 勝 太 郎
十 三 番	同	上 水 供 給 係 主 任 書 記	中 野 昂 一
		衛 生 試 驗 所 技 師	

十四番 (不參)	同	同	技手	皆吉
十五番	堺市	助役兼水道課長	中村貞義	
十六番	同	技師	曾我長二郎	
十七番	同	書記	今井市藏	
十八番	同	囑託	岩崎日出雄	
十九番	同	技手	佐藤昇	
二十番	同	書記	相良顯三	
二十一番	同	技師	水野廣之進	
二十二番	同	衛生試驗所技師	御庄勝治	
二十三番	同	水道課長書記	柳原保太郎	
二十四番	同	技師	中島四方三郎	
二十五番	同	水質試驗所技手	中山貞次郎	
二十六番	同	第三課長主事	足立正人	
二十七番	同	技手	小島米助	
二十八番	同	助役	小原悠平	
二十九番	同	水道技師	清水新吉	

三十番	高崎市	助役	山崎金四郎	
三十一番	名古屋	水道事務長	丹羽勉	
三十二番	同	水道技師	新井榮吉	
三十三番 (不參)	甲府市	市長	加藤平四郎	
三十四番 (同)	同	(職氏名不定)		
三十五番 (同)	仙臺市	助役	千葉胤雄	
三十六番 (同)	同	書記	草刈直嘉	
三十七番	青森市	技師	小林吉次郎	
三十八番	富山市	助役	福村信一	
三十九番 (中途參會)	玉島町	町長	廣瀬正雄	
四十番	廣島市	自營課長書記	廣山亮一	
四十一番	同	技師	今中權六	
四十二番	同	技手	橋本安吉	
四十三番	同	書記	山本要之助	
四十四番	同	町長	市來圭一	
四十五番	同	第四課長主事	山中祿藏	

四十六番	同	技	橫山	信
四十七番	德島市	市長	一坂俊太郎	
四十八番	同	書記	佐藤十二郎	
四十九番	高松市	助役	西村半藏	
五十番	同	技手	土屋廣藏	
五十一番	門司市	水道課長書記	田中敬二	
五十二番	小倉市	技師	小島春次郎	
五十三番	同	書記	旗生武憲	
五十四番	朝鮮總督府	技師	山岡元一	
五十五番	同	京畿道技手	秋田金治	
五十六番	同	同	酒井謙治郎	
五十七番	同	平安南道技手	二日市貞一	
五十八番	臺灣總督府	技師	濱野彌四郎	
五十九番	同	研究所技師	堀内次雄	
六十番	同	作業所技手	梶田忠彦	
六十一番	同	技手	粕谷隆次	

六十二番	關東都督府	作業所技師	石尾	積
六十三番 (不參)	同	同	井口大助	
六十四番	南滿洲鐵道株式會社	同	井澤耕造	
六十五番	釜山居留民團	技手	奧澤耕造	
六十六番	木浦居留民團	會計役	多賀誠吉	
六十七番	岡山市	助役	藤野十太郎	
六十八番	同	技師	中山寬	
六十九番	同	同	太田歸一郎	
七十番	同	書記	石原勝太郎	
七十一番	同	衛生試驗所技師	尾崎文吉	
七十二番	同	同	片平周三郎	
七十三番	同	同	松本恒太郎	
	同	同	古武菊次	

●懸案中ノ研究諸題 (參考)

- 一、濾過速度十呎ヲ超過シタルトキ砂ノ洗滌程度並ニ微菌ニ及ボス現象(台灣總督府)
- 二、普通濾過ノ方法ト器械的濾過ノ方法トノ微菌ニ及ボス影響(台灣總督府)
- 三、貯水池ニ發生スル藻ノ驅除法(神戸市)

- 四、濾過水中ニ嫌氣性微菌ノ存否(東京市)
- 五、水中動物ノ種類調査ノ件(東京市)
- 六、水中細菌ノ種類調査ノ件(東京市)
- 七、井水ト濾過水トハ孰レカ早ク腐敗スルヤ(長崎市)
- 八、病原菌ノ上水中ニ生存スル時間(東京市)
- 九、細菌數ニ一致スル化學的成分ノ研究(東京市)
- 一〇、藥物沈澄法ニ源水亞爾加里性ノ關係(東京市)
- 一一、低溫孵化器ノ實驗如何(東京市)
- 一二、夏期水室内膠質孵化ノ方法及其成績如何(東京市)
- 一三、低溫孵化器ト氷室トノ成績如何(東京市)
- 一四、貯水池ノ魚類蕃殖カ水質ニ及ホス害否若シ害アラハ其救濟方法如何(神戸市)
- 一五、水中微生體ノ產生物ト水質トノ關係(橫濱市)
- 一六、水道中ニ病原其他危險物ノ混入シタル時最モ迅速ニ檢知スル方法(橫濱市)
- 一七、地下水ガ水道鐵管ニ及ホス影響(橫濱市)
- 一八、源水並ニ濾過水中ニ大腸菌ノ存否並ニ年中ニ於ケル其蕃殖狀況(橫濱市)
- 一九、濾過池ノ換砂又ハ除泥ヲナシ入水使用後濾過効力ノ確實トナル迄ノ期間並ニ濾過効力持續ノ期間ヲ測

ルコト(橫濱市)

- 二〇、沈澱池濾過池鐵管内ニ發生スル微生物ノ年中ノ繁殖狀況及濾過力ニ及ボス影響並ニ細菌ノ存在ニ起因スル水中ノ安母尼亞化合物ノ變化如何(橫濱市)
- 二一、沈澄池ニ生スル土壤利用試驗(神戸市)
- 二二、濾過速度ト水質ノ關係(神戸市)
- 二三、水側面垂直ニシテ比較的薄キ池壁ニ對スル經濟的水止策如何(京都市)
- 二四、蘚苔蟲及淡水海綿蟲ハ濾過水中ニ繁殖シ得ヘキヤ(岡山市)
- 二五、導水鐵管内ニ繁殖シタル蘚苔蟲及淡水海綿蟲ノ驅除方法(岡山市)
- 二六、濾過速度ト濾過効力トノ關係(臺灣總督府)

●第九回上水協議會問題

問題	提出市	協定要領
○宿題		
一、硬度ノ種々ナル定量法ニ就キ實際何レカ最モ適當ナルヤ	橫濱市	次回マデ宿題トスルコトニ決ス
二、「アムモニヤ」ノ試驗藥タル「ネスレル」氏液ノ調製ニ關シ昇汞法ト沃度汞法トノ優劣	橫濱市 宿題	

三、濾過水ニシテ避クヘカラサル濁濁ノ場合アリタリトセハ其濁度ト水質トノ關係	横濱市	宿題
四、上水試験法第二化學的試験法(一)清濁及色ノ検査法中濁度ノ標準物タル白陶土ニ換フルニ一定不變ニ製出シ得ラル、物質撰定ノ件	大阪市	宿題
五、上水試験法第二化學的試験法(一)清濁及色ノ試験法中「七十仙迷ノ水層」トアルヲ「直徑三仙迷以上高サ二十四仙迷ノ水層」ニ改メタシ	大阪市	但シ書トシテ改正スルコトニ決ス
六、色度標準液ノ改良法研究	東京市	宿題
七、「インドール」反應ニ由ル淨水早期検査法ノ應用如何	東京市	終了
八、水道管未装置ノ調査	東京市	宿題
九、給水鉛管外面ヨリ腐蝕シ破裂ノ原因トナルコト尠カラス其防止方法如何但シ各市ニ於テ調査セラレシコトアラハ其成績承リタシ	廣島市	終了
十、濁度ノ定量的標準物ニ油類混和水ヲ應用スルノ可否	廣島市	宿題
十一、色度ニ「ヨード」液ヲ應用スルノ可否	廣島市	宿題

○前回ノ問題 (今回報告セラル可キ分)

一、「ウルトラウ井オレット」光線淨水殺菌力ノ價值如何	東京市	研究題トシテ各市研究ノ結果ヲ報告スルコトニ決ス
二、膠質、肉越幾斯膠質及寒天ニ於ケル水棲菌發育比較試験	東京市	研究題
三、市外給水ノ場合ニ於ケル使用料徴收及滯納處分ノ方法	佐世保市	終了
四、水中ニ於ケル「ヰイヰリオ」ニ就テ	神戸市	次回ニ延期スルコトニ決ス
五、各市給水用具ノ名稱ヲ一定スルコト	東京市	二題ヲ併合シ最初ノ委員ニ附托シ委員ハ追加六十三問題ヲ提出ス
六、各種水管及附属品形状寸法等ヲ各市一定スルノ可否	大阪市	
○前回ニ於テ委員附託ノ分		
一、水源ノ選定ハ各地状況異ナルヲ以テ之ガ選定標準及試験方法ハ勿論一定シ難カルヘシト雖一度水源ヲ選定シタル上ハ容易ニ變更シ得ヘキモノニアラス永久の衛生上工業上ニ至大ナル關係ヲ及ホスモノナルカ故ニ最モ嚴密ナル試験ヲ施行スルノ必要アルモノト信ス就テハ其試験方法ノ概要ヲ協定シ置キ他日水源擴張又ハ新ニ水源ヲ選定スル場合ノ參考ニ資スルノ必要ナキヤ	岡山市	猶ホ宿題トシテ前委員ニ附託シ研究スルコトニ決ス (委員ハ東京市、横濱市、大阪市、南滿洲鐵道會社、岡山市ノ五ヶ所ナリ)
二、大腸菌屬ノ存否ヲ檢スルノ條項ヲ細菌學的検査法中ニ加フルノ必要ナキヤ	下關市	引續キ研究スルコト、シ前委員ニ附託ス(委員ハ横濱市、臺灣總督府、下關市ノ三ヶ所ナリ)

○ 新 問 題

<p>一、加盟各所ハ毎年上水協議會ニ於テ水道使用條例ヲ交換スルコト</p>	<p>東京市</p>	<p>協定事項ノ内ニ書キ加ヘ毎年交換方ヲ實行スルコトニ決ス</p>
<p>二、水道用唧筒使用ニ關シ左記事項承リタシ 一、唧筒機ノ台數 二、唧筒機ノ種類(フランシヤ、又ハセン) 三、唧筒機ノ實馬力 四、動力ノ種類 五、送水量實際一年間ノ平均一日量及汲上高サ 六、一ケ年度ノ經費 七、従事員ノ數(吏員及職工等各別ノ數)</p>	<p>東京市</p>	<p>終了</p>
<p>三、量水器ハ使用者ノ請求有無ニ不拘注油スル向アリヤ若シアリトセバ其方法如何</p>	<p>東京市</p>	<p>終了</p>
<p>四、過マンガン酸カリウム消費量ノ検査ニ要スル蓆酸ハ同一種類ノモノヲ使用シテハ如何</p>	<p>京都市</p>	<p>宿題</p>
<p>五、「クロール」ノ定量ニ際シ硝酸銀ノ總消費量ヨリ炭酸塩并ニ鉛分ハ減算ノ必要ナキヤ</p>	<p>京都市</p>	<p>「并ニ鉛分」ヲ削除シ宿題トス</p>
<p>六、給水用引込管トシテ鉛管以外ニ鋼鉄管、鍊鉄管等ヲ使用セラル、所アリヤ若シアラバ其耐久力、工費其他參考トナルヘキ点承リタシ</p>	<p>京都市</p>	<p>終了</p>

<p>七、私設防火栓ニ關シ左記ノ廉承リタシ 家事用給水管ノ私設防火栓用行キ止リ鉄管ヨリ分岐スルモノ、有無 行キ止リ私設防火栓用鉄管中ノ停滯水處分方 前項停滯水排除ノ必要アルトキ其排水量及手數等ニ對シ相當ノ料金ヲ徵收スルヤ</p>	<p>京都市</p>	<p>終了</p>
<p>八、各戸給水工事ニ要スル左記ノ費用ハ如何ナル標準ヲ以テ徵收セラル、各市實例如何 一 工事用材料費 一 器具損料 一 職夫賃 一 職夫ニ支給スル被服其他雜給 一 設計費用 一 工事監督費用</p>	<p>大阪市</p>	<p>終了</p>
<p>九、水道設備減損補足金ヲ蓄積セル市アリヤ若シアリトセハ其方法如何</p>	<p>大阪市</p>	<p>終了</p>
<p>十、上水試験法第二化學的試験法(十二)蒸發殘渣定量ノ場合蒸發皿並ニ蒸發裝置ヲ一定スルノ必要ナキヤ</p>	<p>大阪市</p>	<p>宿題</p>

十一、濾過池掃除ニ際シ汚泥層削取層寸ト濾過速力ノ關係ニ就テ各地ニ實驗セラレタルモノアラバ承リタシ	大阪市	四十六問題ト共ニ委員附託ニ決ス
十二、水源地即チ取水場附近ノ河流取締ニ關シ關係官署ノ所置ニツキ各地ノ實況承リタシ	大阪市	終了
十三、濾過池ニ發生スル藻ノ濾過効力ニ及ホス影響ニ付テ各市ノ御實驗ヲ承リタシ	堺市	終了
十四、計量給水使用者ニシテ火災ノ場合ニ於テ其水栓ヨリ消防用ニ使用シタル水量ニ對シ料金免除ノ方法ニ付テ各市ノ御取扱振ヲ承リタシ	堺市	終了
十五、協定試験法飲料適否判定第四項ノ過滿俺酸加留消費量「十ミリグラム以上ノモノ」トアルハ單ニ異常ナルモノトシテ第六項ヘ併合スルノ可否	横濱市	宿題
十六、上水中ニ不純物混入ノ實例	横濱市	宿題
十七、河水ヲ利用セル水道ニ在リテハ其水源地附近ニ於テ鑛業ノ振興ニ伴ヒ殊ニ水質汚染ノ虞ナキニ依リ適當ナル之カ豫防ノ方法ヲ講スルノ必要アラサル乎	横濱市	前回委員附託ノ「水源選定云々」ト同一委員ニ附託シ宿題ト
十八、給水設備修繕費ノ徴收ヲ強制シ得ル規程ヲ水道條例ニ加ヘラレンコトヲ其筋ヘ建議スルノ可否	神戸市	宿題

十九、給水原簿ヲカート式ニ依ル可否	神戸市	終了
二十、硝酸簡易定量法ノ件	神戸市	次回ニ延期スルコト、ナル
二十一、沃度亞鉛澱粉液調製法一定ノ件	神戸市	次回ニ延期スルコト、ナル
二十二、水中ニ於ケル「グイヅリオ」ノ意義	神戸市	次回ニ延期スルコト、ナル
二十三、水中ニ於ケルコックケンノ病原性ニ就テ	神戸市	次回ニ延期スルコト、ナル
二十四、計量給水料ニ對スル會計年度整理法如何	長崎市	終了
二十五、水料ニ對スル督促手数料ハ別ニ徴收簿ヲ作製スルカ又ハ本税ニ附記ニシテ整理スルヤ	長崎市	終了
二十六、除泥時ニ於ケル濾過池ノ棄水程度并ニ其程度ニヨリ濾過効力ニ及ホス影響如何	長崎市	終了
二十七、源水ノ濁度簡易試験法及濁度ニ對スル藥物ノ割合	佐世保市	終了
二十八、藥物注入ノ濾過水ハ鉄管及鉛管ニ害ナキヤ	佐世保市	終了
二十九、藥物注入濾過水ト普通濾過水トノ耐久比較	佐世保市	終了
三十、市區改正其他ニヨリ水道管ノ移轉ヲ要スル場合ハ其費用ハ如何ニセラル、ヤ	佐世保市	終了
三十一、水道鐵管ニ及ホス震害ノ豫防方法	青森市	研究題トスルコトニ決ス

三十二、他事業ノ爲メ水道鉄管其他ニ異動ヲ生セシメタル場合ハ費用ノ全額ヲ企業者ニ於テ支辨スヘキ規定ニ一定スル必要ナキヤ	青森市	終了
三十三、球付消火栓ノパッキンゴム以上ノ代用物ナキヤ	青森市	終了
三十四、給水料减免規定ノ内慈善及公共事業ノ種類ノ内容承リタシ	青森市	終了
三十五、給水用具所有者建物全部賣渡登記ナルモ給水用具ハ賣渡ノ手續ヲナサズシテ居所不明等ノトキハ其給水用具ヲ如何ニ取扱居ラル、ヤ	青森市	終了
三十六、拾得ノ共用栓鍵ヲ以テ給水シタル者ニ對スル制裁ノ設ケアラバ承リタシ	青森市	終了
三十七、各地ニ於ケル源水及給水中鐵ノ定性的及定量的検査成績如何	下關市	終了
三十八、早朝排水スル給水中ニ於ケル鉛分ノ含否如何	下關市	終了
三十九、配水鉄管内面腐蝕ノ程度如何	下關市	宿題
四十、寒地ニ於ケル量水器ノ防凍装置並其ノ土留工法ニ便法アリヤ	總督府 鮮	終了

四十一、共用栓流シ場ノ工法及冬期中ニ於ケル保存ノ良法	總督府 鮮	終了
四十二、船舶給水ヲ委託販賣セル水道アラハ其ノ船舶ヘノ供給方法及販賣價格	總督府 鮮	終了
四十三、船舶給水用ノ水槽船ノ浸水ヲ完全ニ防止シ得ヘキ船体ノ構造或ハ裝置	總督府 鮮	終了
四十四、濾水中ノ格魯兒含有量カ源水ニ比シ増加スル原因並防止方法	總督府 鮮	終了
四十五、遠隔且不便ノ地ニ源水ヲ求メタル水道ニ於テ源水ノ試験ハ凡テ現場ニ於テ實行セラレツ、アリヤ若シ現場ニ於テ規定ノ試験ヲ遂行シ能ハサル場合ニハ如何ナル注意ノ下ニ源水ノ各成分ヲ檢定セラル、ヤ及是等ノ点ヲ協定シ置クノ必要ナキヤ	總督府 灣	宿題
四十六、濾過用砂ノ撰擇標準及其検査方法ヲ研究スルノ必要ナキヤ	總督府 灣	新問題十一ト共ニ委員ニ附託ス (臺灣總督府、東京市、大阪市、橫濱市、神戸市ノ五ノ所ヲ委員トス)
四十七、沈澱作用ト沈澱池ノ容積	總督府 灣	研究題トスルコトニ決ス
四十八、零下二十度以下ニ於ケル防寒設備ニ就テ	南滿洲鐵道株式會社	終了
四十九、夏期採水後直ニ平板培養ヲ行ヒ之ヲ冷器内ニ保存ス	南滿洲鐵道株式會社	終了

ルニ當リ規定以上ノ時間ヲ經過スルヲ免レサル場合アリ 此際如何ナル方法ヲ取りテ可ナルヤ	南滿洲鐵道 株式會社	提案ノ如キ場合ハ其時間ヲ付 記スルコトニ決ス
五十、傳染病流行ノ時ニ於テ防疫上一區域ノ無料給水ヲ爲セ シ事實アリヤ承リタシ	釜山居留 民團	終了
五十一、水壓ノ反動ヨリ生スル水量水器ノ指針回轉ヲ防止スル 簡便方法アリヤ	釜山居留 民團	撤回
五十二、上水道經常費ト給水事業費トハ其ノ歳入出豫算ヲ各 別ニ編制整理スルヲ可トスルヤ否各所ノ實例ヲ承リタシ	岡山市	終了
五十三、給水使用料納期豫定アルモノ納額告知書ヲ發付セズ シテ徵收スルノ便法ナキヤ	岡山市	終了
五十四、鉄管ノ内面ニ錆留用「コールター」ノ外適當ノ塗料ナ キヤ	岡山市	終了
○ 報 告		
一、多摩川源水濁度ト浮遊物量ノ關係	東京市	終了
二、水中大腸菌ノ証明方法ニ就テ二三ノ比較試驗	東京市	終了
三、上水試驗法第二化學的試驗法(一)清濁及色ノ試驗法中 「七十仙迷」水層「トアル」直徑三仙迷以上高サ二十四 仙迷ノ水層ニ改ムルニ就テ(宿題中)	東京市	終了

四、色度ニ「ヨード」液ヲ應用スルノ可否ニ就テ(宿題中)	東京市	終了
五、上水中ニ於ケル鉛ノ簡易検査法(宿題中)	東京市	終了
六、「インドール」反應ニ由ル淨水早期検査法ノ應用ニ就テ (宿題中)	東京市	終了
七、濾過池ノ換砂又ハ除泥ヲナシ入水使用後濾過効力ノ確實 トナル迄ノ期間并ニ濾過効力ノ持續時間(研究題中第二 回報告)	東京市	終了
八、濾過速度ト水質トノ關係(研究題中)	東京市	報告未了
九、貯水池ノ魚族蕃殖ガ水質ニ及ボス害否(研究題中)	東京市	終了
十、井水ト濾過水トハ孰レカ早ク腐敗スルヤ(研究題中)	東京市	報告未了
十一、水菌種類調査報告(例規ニ依ル報告)	東京市	終了
十二、棲水菌ノ種類ト季節トノ關係(例規ニ依ル報告)	東京市	終了
十三、濾過池砂層各部ニ於ケル汚染程度ニ就テ第二回報告	大阪市	終了
十四、藥物沈澄法ヲ併用セシ濾水並ニ普通濾水ノ各濃厚熱液 ハ鉄(蒸氣罐)ニ對シ如何ナル影響ヲ及ボスヤ第二回報告	大阪市	終了
十五、濾過用細砂ニ就テ	大阪市	報告ニ接セズ

十六、濾過砂層ノ厚薄ニ就テ	大阪市	終了
十七、水中細菌ノ早期計算法ニ就テ	大阪市	報告未了
十八、所謂淨水早期検査法トシテインドール反應ノ價値	長崎市	終了
十九、濾過水ニシテ避クヘカラサル濁濁ノ時其濁度ト水質トノ關係	長崎市	終了
二十、一人一日當リ水量ニ對スル報告	青森市	終了
二十一、鐵管内面ニ簇生スル疣狀ノ銹鏽ニ就テ	廣島市	終了
二十二、冬春季坑道内水菌培養實驗	廣島市	終了
二十三、無蓋圓形配水池ノ各部分ニ於ケル細菌數調査	總朝督府鮮	終了
二十四、濾過池換砂ト細菌數	總朝督府鮮	終了
二十五、濾過地砂層汚染ノ程度	總朝督府鮮	終了
二十六、水栓ニ附セル布袋ノ細菌數ニ及ホス影響試驗	總朝督府鮮	報告未了
二十七、配水管ノ感電ニ關スル報告(實物添付)	總朝督府鮮	終了
二十八、上水試驗法第二化學的試驗法清濁及色ノ試驗法中「七十仙迷ノ水層」トアルヲ「直徑三仙迷以上高サ二十四	總朝督府鮮	終了

仙迷ノ水層ニ改メタシ(宿題)ニ關スル報告		
二十九、濾水ニシテ不可避濁濁ノ場合アリトセハ其濁度ト水質トノ關係如何(宿題)ニ關スル報告	總朝督府鮮	終了
三十、濾過速力ト濾過効力トノ關係ニ關スル實驗報告	總朝督府鮮	終了
三十一、水質硬度ノ軟化試驗成績	總臺督府灣	終了
三十二、クラーク氏ノ硬度測定方法カ誤差ヲ生スル原因ニ就テ	總臺督府灣	終了
三十三、大腸菌ノ存否ヲ檢スルノ條項ヲ細菌學的検査法中ニ加フルノ必要ニ就テ	總臺督府灣	終了
三十四、濁度標準液ニ就テ(宿題中)	岡山市	撤回
三十五、蘇苔蟲並ニ外二種類ノ微生物ニ就テ第二回報告(研究題中)	岡山市	報告未了
三十六、源水並ニ濾水中ニ於ケル鉄ノ定性及定量	岡山市	終了
三十七、給水鐵管内面ニ生成シタル鉄鏽ニ就テ	岡山市	終了
三十八、濾池除泥前後ニ於ケル細菌數ニ就テ	岡山市	終了
三十九、濾池換砂前後ニ於ケル細菌數ニ就テ	岡山市	終了

四十、岡山市上水濾池ニ繁殖シ主トシテ濾過膜ヲ構成スル藻類ニ就テ	岡山市	終了
四十一、新ニ發見シタル淡水海綿蟲ニ就テ	岡山市	終了
四十二、各地上水濾過用砂粒ノ大小ニ就テ	岡山市	終了
四十三、各市上水道布設前後ニ於ケル傳染病	岡山市	終了
○ 新 問 題 (追加)		
五十五、給水開始ノ當時給水普及ノ爲メ取付費ノ幾歩ヲ市費ニテ補助セラレタル實例ナキヤ又其他類似ノ勸誘方法ヲ採ラレタル例ナキヤ如何	小倉市	終了
五十六、火災ノ時附近ノ計量給水栓ヨリ防火用ニ使ヒタル水料ノ徴收方法如何實例ヲ承ハリ度シ	小倉市	終了
五十七、水質統計表中ノ數位ヲ一定スルコト	東京市	小數ハ三段マデ書クコトニ決ス
五十八、協定試験法ノ終末ニ左ノ一項ヲ加フルコト 本法第四項第二、第七項第二、第十項、第十二項、第十四項ハ必要ニ應シ施行スルモノトス	東京市	加除改正スルコトニ決ス
五十九、當番市ハ陸軍省醫務局へ案内スルコト	東京市	「陸」ノ下ニ「海」ノ字ヲ加ヘ決定ス

六十、化學的試験方法中硬度ニ關スル條項改正スベキ必要ナキヤ	臺 督 府	宿題トシテ研究スルコトニ決ス
六十一、本市ハ今正サニ上水道ノ計畫中ニシテ其根本問題タル水源ヲ河川ニ求ムルカ又ハ鑿井式ヲ採用スルカニ就テ其利害分明ナラス甚タ惑ヘリ請フ各所御調査ノ結果乃至御所感ヲ承リタシ	徳島市	前回委員附託ノ「水源選定云々」ト同一委員ニ附託シ宿題トスルコトニ決ス
六十二、統計表中第十二ノ改正ヲ新問題五十七ニ附議セラレタシ	長崎市	改正スルコトニ決ス
六十三、各種水管及附属品形状並名稱等ヲ一定スル件ニ付東京市ニ委託シテ工學會へ依頼ノ件 調査費用ハ全部當業者ヨリ寄付ヲ受ケ本會ノ決議ニ依リ左ノ條件ヲ以テ工學會ニ委嘱スルコト (一) 調査材料トシテ當業者ノ意見ヲ徴セラレタキコト (二) 調査ノ結果ハ明年水道會議開會前ニ加盟各市へ配布セラレタキコト (三) 各市現行ノ水管及附属品ノ形状寸法及仕様書等ヲ参照トシテ徴セラレタキコト	委員提出	提案ノ通り決定

● 議事筆記

大正元年十月二十八日(月曜日)
午前十時開會

岡山市長岡田磐登壇

諸君、諸君ノ中ニハ未ダ會テ拜顔ノ榮ヲ得ナイ御方モアリマスガ、私ハ當市長岡田磐デアリマス、今回上水協議會ノ開催ヲ當市ニ於テ御引受ケヲ致シタルニ、多數御來會ニナリシハ本市ノ光榮トスル所ニシテ感謝致シマス、殊ニ重要ノ問題ヲ多數ニ御提出ニナリマシタノデ、此決議ノ結果ハ將來至大ノ效果ヲ現ハスコト、信シマス、宜シク審議ノ上適當ノ御決議アラントヲ希望致シマス

尙ホ豫テ内務省へ當局官吏ノ御臨席ヲ申請致シテ置キマシタトコロ、内務技師阪田貞明君、内務省參事官山田準次郎君、内務技師山下辰也君ヲ出張セシメラル、旨土木衛生兩局長ヨリ通知ガアリマシタガ、未ダ來着ニナリマセヌ、夫カラ前例ニ依レバ此ノ議事ハ開會地ニ於テ取纏ムルト云フコトニナツテ居リマス、乃チ其ノ先例ニ依リテ御異議ガ無ケレバ不肖ニ於テ議長席ヲ汚スベキ筈デアリマスガ、他ニ種々止ムヲ得ザル要務差闕アリ、故ニ代理ヲ中山助役ニ託シマスカラ、宜シク御諒知ヲ乞ヒマス

岡山市助役中山寛登壇議長席ニ着ク

○議長(中山助役) 私ガ議長席ヲ瀆シマス、議事ニ先チマシテ御報告申上ゲテ置キタウゴザイマスガ、既ニ上水道ヲ敷設シテアル地若クハ計畫中ノ各所ニ向ツテ成ルベク加盟方ヲ勧誘スルヤウニト云フコトガ御協議

濟ニナツテ居リマスデ、先般來本市カラ鹿島市、水戸市、大津市、福岡市、横須賀市、宇都宮市、松江市、札幌區、鳥取市、徳島市、高松市、奈良市、熊本市、富山市、丸龜市、夫カラ福山町、玉島町ノ十七ヶ所ニ向ツテ勧誘致シマシタ、所ガ其結果加盟ヲ表シテ來ラレタノガ宇都宮市、徳島市、高松市、富山市、福山町、玉島町ノ六ヶ所デアリマシテ、其内デ宇都宮市ハ加盟ハスルガ今回ハ事務ノ都合デ、ヨウ出席ヲセスト云フコトニナツテ居リマス、又木浦居留民團ハ本市ノ勧誘ヲ待タズシテ加入出席スルトノ通知ガアリマシタ、夫テ從來加盟ノ各所ヨリ出席ヲスルト云フ御通知ニナツタ所ハ、東京市外十七市及ビ朝鮮總督府、臺灣總督府、關東都督府、南滿洲鐵道株式會社、釜山居留民團ノ二十三ヶ所デアリマス、之ニ本市ヲ加ヘテ二十四ヶ所ニナリマス、夫カラ既ニ加盟ニナツテ居ル各所ノ内デ都合ニ依ツテ缺席ヲサレルノガ秋田市、長野市、吳市、及ヒ函館區、小樽區ノ五ヶ所デアリマシタガ、甲府、仙臺ノ兩市ハツイ此頃ニ至リ更ニ都合上不參スルトノ通知ガアリマシタ、然スレバ各所ヨリノ御出席ガ都合二十七ヶ所デ夫ニ本市ヲ合セテ二十八ヶ所デアリマス

○議長(中山助役) 是ヨリ御協議ニ取掛リマスガ、議事ノ順序ハ如何デゴサイマシヤウ、別段ニ御異議ガ無クンバ、豫メ御配布シテ居マス議案ノ番号順ニ依テ御協議ヲ致シタイト考ヘマスガ、別段ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議無シ」ト呼ブ者アリ)

然ウスレバ御異議ノナイモノト認メテ議案ノ順序ニ依テ御協議ヲ致シマスガ、其中議案ノ牽連シテ居ル問題ハ其時々併合シテ議ニ附スルコトガアルカモ知レマセヌカラ、豫メ御承知置キヲ願ヒタウゴザイマス

○議長(中山助役) 先づ第一ニ宿題ノ第一カラ御協議ニ附シマス

(宿)一 硬度ノ種々ナル定量法ニ就キ實際何レガ最モ適當ナルヤ(横濱市)

○六十一番(台湾總督府) 此問題ハ前年横濱市ニ於テ提出サレマシテ、昨年東京ニ於ケル協議會ノ席上ニ於テ私ノ方カラ此問題ニ對スル實驗ヲ報告致シマシタガ、其結果ニ依レバ現今ノ此協議會ニ於テ協定サレテ居ル「クラーク」氏ノ試驗法ガ實際ノ數ト能ク合ハナイ、即チ常ニ誤差ヲ生ズルト云フ實驗ヲ報告致シマシタ、其誤差ヲ生ズル數ハ常ニ私ノ方ノ實驗ノ結果ニ依レバ實際ノ數ヨリ低イノデアアル、同時ニ色々行ハレテ居ル硬度ノ定量方法ニ就テ實驗ヲ致シマシタ結果「酸」ト「アルカリ」ト「デ」處置スル方法ガ試驗ノ結果宜カッタト云フコトヲ報告致シマシタ、其當時各市ニ於テ御實驗ガナカッタ爲ニ更ニ各地ニ於テ御試驗ヲ煩スコト、ナツテ居リマス、夫デ御試驗ヲ下サツタコト、信ジマスカラ、其御試驗ノ結果ヲ各市カラ拜聽致シタイト考ヘマス

○十八番(横濱市) 本問題ハ私ノ方カラ提出致シマシタガ、何分多忙ノ爲ニ未ダ實驗ヲシテ居リマセヌデ、何ウカ各地デ御實驗ニナツテ居ル御方ガアレバ御報告ヲ願ヒマス

○二番(東京市) 東京市ハ第七回ノ協議會ノ際ニ東京市ノ調査シタ結果ヲ御報告申上ゲテ置イタ筈デアリマスガ、其後東京市デハ實驗ガナイノデアリマス、夫デ是ハ重要ナ問題デアルト思ヒマスカラ、此際決議セズシテ宿題トシテ取置キニナツテハ如何デアリマスカ

○七十一番(岡山市) 二番ニ賛成致シマス

○議長(中山助役) 御異議ガ無ケレバ然ウ取計ヒマシヤウカ

(「異議無シ」ト呼ブ者アリ)

然レバ御異議ガナイモノト認メテ次會マデ宿題ト致シマス

○議長(中山助役) 次ハ第二ヲ御協議致シマス

(宿)二 「アムモニヤ」ノ試験藥タル「ネスレル」氏液ノ調製ニ關シ昇汞法ト沃度汞法トノ優劣(横濱市)

○十八番(横濱市) 是モ私ノ方ノ提出デアリマスガ、忙シイガ爲ニ未ダ試験ヲ遂ゲルコトガ出來マセヌデ、他ノ御方ノ御報告ヲ御願ヒ申シタウゴザイマス

○六十一番(臺灣總督府) 本問題ニ關シ色々書物ヲ調べマシタガ、大抵書物ニ書イテアルノニ依レバ方法ガ少シツ、違フヤウデアリマス、私ノ方デ十種類許リノ書籍ヲ調べマシタガ、然ルニ書イテアル方法ガ皆違フテ居ル、大体ヲ云ヘバ昇汞法ヨリモ沃度汞ノ法ガ遙カニ結果ガ宜シイ、夫デ之ニ關シテ參考書ナドヲ調べテ見タノデアリマスガ、私ノ方デハ書物ガ少ナイ爲ニ適當ナコトハ見附カリマセヌガ、一寸調べテ見レバ苛性「アルカリ」ヲ加ヘル方法ニ依ツテ色々違フヤウデアリマス、苛性「アルカリ」ヲ其儘入レルノト或ハ苛性「アルカリ」ヲ一旦水ニ解カシテ入レルノト比較スレバ實際苛性「アルカリ」ヲ水ニ解カシテ作ル方ガ苛性「アルカリ」ノ塊リヲ其儘入レルノヨリモ遙カニ反應ノ度ガ鋭敏デアリマス、夫デ昇汞法ニ就テ一番能ク出タノガ百万分中ノ〇・三デ沃度汞ガ百万分中ノ〇・〇七デアリマス、夫レ丈ケノ實驗デ御座リマス

○十三番(大坂市) 只今六十一番カラ御話ガアリマシタガ、夫ニ加ヘテ私ガ先年實驗シタ所ヲ申上ゲマスガ、

此問題ハ想フニ昇汞ヲ使ツテモ沃度汞ヲ使ツテモ私ノ方デハ同ジヤウニ考ヘテ居リマス、唯ダ相違スル所ハ只今六十一番ノ云ハレタ苛性加里ト夫カラ外ノモノト混和スル方法ニ依テ違フヤウニ思ツテ居リマス、一番鋭敏ナノハ苛性加里ヲ水ニ解カシテ然ウシテ冷ヘテカラ加ヘルノガ一番鋭敏デアル、第二ハ水ニ解カシテ直チニ加フルノガ二番デアル、一番劣等ナノハ苛性加里ヲ結晶ノ儘加フルノデアリマス、故ニ沃度汞法トシテモ差支ハナイト思ヒマスケレバ、實ハ出來得ルナラバ矢張り現行ノ昇汞法トシテ置イタ方ガ宜シイデハナイカト思ヒマス、尙ホ附加ヘテ調製スルニ何ウ云フ風デ調製スルノガ宜シイト云フコトヲ一定シテ置クノガ利益デハアルマイカト思ヒマス

○九番(京都市) 只今十三番ナリ六十一番カラ御述ベニナリマシタガ、私ノ方デモ其方法ニ就テハ色々實驗ヲ致シマシタ結果、矢張り苛性加里ヲ溶解シタル既製液ト夫カラ解カシタモノヲ直グ使フノト夫カラ塊リヲ其儘使フノトノ關係ハアリマスガ、實際ニ於テ私ノ方デ作ツタ試験ニ依レバ矢張り昇汞ヲ用井ルヨリモ沃度汞ヲ用ユル方ガ遙ニ鋭敏ノヤウニ私ノ方デ試験ノ結果ガ現ハレテ參リマシタ、夫デ安母尼亞ヲ十万倍及ビ二十万倍百万倍ト作ツテ夫ニ色々方法ニ依ツテ作ツタ「ネスレル」試薬ヲ加ヘマシタ、所ガ先ヅ沃度汞ヲ沃度加里ニ溶シテ夫デ苛性加里ヲ溶解シ冷却シタモノトヲ混淆シタモノハ約三十秒デ十万倍ヅ、出テ來マス、故ニ今十三番ノ云ハレタ現行液ノ方ハ約五分間デ出テ來マス、然ウスレバ其結果ハ殆ンド同ジヤウナ時間ニ於テ出タカラシテ私ノ方デハ沃度汞ノ方ガ成績ガ宜シイデハナイカト考ヘテ居リマスカラ、一寸御參考マデニ

○十三番(大坂市) 只今九番カラ御話ニナツタ成績モアリマスルシ、又私ノ方ノ實驗モ只今云ツタ通りデアリマシテ、實ハ各市トモ多少相違スル点モアルヤウデアリマスカラ、尙ホ宿題トシテ研究スルコトニ致シタウ御座リマス

〔異議無シ〕ト呼ブ者アリ

○議長(中山助役) 第二モ亦宿題ト云フ御意見ガ出テ居リマスガ、御提出ノ御方ニハ別ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議無シ〕ト呼ブ

然ウスレバ是モ宿題ニ決シマス

○議長(中山助役) 次ハ第三ノ問題ヲ御協議ニ附シマス、是ニ就テハ報告ガ出テ居リマスガ、先ヅ其報告ノ十九ト二十九ガ是ニ牽連シテ居ルデハナイカト思ヒマスルデ、長崎市カラ御提出ニナツテ居ル報告ノ十九ト朝鮮總督府カラ御提案ニナツテ居ル二十九ヲ先ニ御協議致シマス

(宿)三 濾過水ニシテ避クヘカラサル濁濁ノ場合アリタリトセバ其濁度ト水質トノ關係(横濱市)

(報)十九 濾過水ニシテ避クベカラサル濁濁ノ時其濁度ト水質トノ關係(長崎市)

(報)二十九 濾水ニシテ不可避濁濁ノ場合アリトセバ其濁度ト水質トノ關係如何(宿題)ニ關スル報告(朝鮮總督府)

○二十五番(長崎市) 此宿題ニ就テハ私ノ方デ昨年報告ヲ致シテゴザイマスガ、先ヅ水ト云フモノハ清澄デ

ナクテハナラント云フコトガ一ツノ條件ニナツテ居リマス、然ルニ私ノ方デハ常ニ清澄ノ水ヲ得ルト云フトニ至リマセヌノデアリマスガ、夫デ或ル程度マデ濁度ヲ有ツテ居ツテモ今日マデハ矢張り飲マシテ居リマス、然ウシテ其時ノ水ハ清澄デアル時ノ水ニ比較シテ何レ位水質ノ上ニ變化ガアルカト云フコトヲ調べタコトガアリマスガ、今日ノ場合デハ少シク濁度が増シタカラト云ツテ細菌ガ著シク變化ヲ來タスモノデナイト云フコトガ分ツタノデ御座リマス、夫デ單純ナル濾過ノ効力ノ現ハレタル池ヲ通シテ少シ位濁度ヲ有ツテ居ツテモ少シ位ハ飲マシテモ衛生上害ハナイト云フ報告ヲ致シテ置キマス

○五十六番(朝鮮總督府) 京城水道ニ於キマシテ、本年七月廿日數日來大降雨ノ爲メ源水漢江平水面ヨリ卅二尺許リ増加シタコトガアリマス、其當時沈澱池ハ修理中ニ屬シ源水ヲ濾過池へ直送セルヲ以テ濾過水中ニ避クベカラサル濁濁ヲ生ジタコトガアリマス、夫デ其當時ノ水質ト前月ノ平均ヲシマシタ水質トノ試驗成績ノ一例ヲ報告致シマス、前月ノ平均水質ニ依レバ水溫ガ二四・〇度デアツテ七月廿日ノ水溫ガ二六・〇度デア、差引キ二度増加シテ居リマス、夫カラ色度ハ前月ハ零デアリマシテ、七月廿日ニハ一度デ即チ一度増加シテ居リマス、夫カラ濁度ハ前月ガ零デ七月廿日ニハ五度デ詰リ五度増加シテ居リマス、夫カラ反應ハ前月モ七月廿日モ弱「アルカリ」デ格魯兒ハ前月ガ三・二八デ其當時ハ三・五八デアルカラ差引〇・三〇増加シテ居リマス、夫カラ硫酸及ビ硝酸ハ前月モ七月廿日モ痕跡、亞硝酸及ビ安母尼亞ハ何レモ無シ、硬度ハ前月ガ〇・九五〇デ其當時ハ一・〇二五デ詰リ〇・〇七五丈ケガ増加シテ居リマス、夫カラ固形物ハ前月ガ七六・〇デ其當時ガ七八・五デ差引二・五丈ケ増加シテ居リマス、有機物モ前月ガ二・九八八デ其當時ガ三・一五

○デアリマシテ、差引〇・一六二丈ケガ増加シテ居リマス、細菌數ハ前月ガ一二デ其當時ハ二一デ差引九丈ケ増加シテ居リマス、是ハ細菌學的方面カラ云ツテモ或ハ化學上ノ方面カラ云ツテモ、飲料ニ適シナイト云フコトハナイヤウデアリマス、其一例丈ケヲ報告致シテ置キマス

○議長(中山助役) 只今二ヶ所カラ報告が出マシタガ、第三ノ問題ニ就テ御意見ガアリマスレバ、此場合ニ御述ベテ願ヒタイ

○十八番(横濱市) 是ハ水質試驗ノ參考ニ供シタイト云フ積リデ提出シタノデアリマスカラ、成ルベク澤山ノ御報告ヲ得タナレバ都合ガ宜シイト思ヒマス

○議長(中山助役) 矢張り宿題ニ致シマスカ

○十八番(横濱市) 左様デアリマス

○議長(中山助役) 別段ニ御異議ガ無クンバ……

(「異議無シ」ト呼ブ者アリ)

然レバ是モ宿題ニ取計ヒマス

○議長(中山助役) 次ハ第四デアリマス、是ハ宿題ノ第十ノ分ト牽聯シテ居ルラシク考ヘマスレバ、宿題ノ第十ノ分ト併合シテ御協議ヲ致シマス、是ニハ報告ノ第三十四ト云フモノガアリマスガ、是ハ即チ當市カラ提出シテ居リマスガ、此第四ノ問題ニ就テノ報告ガアリマスレバ、夫カラ先キ……

(宿)四 上水試験法第二化學的試験法(一)清濁及色ノ検査法中濁度ノ標準物タル白陶土ニ換フルニ

一定不變ニ製出シ得ラル、物質撰定ノ件(大坂市)

(宿)十 濁度ノ定量的標準物ニ油類混和水ヲ應用スルノ可否(廣島市)

(報)三十四 濁度標準液ニ就テ(宿題中) (岡山市)

○七十二番(岡山市) 第三十四ノ報告ニ就テハ只今色々當市デモ研究シテ居リマスガ、今少シク是デ完全ナト云フ所ニ至リ兼テ居リマスカラ、是ハ今回撤回致シマシテ、次會マデニ充分ニ研究シタ上デ改メテ提出致シマス

○議長(中山助役) 第四ハ何ウデアリマスカ、別段ニ報告モ出マセスガ、然ウスレバ自然ノ結果宿題ニ致シマスカ、是モ矢張りモウ一回充分ニ御研究ニナツテ次會ニ御協議ニナツテハ如何デアリマスカ

○九番(京都市) 私ノ方デモ此濁度ニ就テハ色々調査シテ見マシタガ、藥品デ水ニ溶解シナイ白色ノ粉末ヲ色々調べテ見マシタガ、其結果ヲ御報告致シマスガ、硫酸バリウム、炭酸石灰、タルクム、白陶土「ダイヤモンド」等ニ就テ調べテ見マシタガ、此白陶土ヲ精製スレバ比較的ニ純粹ナモノガ出來マス、即チ鹽酸ヲ以テ處理シ更ニ羽二重ニテ濾過シテ試験ヲシマシタガ、斯クシテ作りマシタ白陶土ハ比較的長イ濁濁ノ状態ニ居リ然ウシテ其モノハ殆ンド同ジ顆粒ノ大サデアリマシタ、故ニ白陶土ヲ精製シテ使フト云フコトニシタナレバ如何デアリマスカ、一寸其コトヲ申上ゲテ置キマス

○十三番(大坂市) 只今九番カラ御話ニナリマシタデ一寸申上ゲマスガ、私ノ方ニ此問題ヲ出シタノハ白陶土ナルモノハ常ニ同ジ大小ノ顆粒ヲ得ルコトガ至難デアルデ一定ノ大サノ結晶トカ或ハ類似ノ物質ヲ以テ是

ニ換ヘタイト云フ趣意デアリマス、然ウ云フ点カラ此問題ヲ出シタノデアル、只今白陶土ヲ精製シテ使ツタ方ガ宜シイト云フコトデアリマスケレ共然ウスレバ常ニ一定ノ顆粒ヲ得ルト云フコトガムツカシイ、尙ホ宿題ニナツテ居ル廣島カラ提出ニナツテ居ル方法ニ就テ色々試験ヲ致シマシタガ、元來水ニ含ム濁濁ノ原因タルモノ、大部分ハ粘土ノヤウナ物質デアラウト思ヒマス、故ニ矢張り粘土ノ如キ重量ヲ有ツテ居ル所ノ物体ガ宜カラウト思ヒマス、私ノ方デハ白陶土ニ換フルニ沈降性炭酸石灰ヲ用井テ居ル、夫ハ製造法ニ依ツテ顆粒ノ大小ガ違フノデ製造法ハ一定ニシテ使用シタ方ガ宜シイト思ツテ居リマス、尙ホ是ニ就テ各市ガ充分ニ御實驗ガアリマスルナレバ承リタイノデアリマス

○四十二番(廣島市) 第四ノ問題ハ私ノ方デモ昨年色々調査ヲシマシタ結果、何ウモ只今御話ニナツタ一定不變ノモノガ製シ得ラレマセス、夫カラ粒ノ大小ニ依ツテ濁濁ノ見エヤウガ違フノデアリマス、然ウ云フコトガ出來得ラレルナレバ充分デアリマスガ、此第十八寔ニ漠然トシタコトデアリマスケレ共、昨年ノ協議録ニモ載ツテ居ル通りニ此「クレオソート」ハ非常ニ水ニ解ケ難イノデ能ク水ニ均等ニ分布スルコトガ出來マス殊ニ只今十三番カラ御話ガアリマシタガ、此濁濁ヲ検査スル際ニハ私ノ方デハ振盪シテ然ウシテ濁濁ヲ全部ニ動搖サセルヤウニ能ク振ツタ上デ検査シテ居リマス、夫カラ濁濁デアリマスカラ、全部ニ均等ニ混ツテ居ツタト云フ方ガ成ルベク實際ノモノニ適フヤウデアリマス、「クレオソート」ハ水ノ比重ニ似寄ツテ居ルデ三時間經ツテモ四時間經ツテモ沈着セズ始終全部ニ混ツテ居ルヤウデアリマス、此「クレオソート」ハ絶對ニ宜シイトハ云ハヌケレ共、目的ニ適フコトガ出來ルマデハ使用シテ行キタイト云フ考ヘデアリマス

○二番(東京市) 第十ノ濁度ノ定量的標準物ニ油類混和水ヲ應用スルノ可否ト云フ宿題ニ就テ東京市デモ一二試験シタコトガアルデ御參考ニ申シテ置キマス、東京市デ試験ヲシタノハ「オレーフ油」ト菜種油ヲ真空硫酸乾燥器ニ入レテ然ウシテ乾燥セルモノヲ各一瓦ヲ一定量ノ水ニ混和シテ其濁度ヲ比較シタノニ全ク同一デアリマシタ、夫カラ前同様ニ乾燥シマシタ油類ノ一定量ヲ一定量ノ水ニ混和シマシテ、然ウシテ是ヲ折半シテ其一部分ハ大キナ器ニ入レ、其一ツハ其五分ノ一ノ器ニ入レテ濁度ヲ比較シタ所ガ、大キナ器ノ方ガ濁度ガ減ツテ居リマシタ、夫カラ次ニ油類混和水ヲ充分ニ振盪シタ後チ靜置スル時ハ、五分間ニシテ上部ニ油層ヲ分離スルノヲ見マシタ、無論是等ノ欠点ハ膠、アラビヤゴム若クハ「アルカリ」ヲ使用シテ普通ノ如ク「エムルジヤン」ヲ調製スルキハ避ケ得ラレルコトガ出來ヤウト思ヒマス、夫カラ流動バラフィン油ハ單ニ水ヲ以テ「エムルジヤン」ヲ作ルキハ殆ンド透明デ前二種ノ油類ニ比較シテ著シク劣ツテ居ルト云フコトヲ認メマシタ東京市デ用井テ居ル白陶土ノ標準液ノ一度ハ「一リール」ノ内ニ三・三三「ミリグラム」ト云フ油類ヲ含有スル液ニ相當シテ居リマス、是マデ色々ノ試験成績ニ依レバ油類混和水ハ從來ノ白陶土ヨリモ宜カラウト云フ程度ノ見込ガ附イテ居リマスケレバ、油ハ各地ノ溫度ニ關係ヲ有ツテ居ルデ氣溫ノ高イ所デハ何ウデアラウカ、是カラ台灣デ油類ヲ用井ルト云フコトハ十分ナル實驗ヲ俟ツテ是ガ可否撰擇及ビ「エムルジヤン」ノ調製方法ヲ決定シタイト思ツテ居リマス、此問題ニ就テ昨年東京デ開會ノ際申上ゲテ置キマシタガ要スルニ先キニ申シタ通りニ標準ニナル白陶土ヲ或ル一ヶ所デ拵ヘタモノヲ分配シテ然ウシテ同一ノモノヲ用井タナレバ宜シイト云フ提案ヲ出シテ置キマシタガ、無論モウ一年位研究ノ上デ宜シイ御考ヘヲ願ヒタイ、夫ガ一番確

實ナコトデアラウト思ヒマス

○十八番(横濱市) 只今二番カラ御述ベニナツタノニ賛成デアリマス、昨年ノ協議會ニ於テ大体ノコトハ申シタ積リデアリマスガ、私共ガ濁度ノ標準トシテ最モ自然ニ能ク似寄ツタモノヲ拵ヘルノハ矢張り其源水ニ含ンデ居ル所ノモノヲ以テ行ツタ方ガ宜シイコトハアルマイカ、然ウシテ見レバ各地ノ源水ガ異ツテ居レバ、從ツテ其濁ナル色ヲ起スコトガ異ナルデアラウト云フ考ヘカラ、私ノ所デハ源水カラ濁ナル色ヲ出スモノヲ取出シテ試験ヲシタコトガアルカラ御參考マデニ申シテ置キマス、其品物ハ昨年ノ八月ニ私ノ方ノ源水ガ非常ニ濁ツタコトガアリマス、其時分ニ浮遊物即チ土デアリマスガ、夫ガ濾過池ノ砂ノ上ニ餘計ニ溜ツタデ夫ヲ取りマシテ、先ヅ其物ヲ試験致シマシタ、夫ハ極ク簡短ナ方法デ「キウン」氏ノ方法ニ從ツテ初ニハ篩デ振ツテ然ウシテ殘ツタ微細ノモノヲ水デ淘汰シタト云フ簡短ナ方法デ行リマシタ、ソコデ小石(大サ五ミリ以上ノモノ)ハ百分中三・六デアリマス、夫カラ粗礫ハ(五乃至二ミリ)一・一デアアル、夫カラ細礫ト云フハ(二乃至一・ミリ)ト云フ大サデアアル、其モノガ九〇デアアル、夫カラ粗砂ハ(一乃至〇・五ミリ)四二・一%、夫カラ中砂ハ(〇・五乃至〇・二ミリ)七七デアアル、夫カラ小カヒ細砂ト云フモノハ(〇・二ミリ以下)夫ガ一六・三デアアル、夫カラ粘土即チ淘汰サルベキ微細ノ分ハ一四・八%、夫カラ植物破片ガ澤山ニゴザイマシテ、其破片ト云フノハ枝葉及ビ木ガ朽ツテ居ルモノデ是ガ〇・五デアリマス、夫カラ水分ガ四・九デアリマス、ソコデ私ノ眼目トスルモノハ粘土ニアルモノデ其外ノモノハ働キガナイト思フノデアリマスガ、微細ノモノヲ極ク緻密ナ濾過紙デ濾シマシタ、夫カラ其儘數週間置キマシタ所ガ、下ニ沈澱物ガ出來マシタガ、夫ヲ取出シテ分析

ヲ致シマシタ、夫ヲ仮リニ名附ケテ精製粘土ト云ヒマス、夫ハ珪酸四〇・五七ト礬土ガ一六・九三酸化鉄ガ一七三三石灰ガ三四八「マグネシア」ガ一・九熱灼減量ガ一九・七九ト惣計ガ百ニナリマス、然ウ云フ結果ヲ見マシタ、其砂ハ持參シテ居リマスケレト、今日ハ忘レマシタカラ何レ後ヨリ御覽ニ供シマスガ、是ハ大變ニ輕イ粉末デアリマス、是ヲ餘計ニ使ヘバ褐色ガ起リ、少ク使ヘバ白色ニナリマス、丁度其有様が自然ノ色合ト非常ニ能ク類似シテ居リマス、夫デ私ノ方デハ此方法ニヨツテ行ツテ居リマスガ、非常ニ結果ガ宜シイ、然ウ云フ風テ私ノ方ニ昨年濾過水ガ濁ツタノハ粘土ニ相違ガナイト云フコトニ認メマシタ、尙ホ是ハ書面ニシテ出ス積リデアリマスカラ、後カラ……

○十三番(大坂市) 只今十八番カラ御述ベニナツタコトハ以前ハ其方法ヲ採ツテ居リマシタ、詰リ山ノ粘土ナリ川ノ粘土ヲ取ツテ使ツテ居ツタコトガアルケレ共、小カイ粘土ニアル微砂ハ塊リテ居ルデ夫ヲ水デ解カサウト云フ場合ニハ、乳鉢デ摺ラネバ水ニ解ケスト云フ欠点ガアツタデ、遂ニ其方法ハ廢メテ間モ無ク協議會ガ出來テ其試験ノ結果ニ依ラネバナラントニナツタノデアリマス、其當時ノコトヲ云ヘバ何ウシテモ水ニ解ケナイデ乳鉢デ摺ル時分ニ其程度ニ因ツテ顆粒ニ相違ガアル、夫デ何ウシテモ一定ニ拵ヘ得ル所ノ顆粒デナケレバナラント云フ考ヘヲ起シタノデアリマスカラ、御參考ニ……

○十八番(横濱市) 只今十三番カラノ御話ニ依レバ砂其モノヲ乾燥スルト云フ御話ガアツタヤウデアリマスガ、私ノ方デハ火力デハ乾燥ハ致シマセス、即チ常溫デ乾燥致シマシテ、夫ヲ乳鉢デ摺ラヌデモ宜シイケレ共摺ツタ方ガ宜シイ、其物ハ肉眼デ見テモ顆粒ハ分ラヌヤウニナル、即チ濾過紙ヲ濾シテ出タノデアアルカラ

顆粒ハ肉眼デ見エヌ微細ノ物デアアル、私ハ夫ガ宜シイト思ツテ研究シテ居ルノデアリマスガ、尙又別ニ書面デ……

○議長(中山助役) 是ハ尙ホ宿題ニスルト云フコトデアリマスガ、御異議ガナケレバ宿題ニ取計フテ宜シウ御座イマスカ

〔異議無シ〕ト呼ブ者アリ

然レバ其事ニ取計ヒマス

○議長(中山助役) 次ノ第五ニ移リマス、第五モ報告ノ第三東京市カラノ御提出ト報告ノ第二十八朝鮮總督府カラノ御提出ト牽連シテ居ルヤウデアリマスカラ、先ヅ第一ニ報告ノ方ヲ承ツタ上デ……

(宿)五 上水試験法第二化學的試験法(一)清濁及色ノ試験法中「七十仙迷ノ水層」トアルヲ「直徑三仙迷以上高サ二十四仙迷ノ水層」ニ改メタシ(大坂市)

(報)三 上水試験法第二化學的試験法(一)清濁及色ノ試験法中「七十仙迷ノ水層」トアルヲ直徑三仙迷以上高サ二十四仙迷ノ水層ニ改ムルニ就テ(宿題中) (東京市)

(報)二十八 上水試験法第二化學的試験法清濁及色ノ試験法中「七十仙迷ノ水層」トアルヲ「直徑三仙迷以上高サ二十四仙迷ノ水層」ニ改メタシ(宿題)ニ關スル報告(朝鮮總督府)

○二番(東京市) 上水試験法第二化學的試験法(一)清濁及色ノ試験法中「七十仙迷ノ水層」トアルヲ「直徑三仙迷以上高サ二十四仙迷ノ水層」ニ改メタシト云フノハ大坂市ノ提案デアリマスガ、現今用井テ居ル七十仙

迷ノモノト夫カラ改メヤウトスル二十四仙迷ト云フモノト即チ長イ管ト短イ管ト試験ヲシタ所ガ斯様ナ成績デアリマシタ、是ハ二様ニナツテ居リマス、清濁ト色トニナツテ居リマス、第一ニ色ヲ試験スル場合ニ長管ヲ用井テモ短管ヲ用井テモ白紙上デ透見スレバ從來ノ試験成績上ニ表シ來ツタ精密度ニアツテハ殆ンド長短共ニ差ヲ見出サスノデアリマス、夫カラ濁度ヲ試験スル際ニ長管ト短管ヲ用井テモ黒イ紙ノ上デ透見スレバ色ノ度合ニ於ケルガ如ク差異ヲ認メマセスケレ共、夫ニ反シテ白紙上デ透見スレバ著シキ差異ガ生ジマシタ、ソコデ長イ管ヲ短イ管ニ改メレバ色ヲ測定スル場合ニ於テハ從來ノ如ク白紙上ニ於テ透見セネバナランノデアリマスケレ共、濁度檢定ノ場合ニハ白紙上ト云ツテハ只今申シタ通りノ不都合ガアルカラ黒紙上ニ於テ檢査ヲスルヤウニセネバナラント云フ結果ヲ發見致シマシタ、就キマシテハ其長短ノ管ニ依ツテ色同ジク濁度ト共ニ〇・一度カラシテ〇・二、〇・三、〇・四、〇・五、〇・六、〇・七、〇・八、〇・九ト順次一度マデニ適スル試験ヲシタ其成績表ガ出來テ居リマスガ、夫ハ此處デ讀ンデモ煩雜デアルカラ讀ミマセヌガ、要スルニ前ニ申述べタ通りニ色度ニ於テハ白紙上デ透見スレバ大差ハナイ、尤モ濁度ニ於テハ短ヒ管デハ〇・デ即チ〇・一カラシテ殆ンド濁度ハ見ヘスケレ共〇・四カラ見ヘダシタ、然ウスレバ若シ是ヲ改メルナレバ一様ニ致サネバナラント云フ結果ヲ見出シマシタ

〇五十六番(朝鮮總督府) 京城并ニ仁川ノ水道ニ於テ約半ケ年間使用シマシタ濁度用ノ管ハ七十仙迷ノ高サヲ以テ居ルモノデ御座イマスケレモ、中間デ二ツニ折ルコトガ出來、其二ツニ折レマシテ非常ニ簡單デ然ウシテ二管ノ接觸部ニハ摩擦面ヲ有シテ居ノマスカラ水ガ漏レナイ、然ウ云フ方法デ試験ヲシテ見タノデアリマスガ、其方法ニ依ツテ試験ヲ行リマシタナレバ、二十四仙迷デ一度ノ濁度ハ三度ノ濁度ニナルヤウナコトハ明ニナツテ居リマス、初メハ白陶土ガ七十仙迷モアレバ沈ンデ底ニ沈着ヲスルノデ是ヲ掃除スルニ不充分デアアル、不充分デアルト沈着シタ爲ニ濁度ヲ誤ルト云フ所カラ提出ヲサレタヤウニ考ヘテ居ル、所ガ其二分スルコトノ出來ル管ヲ以テ試験ヲスレバ比較的掃除ヲスル際ニハ便利デアリ然ウシテ試験ヲスル際ニハ正確ニ行ケルヤウデアリマスカラ、矢張り七十仙迷トシテ此試験方法ハ保存シテ戴キタヒト思ヒマス

〇二番(東京市) 大坂市ニ承リタウゴザイマスガ、御提案ノ趣意ハ本問題ノ通りニ改メルノガ御便利デアラウト思ハレタノデシヤウガ、今朝鮮ノ御話ニ依レバ器具ヲ洗滌スルニ一ツノ不便デアラウト思ヒマスガ、夫ハ取除ケガ出來ヤウト思ヒマスケレモ、其他ニ何カ御理由ガアルノデアリマスカ、他ニ大ナル理由ガアツテ斯様ニ改メルト云フコトナレバ兎ニ角左モナケレバ從來ノ通りニシテ置キタイト存ジマス

〇十三番(大坂市) 是ヲ大坂市ガ提出シマシタ原因ハ、大体濁リヲ試験スルノハ詰リ源水使用地ニ於テ使用サレルノデアリマスカラ、從ツテ川水ガ濁ツテ居ツタナレバ之ヲ稀釋セネバ見ヘスト云フ場合ガアル高サヲ低クスレバ差向キ分量モ少クツテ見ヘヤウト思フ、然ウ歸着スレバ必ズシモ差ノ出ルコトヲ發見シマシタカラ、斯ウ云フ風ニシタナレバ何ウカト思ツテ居ル、モウ一ツハ操作ノ上ニ不便デアアル、只今朝鮮總督府カラ云ハレタ通りニ白陶土ガ七十仙迷モアレバ底ニ沈澱シテ掃除ヲスルニ不便モアルト云フ点カラ出シタノデアリマス、乍併只今東京市ガ云ハレタ通りニ黒色ノ紙ノ上デ見テ二十四仙迷デ行ルナレバ何ウデアラウカト云フコトデアリマシタガ、然ウ云フコトニナレバ至極結構デアラウト思ヒマス

- 九番(京都市) 京都市ニ於テモ此濁度ノ長短ニ就テモ色々研究シテ居リマスガ、今私ノ方デ使ツテ居ルノハ二十四仙迷デアル、今京都市ガ云ハレタ通りニ此二十四仙迷ノモノヲ使ツテ見ルニ別段ニ大差ハ無ヒヤウデアル、矢張り二十四仙迷ノ方ガ取扱フ時分ニハ非常ニ便利デアルデ二十四仙迷ノ水層デ行ツタナレバ別段ニ差支ハ無ヒヤウニ考ヘテ居リマス
- 二十五番(長崎市) 私ノ方デハ矢張り協定法ニ規定サレテ居ルノデ行リ又短ヒノデモ行リマスケレモ、操作上其他ニ於テ是ヲ何モ改ムル必要ハ認めマセヌカラ、矢張り是マデノ通りニシテ置イタナレバ如何デアラウカト云フ考ヘデアリマス
- 議長(中山助役) 是ハ上水試験法中ヲ修正シヤウト云フノデアリマスカラ、何レカニ御決定ヲ願ヒタイ、御決定ガ附カヌナラバ猶ホ宿題ニ致シタウゴザイマス
- 六十一番(台湾總督府) 普通ノ川ノ水ノ状態デアレバ七十仙迷デ宜シヒ、併シ川水ガ非常ニ濁シタ場合デハ二十四仙迷ノ方ガ宜シヒ、私ノ方デハ普通ハ七十仙迷ヲ使ツテ濁度ノ増シタ場合ニハ二十四仙迷ヲ使フト云フコトニ致シタイト思ヒマス
- 議長(中山助役) 決定ヲスルノデアリマスカ
- 六十一番(台湾總督府) 左様デアリマス
- 九番(京都市) 私ノ方ノ京都ハ琵琶湖デアルカラ川水ノヤウニ大シタ影響ハアリマセヌガ、夫デ二十四仙迷ト七十仙迷トヲ使フノト餘リ大差ハ無ヒデ此両様ヲ使フトコトニ致シテハ何ウデアリマスカ

○二番(京都市) 是ハ協定法ノ文字ヲ訂正セネバナリマセヌノデ、詰リ大体ノ意嚮ハ伺ハレルヤウデアリマスガ、此會期中ニ委員ヲ拵ヘテ取調ベラシテ戴イタナレバ如何デアリマスカ

(「委員說ニ賛成」ト呼ブ者アリ)

- 議長(中山助役) 夫デハ委員說ニ決シマス、然ウシテ委員ハ何名デアリマスカ
- 二番(京都市) 五名デアリマス
- 議長(中山助役) 其撰擧法ハ……
- 二番(京都市) 座長ノ指名ニ願ヒタウゴザイマス
- 議長(中山助役) 五名ノ委員デ撰擧ハ議長ニ御一任ト云フコトデアリマス

(「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

然レバ追テ指名報告致シマス

○議長(中山助役) 次ハ第六ニ移リマス、是レハ報告ノ第四ト宿題ノ十一ト云フモノガ共ニ牽連シテ居ルヤウデアリマス、第六ト宿題ノ第十一トヲ併合シテ御協議ヲ願ヒマス、其前ニ報告ノ第四ニ就テ御報告ヲ願ヒタウゴザイマス

(宿)六 色度標準液ノ改良法研究(京都市)

(宿)十一 色度ニ「ヨード」液ヲ應用スルノ可否(廣島市)

(報)四 色度ニ「ヨード」液ヲ應用スルノ可否ニ就テ(宿題中)(京都市)

○二番(東京市) 東京市ガ色度ノ標準液ニ就キマシテ試験ヲ致シマシタ所ヲ御報告致シマス、實ハ此十一デゴザイマス、廣島市提出ノ色度ニ沃液ヲ用ユル可否如何ント云フノト同一ノ意味ニ於テ試験ヲ致シタノデアリマス、其試験ノ結果ハ日本藥局法ニ適スル沃度ヲ使ツテ〇・〇五瓦ヲ一%沃度加里溶液ニ溶解シテ數回試験ヲシタ所ガ何レモ同一ノ色度溶液ガ出來マシタ、次ニ東京市デ目下使ツテ居ル「カラメル」色度標準液ノ各度ト之ニ相當スル色彩ノ沃度液ヲ作り其各ノ場合ノ沃度含量ヲ調査シタルニ別表ノ如クデス「カラメル」液ガ常ニ同一ノ色度ニ製出セラレヌニ依テ之ヲ比較スベキ第二ノ標準物ヲ得ヤウト云フノガ問題デアリマス、此表ニ依リマスレバ「カラメル」液試験ノ方ハ五度ニ對スル沃度液ハ一「ミリグラム」十度ニ一・五「ミリグラム」十五度ニハ二「ミリグラム」二十度ニ二・五「ミリグラム」二十五度ニ三「ミリグラム」三十度ニ三「ミリグラム」三十五度ニ四「ミリグラム」四十度ニ四・五「ミリグラム」ト云フノデアリマスガ、其色ノ性質ガ「カラメル」ノ二十度ト二十五度ノ二ツノ場合丈クガ兩液同一ノ性質デスガ他ハ悉ク一致シマセヌ、右御報告申シテ御參考ニシテ置キマスガ、果シテ此沃度ヲ以テ「カラメル」ノ標準液ヲ製造スルガ宜シヒト云フ成績ハ未ダ見出しテ居リマセヌ、夫カラ二十度二十五度ノ所デ「カラメル」液ヲ製スルトスルモ分量ヲ定メテ置クコトハ出來ヌコトニナリマス、「カラメル」ノ方ヲ改メテ行カネバナランヤウニナラウト思ヒマス

○四十二番(廣島市) 只今色々御話ヲ聽キマシテゴザイマスガ、御仰ノ通りニ沃度ハ其原料ノ異ナル作用デ其色ガ一致ヲセヌノデアリマスカラ、私ノ方デ普通使ツテ居ル「カラメル」液ノ色ヲ基トシテ取レマシタ色ト、沃度トヲ約一万分ノ一定規液ト此「カラメル」液ノ色ガ類似シテ居リマス、其一万分ノ一定規液ト……沃度液ヲ細カクスルトカ薄クスレバ只今云ハレタ通りニ色ガ變ツテ來ルデ標準液トシテ一万分ノ一定規沃度液ヲ使ツタナレバ色ガ變ラヌト思フ、夫カラ沃度液ヲ直接ニ使ヘバ……極ク薄ヒモノニナレバ沃度ガ紅色ヲ帶ビル嫌ヒガアリマスカラ、兎ニ角一万分ノ一ノモノヲ定メマシテ、夫ヲ「カラメル」液ノ標準ニシタイト思ヒマス

○七十二番(岡山市) 色度ノ標準液ニ就テハ色々御意見モアリ又試験ノ御報告ガアリマシタガ、只今茲デ心附イタコトヲ申シテ置キタイ、元來此「カラメル」液ノ改良法ガ提出ニナツタ理由ハ「カラメル」液ハ蔗糖ヲ燒ク場合ノ溫度或ハ之ヲ燒ク時間ノ長短ニ依テ色々ナモノガ出來ルノデ之ハ何ントカ色度ノ標準ヲ改良シテ一定ノ色ヲ得タイト云フコトカラ御提出ニナツタコトデアラウト考ヘマスガ、私ハ此「カラメル」ニ代フルニ別段ニ外ノ方法ヲ用井ヌデ單ニ是迄ノ通りニ「カラメル」ハ「カラメル」ノ液トシテ置イテ其「カラメル」ノ色ノ都合ヲ一定スル方法ヲ定メタナレバ宜イカト思ヒマス、其方法ハ目下海軍砲兵工廠トカ各府縣ノ火藥検査所ノ検査官等ガ使ツテ居ル火藥ノ分解度ヲ見ル試験紙ガアル、夫ハ火藥ガ熱ニ依テ分解シテ沃度加里澱粉紙ニ作用シテ之ヲ褐變スル其褐色ニナツタ場合ヲ一方濃度ノ定ツタ「カラメル」液ヲ以テ試験紙ヲ作り之ト比色スル即チ火藥耐熱度ヲ檢スル場合ニ此「カラメル」液ト云フモノヲ海軍省デ使ツテ居ラレマスガ、其方法ヲ行ツタナレバ何ウデアラウカト思ヒマス、其方法ハ一定量ノ「アムモニア」水或ハ極ク精製シタ所ノ「アムモニウム鹽」ノ溶液ヲ作ツテ夫ニ「ネスレル」氏試薬ノ一定量ヲ加フレバ茲ニ褐色ノ色ガ起ルノデ其色ヲ以テ標準トシ一方ハ「カラメル」即チ蔗糖ヲ百二十度内外デ燒イタモノ、液ヲ作ツテ置キマシテ、前ニ申シマシタ「アムモニ

「ア」ノ「ネスレル」氏ノ試薬ニ對スル反應ト比較シテ其液ヲ塗ツテ一定ノ試験紙ヲ作ツテ使フト云フ方法ニシテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ方法ノ一部ヲ應用シタナレバ「カラメル」ノ色度ヲ定メルコトガ出來從ツテ各所トモ一定ノ色ガ得ラレルダラウト思ヒマスカラ、一寸御參考マデニ述ベテ置キマス

○十三番(大坂市) 色度ト云フコトニ就テハ前年自分ノ方デハ試験ヲシテ第三回ニ報告致シタ積リデアリマスガ、其際ニハ色ハ地質ノ關係ニ因テ違フ、必ラズ一定ノ濁リヲ出シテ居ラス、一例ヲ云ヘバ東京ノ多摩川ノ濁リハ白クツテ大坂ノ川水ハ褐色ヲ帯ビテ居ル、故ニ色素ハ自ラ異ツテ居ルデ標準ニスベキモノデナイ、「カラメル」ニ合ハヌ所ノ色素ヲ用井ル所ガ終ヒニ濁リヲ……此沃度ナルモノモ敢テ茲ニ議スル必要ハナカラウト思ヒマスガ、云ハハ一ツノ色素デアラウト思ヒマスガ、當時私ノ方デ云ツタノハ強チ物ヲ染メル色素許リデハナイ、詰リ綺麗ナ水ニ色素ヲ混ゼマシテモ色素ニ依ツテ濁ルコトガアリ濁ラズシテ透明デアツテ底マデ見エルト云フ色素ガアリマス、然ウ云フ色素デアツタナレバ何ヲ用ヒテモ宜シイト思ヒマスカラ、現行ノ規定通りデ一向差支ハナイト思ヒマス、尙ホ只今「アムモニア」ト色素ノ御話ガアリマシタガ之ハ衛生雜誌ニ載セテ居ルモ欠点ガアルヤウニ思ツテ居リマス

○二番(東京市) 此問題ハ宿題ノ儘ニシテ御研究ヲ願ヒタイノハ、今大坂市ノ如クニ色ハ其地方ノ地質ノ關係ニ因テ異ナルト云フコトハ申スマデモナイガ兎ニ角「カラメル」ノ色ヲ定メテ置クト云フコトガ必要ニナツテ來ル、其處カラシテ私ノ方デハ研究シタノデアリマスガ、廣島市カラ提出ノ十一ノ問題デ、アレハ「色度ニ沃度液ヲ應用スル可否」ト云フコトニナツテ沃度液ヲ「カラメル」ニ換ヘル問題デアラウト思ヒマスガ、私ノ研

究シタノハ只今岡山市ニ云ハレタ通り「カラメル」ヲ作り出スト云フ考ヘデ沃度ヲ試験シタノデアリマス、是ハモウ少シク然ウ云フ意味合ヒデ御研究ヲ願ヒタイ、就テハ此第六ヲ宿題トシテ繼續スルヲ希望致シマス

○四十二番(廣島市) 私ノ方デハ沃度ヲ使用スレバ便利ナラント云フノデアアルカラ沃度液ヲ「カラメル」其モノニ換ヘルト云フ意味デハアリマセヌ

○議長(中山助役) 御提出者ノ方カラ宿題トシテ尙ホ一層ノ研究ヲシテ貰ヒタイト云フコトデアリマスガ
〔異議無シ〕ト呼ブ者アリ

御異議ガナケレバ第六ト第十一モ合セテ宿題ニ致シマス

○議長(中山助役) 先刻報告シテ置キマシタ、内務省ノ出張員ガ只今御出席ニナリマシタ、次ハ第七ニ移リマス、是ニ就テハ報告ノ第六ト第十八ノ此二ツノ報告ガアリマスルデ、先ヅ第一ニ第六ト第十八ノ御報告ヲ承ツテ第七ノ宿題ヲ御協議致シマス

(宿)七 「インドール」反應ニ由ル淨水早期検査法ノ應用如何(東京市)

(報)六 「インドール」反應ニ由ル淨水早期検査法ノ應用ニ就テ(宿題中)(東京市)

(報)十八 所謂淨水早期検査法トシテ「インドール」反應ノ價値(長崎市)

○五番(東京市) 此問題ハ昨年東京カラ提出致シタノデアリマシテ、然ウシテ濾過器ノ掃除或ハ新シク作ツタ場合ニ早ク濾過ノ効力ガ完全デアルカ如何ヲ試験スル爲ニ「インドール」反應ニ由ル淨水早期ノ検査法ヲ應用シタイ爲ニ諸君ニ伺ツタ次第デアリマスガ、本問題ニ就テ昨年モ東京市デ研究シ今年モ引續イテ研究シタ

試験成績ヲ報告致シマス、先ヅ第一ニ其純粹ナ水ト夫カラ淨水ト比較シテ試験ヲシタ成績ガアリマス、源水或ハ堀井水ハ順次〇・一、〇・二、〇・五、一・〇、二・〇、三・〇、五・〇、ヲ取ツテ、夫カラ淨水デアレバ五・〇、一・〇、〇、二・〇、〇、二・五・〇、三・〇・〇、四・〇・〇、五・〇・〇、ヲ有栓ノ「チリンドル」ニトリ全量ヲ殺菌水ニテ五・〇・ccトナシ夫ニ十%ノ「ペプトン」水五・ccヲ加ヘテ三十七度ノ孵卵器内ニ四十八時間入レテ置キマシタ、其後ザルコスキー氏法ニヨリ「インドール」ノ反應ヲ試験致シマシタ、所ガ堀井水及ビ源水ニハ細菌數ガ平均四千七百四十許リアル、夫カラ源水〇・二乃至二・〇ノ間ニハ反應ヲ呈シ淨水ノ如キ綺麗ナ水デアレバ一五カラ二〇ノ間ニ反應ガ現レル、夫レ以下ニテハ反應ハ現レタコトハナイ、然ウスレバ或ル程度マデハ此方法ニ依ツテ水ノ純否ハ標準ニナルケレモ濾過ノ効力如何ヲ實際ニ應用シテ宜イカ如何ンハ尙ホ研究ヲ要スルヤウデアリマス

○二十五番(長崎市) 此問題ハ昨年試験ノ結果ヲ報告シテゴザイマスガ、更ニ又引續イテ試験ヲシタ結果ニ依レバ菌ノ含量ト何モ密接ノ關係ハ持ツテ居ラヌヤウニ考ヘラレマス、ト云フノハ含菌量ノ少クナイ水デ此反應ガ現ハレテ含菌量ノ多イ水デ此反應ガ現ハレテ參リマセヌコトガ屢々アリマス、ノミナラズ同ジ水デモ例ヘバ〇・五ccヲ培養シタルモノニ此反應ガ現ハレテ一・〇グラムヲ培養シタモノニ此反應ガ現ハレヌコトガアリマス、故ニ私ノ方デハ早期検査法トシテ價値ハナイヤウニ考ヘテ居リマス、尙ホ此反應ヲ大腸菌ト結ビ附ケルト云フヤウナコトモ今日ハ出來ナイコトデアラウト考ヘテ居リマスカラ、早期検査法トシテノ價値ハ認メテ居リマセヌ

○五十九番(台灣總督府) 台灣總督府デ調べマシタ所モ長崎ノ成績ト殆ンド相一致シテ居リマス、今其概要ヲ申シマスレバ可檢水ノ〇・一、〇・一、一・〇、五・〇、一・〇・〇、ヲ取リ之ニ減菌水ヲ加ヘテ二〇ccトナシ更ニ二%「ペプトン」水二〇ccヲ加ヘ三十七度ニ四十八時間納メ置キ各々稀釋分離シタル後インドール反應ヲ検査シマシタ、斯クテ第一ヨリ第二十二号ニ至ル「インドール」陽性菌ヲ獲其各菌ニ就テ培養上ノ性質ヲ精査シタルニ其多クハ「ゲラチン」可溶性ニシテ其然ラザルモノモ皆大腸菌ト明ニ區別シ得ラレルモノデアリマス、サレバ「インドール」反應ノ有無ノミヲ以テ大腸菌ノ存否ヲトスルニ足ラザルコトハ明瞭デアアル、又「インドール」反應ノ發現ト細菌發育ノ多寡ニ就テ検査致シマシタ、所ガ濁濁ガ強クシテ「インドール」陰性ナルモノアリ或ハ全ク之ニ反スルアリテ即チ菌含有ノ多寡ヲトスヘキ標準ニナラザルコトガ分リマス、以上ノ理由ニ依リ水ノ良否ヲ早期ニ判定センガ爲メニ「インドール」ノ有無ヲ檢スルコトハ價値ヲ置キ難キモノト考ヘマス

○二番(東京市) 此問題ハ他ニ御意見ガアレバ承ツテ終了ト云フコトニシテ差支ヘナイ積リデアリマス

○議長(中山助役) 第七ニ就テハ外ニ御意見ガ無ケレバ只今ノ報告ヲ以テ終了ト云フコトニ致シマス

○議長(中山助役) 次ハ第八ニ移リマス

(宿)八 水道管末装置ノ調査(東京市)

○二番(東京市) 是ハ昨年提案ヲ致シマシテ、各地ノ御研究ノ結果ヲ承リタイノデ宿題トシテ殘シテ居ルノデアリマス、昨年モ其趣意ハ申シタケレ共茲ニ繰返シテ置キマスガ、東京市デハ水道ノ「カラン」ヲ開ケバ水ガ散亂スルノデアアル、所デ各戸ニ於テハ水ハ一定ノ器デ汲ムトシテモ、散亂スル爲メニ水量ヤ經濟ト云フコトハ眼中ニ無クシテ、唯ダ水ガ散ルノヲ困ルト云フ考ヘカラシテ、溜ル時間ガ長ク掛ルトモ溜ル水ノ連絡ヲ

附ケル爲メニ護謨ノ管ヲ用井ル、然ルニ衛生上カラ調べテ見レバ其管ヲ附ケレバ、管ノ中カ不潔ニナツテ居ル、ソコデ管ヲ外ヅシテ試験シタ場合ト、管ヲ外サヌデ試験ヲシタノトハ差ガアル、之ハ不便ヲ思フ所カラ護謨管ヲ附ケル爲メニ折角奇麗ナ水ヲ供給シテモ各戸ニ於テ管ノ爲ニ水ヲ汚スノデアル然レバソレヲ取り外サシムルコトヲ獎勵シタナレバ何ウデアルカ、併シ取ラシタナレバ大不便ガアル、依テ水道供給者ノ方デ、散亂シナイ程ノ「カラン」ヲ研究シテ附ケテ戴キタイ、東京市デハ專賣ノモノガ出來テ居リマスガ、夫ヲ用井テ行レバ散亂ハセス、夫ヲ多分行ル面倒ヲ厭フテ多ク護謨管又ハ切レノ管ヲ附ケルデ何等カ御研究ヲ願ヒタイト云フノデ提案シタノデアリマスガ、其後此「カラン」ノ模様等ヲ承リタイ爲ニ茲ニ殘シテアリマス

○四番(東京市)私ノ方デハ此水栓ノ構造方法ニ就テ色々研究シテ二様ノ研究ヲ致シマシタ、茲ニ其圖面ヲ持參シテ居リマスガ、之ハ口頭デ云フヨリモ圖面デ御覽ニナツタ方ガ宜シイデ、之ヲ主催地ニ於テ議事録ニ入レテ貰フ方ガ宜シイと思ツテ居リマス、尙ホ各市ニ於テ御調べニナツタコトガアリマスレバ、其圖面ノ構造ヲ議事録ニ出シテ貰ツテ比較的散亂シナイモノヲ採リタイト云フ考ヘデアリマスカラ、御研究ニナツタ各市ハ只今申シタヤウニ願ヒタイト思ヒマス

○二十一番(神戸市) 此水道ノ「カラン」ハ「バルブ」ノ所ノ構造ニ依テ多少水ガ散ルノト散ラスノガアル、「バルブ」ガ特ニ離レタコトニナレバ水ガ散ル際ニ、多少「バルブ」ガ動クノデ水ガ餘計ニ散ル、彼レガ裏ノ眞棒ニ固定シテ居ルモノハ割合ニ少イヤウデ彼處ガ……取レ易イデ仕方ガアリマセヌデ、神戸デハ多少固定シタモノヲ使ツテ居ツタケレ共、今ハ離レタモノヲ使ツテ居リマス、然ウ云フ栓ニナレバ水ハ餘計ニ出ルヤウデアリマス、夫デ以前ヨリアル口ニ螺旋デ以テ金網ヲ附ケルヤウニシタノモアリマス、夫ハ水ガ散ラスデ出ルヤウデ工合ガ宜シイケレモ少シク直段ガ高フニアリマスガ、夫ハ追々ニ行ラウト云フ計畫ハシテ居リマスガ、未ダ實行ノ場合ニナリマセヌガ、夫ハ水ヲ汲ムニハ「カラン」ヲ附ケルノガ高スギルヤウデアアルカラ近頃ハ少シク低クスルコトニシテ居マス、併シ餘リ低クシテモ不便デアラウト云フコトデ、今ハ「カラン」ヲ附ケル高サヲ成ルベク低クスルコトニ就テ研究シテ居リマス、「カラン」ヲモウ少シク低クシテ行レバ、然ンナ必要ナイカ何ウカト云フコトニ就テ研究シテ居リマスケレ共、未ダ意見ガ極リマセヌデ、他日又報告ヲスルコトガアラウト思ヒマス

○議長(中山助役) 只今東京市カラ御提出ノ圖面ハ休憩室ニ置イテアリマスカラ、充分ニ御覽ヲ願ヒマス

○二番(東京市) 神戸市ニ於テモ尙ホ御研究中デアルト云フ御模様デアル、是ハ尙ホ御研究ヲ戴カネバナラ問題デアルカラ宿題トシテ繼續ヲ願ヒマス

(「異議無シ」ト呼ブ者アリ)

○議長(中山助役) 然レバ宿題ト云フコトニ決シマス

○議長(中山助役) 第九ニ移リマス

(宿)九 給水鉄管外面ヨリ腐蝕シ破裂ノ原因トナルコト尠ラズ其防止方法如何但シ各市ニ於テ調査セラレシコトアラバ其成績承リタシ(廣島市)

○四十二番(廣島市) 本問題ニ就テハ昨年ノ協議會ニ於テ述べマシタ通りニ、鉛管ノ漆喰中ニ接觸シタル部

分ニシテ其漆喰中ノ如何ナル成分ガ原因ヲナスカハ、主トシテ石灰分ガ害ヲ爲スト云フコトハ發見ヲ致シマシタ、尙ホ昨年以來引續イテ研究致シタ結果廣島地方デ實驗シテ居ルノハ眞砂土モ之ニ關係ヲ有シテ居ルコトヲ發見致シマシタカラ、今回ハ其眞砂土ノ腐敗作用ニ就テ申シテ置キマス、廣島地方ニ於ケル眞砂土ト稱スルノハ長石ヲ含有スル岩石ノ崩壞シタモノカラ出來ルノデアアル、又崩壞セヌ岩石ノ粒石ヲ混ジタモノデアアル、其漆喰ヲ作ル時分ニ崩壞セヌ岩石ハ篩デ下シテ粒石ヲ除去スルノデ云ハバ赤土ヲ用井ルト云フコトニナツテ居ル、其赤土ニ就テ色々ナ成分ヲ研究シタ結果「アルカリ」「鹽類及」「カルシウム」「鹽類ガ重ニ此鉛管ニ害ヲ及スヤウデアアル、其分量ガ多ケレバ多イ程害ヲ及スヤウデアアル、然ウ云ウ障害物ヲ取ツタ全ク純粹ノ赤土ヲ以テ鉛管ニ浸シテ置ケバ餘リ害ヲ受ケルコトハナイ、サレド多少ノ害ハアルデ赤土ノ主成分タル含水硅酸「アルミニウム」ヲ精製シテ之ニ水ヲ混ゼテ鉛管ニ浸シタケレ共之モ亦多少ノ害ヲスルノデアアル、尙ホ其他ノ硅酸鹽類デ同様ノ試験ヲ行ツテ見ルニ之モ多少ノ害ヲスルノデアアル、兎ニ角夫等ノ害ハ至ツテ僅ナモノデアリマスガ、重ニ害ヲ及ボスノハ赤土中ニ常ニ含有スル「アルカリ」液及「カルシウム」液夫カラ鉄分ノ多キモノガ害ヲ及スト云フコトハ實驗ヲ致シマシタ、其防止法ニ就テハ成ルベク設計ヲスル時分ニハ漆喰中ニ鉛管ヲ埋没シテ水ガ浸込マヌヤウニセネバナラス、夫デ其工事が困難デ止ムヲ得ヌ場合ニハ漆喰ノ層ヲ厚クシテ水分ノ滲入ヲ防イデ鉛管ノ接觸面ヲ常ニ乾燥シテ置クヤウニシタナレバ實際ニ結果ガ宜シイヤウデアアル、併シ未ダ實際ニ夫ヲ行フテ見テ譯デハアリマセヌ

○議長(中山助役) 廣島市以外デ御試験ノ話ハ出ヌヤウデアリマスガ、廣島市ハ如何ニナサレマスカ

○四十二番(廣島市) 本問題ハ廣島市ニ於テモ頻繁ニ起ルト云フ譯デハナイデ、此儘終了シテモ宜シイと思ヒマス

○議長(中山助役) 夫デハ第九ハ之デ終了シタコトニ致シマス

○議長(中山助役) 先刻御委託ニナリマシタ、第五ノ問題ニ就テノ委員五名ヲ

- | | |
|-------|--------|
| 東京市 | 遠山椿吉君 |
| 京都市 | 平井勝君 |
| 大坂市 | 中野昂一君 |
| 長崎市 | 中山貞次郎君 |
| 台灣總督府 | 粕谷隆次君 |

ニ指名致シマス、今日ハ是デ閉會スルコトニ致シマス

午前十一時五十分散會

大正元年十月廿九日(火曜日)

午前九時五十分開議

○議長(中山助役) 昨日ニ引キ續イテ開會致シマス、今日ハ報告セラル可キ分デ前回ノ問題ノ第一ニ移リマス

(可報)一 「ウルトラヴ井オレット」光線淨水殺菌力ノ價值如何(東京市)

(右陸軍省ノ實驗報告ヲ請ヘル分)

○議長(中山助役) 此ノ第一ハ陸軍省ノ實驗報告ヲ請フコトヲ昨年東京市デ御決議ニ成ツテ居ツタノデアリ
 マスガ、其結果陸軍省ヘ照會致シテ回答ガ參ツテ居リマス、其回答ハ印刷シテ諸君ノ御手許ニ出シテアルデ
 何レ御覽ニナツテ居ラウト思ヒマスガ、彼レデ御満足デアレバ此第一ハ結了ニナツタモノト見テ何ウデ御座
 リマセウカ

○二番(東京市) 只今會長カラ御報告ニナツタ通りニ東京市ハ實ハ之レヲ御引キ受ケヲシテ陸軍省ニ依頼ヲ
 シテ其報告ヲ得テ居リマス、然ルニ陸軍省カラハ一方當市ノ方ニ直接御運ビニナツテ居ルカラ改メテ東京市
 カラ申シ上ゲル必要ハ無カラウト思ヒマスガ、然シ始メテ御覽ニナル御方モアリマセウカラ矢張大要ヲ申シ
 テ置ク必要ガアラウト思フ、要スルニ「ウルトラウ井オレット」光線ノ應用ハ只今歐羅巴デモ研究ガ出來テ居
 ル、其報告ニ依レバ有効ノヤウデアル、兎ニ角外國ノ報告デハ有利ニ書イテ居ル、伯林ノ王國水質検査所ノ
 試驗成績ヲ見レバ成程有効ニハ相違ナイ、殺菌力ハ確カデアツテ或ル條件ノ下ニハ有効デアルケレドモ、實
 際ノ効力結果ヲ一表トシテ附ケテ居ル、即チ殺菌法ヲ比較ヲシテ經濟上ノ關係ヲ見ルニ頗ル利益ノアル表ト
 思ヒマス、勿論此ノ表モ歐洲ト我國デハ多少ノ違ヒガアラウガ、大体ハ之レニ依ツテ見ラレヤウト思ヒマス、
 第二「オゾン」清淨法ヲ用フレバ五・二七「マルク」夫レカラ吾々ガ多ク行ツテ居ル砂濾法ヲ用ユレバ一・二二「マ
 ルク」、例ノ京都市ニ御實行ニナツテ居ル如キ急速砂濾法ハ五・二五、然ルニ此ノ紫外光線ヲ用ユレバ一・二〇乃
 至一・六〇ト御座イマス伯林ノ検査ノ結論ヲ見レバ如何ニモ有効デアルケレドモ、現今經濟上ノ方面カラ言ヘ
 バ他ノ方法ニ比シテ頗ル不利デアル、サテ、巴里ノ研究ニ依レバ是レマデハ水銀ヲ用ヒテ光線ヲ放チマシタノ

ガ水素瓦斯ヲ用ヒル法デアル、是レデアレバ頗ル經濟其他ノ利益ガ多イト云フコトガ追加シテアリマスガ、
 是等ノ研究ノ眞盛リデアル、只今マデハ御承知ノ通りニ水銀ヲ用ヒテ居ツタノガ水素瓦斯デ出來レバ構造モ
 簡易ニナルス様ナ狀況デアルデ只今ノヲ日本ニ採ツテ以テ應用スルコトガ出來ヌトシテモ、將來ハ有望ナ清
 淨法トナルト思フカラ、此ノ會ニ於テモ十分研究スル價値ガアル問題デ御座イマス、願ハクハ研究題トシテ
 繼續シテ各地デ御研究ヲナサルコトヲ望ミマス

○十八番(横濱市) 私ノ方デ此ノ紫外光線ヲ應用シテ飲料水ヲ殺菌スル器械ハ實ハ此ノ春取り寄セテ曩ニ十
 何回ト云フ試驗ヲ致シマシタ、此ノ度モ其實物ヲ持ツテ來テ御目ニ掛ケルト云フ考ヘデアリマシタガ、然ル
 ニ水銀石英燈ハ大變ニ毀レ、易クシテ非常ニ高價ナモノデ實物ヲ携ヘルコトハ止メテ其代リニ實物大ノ簡畧ナ
 圖ト寫眞等ヲ携帶シテ來テ居リマスガ、今日ハ宿ノ方ニ置イテ居ルデ、明日ハ此ノ器械ヲ使フタ有様ヲ申シ
 上ゲルコトニ致シマス

○議長(中山助役) 然ウスレバ第一ノ分ハ明日ニ延スコトニ致シテハ如何デ御座イマスカ
 (「異議ナシ」ト呼ブ者アリ)

然レバ明日迄ニ延スコトニ致シマス

○議長(中山助役) 然ウスレバ第二ニ移リマス

(可報)ニ 膠質、肉越幾斯膠質及寒天ニ於ケル水棲菌發育比較試驗 (東京市)

○五番(東京市) 此「ゲラチン」ト寒天ニ於ケル水棲菌ノ發育ノ比較ハ何ノ位ニナツテ居ルカト云フノハ、四

十一年カラノ問題デアリマシテ、東京市デモ四十一年カラ本年迄デ二百八十七回試験ヲ重ネテ見マシタ、所ガ水棲菌ノ發育ハ肉越幾斯ノ「ゲラチン」ヲ使ツタ方ガ良クシテ三・九ト云フ成績ニナツテ居ル、夫カラ寒天ハ發育ガ肉越幾斯ニ比較スレバ非常ニ悪クシテ六・九七ト云フ成績テアル、然ウシテ肉越幾斯ノ「ゲラチン」ニ比較スレバ約四分ノ一ニ相當シテ居リマス、ソコデ今マデ長崎、廣島、大坂アタリデ試験サレタ報告ニ比較スレバ非常ニ寒天デ發育ヲシタ數ガ少イノデアリマスガ、夫ハ或ハ東京デ行ツタ方法ト違フノデハナカラウカト思ハレマス、夫デ東京デハ「ゲラチン」ハ二十二度デ四日間培養シ寒天ハ三十一度ノ高溫ヲ以テ培養シタ夫等ノ点ガ異フノデハ無イカト思ヒマス、尙ホ協定法ニ依レバ四十八時間ノ肉越幾斯「ゲラチン」ノ發育ニ比較スレバ寒天デ發育シタ數ハ約半分ニナツテ居リマスカラ、或ハ他市ノ報告ト比較シテ東京市ノ寒天ニ發育ヲシタ數ガ惡イノハ時間ノ數ニ依レバセヌカト思ヒマス、長崎其他ノ所ニ於テハ何ソナ方法デ行ツテ居ラレマスカ、一寸伺ヒマス

○二十五番(長崎市) 此問題ハ私ノ方カラ三四回ハ既ニ報告濟ニナツテ居ルノデアリマスガ、茲ニ東京市ノ御尋子ニ依テ大体ノコトヲ御答ヲ致シマス、矢張り東京市ノ御話ノ通りニ同一ノ培養ヲシテ一方ハ……………一方ハ「フラン」器ニ納メタ割合デアリマス、此肉越幾斯膠質ニ對スル寒天ハ是迄ノ試験ノ結果デハ三分ノ二殖ヘテ居ルヤウニナツテ居リマス

○五番(東京市) 時間ハ何ノ位デアリマスカ

○二十五番(長崎市) 時間ハ矢張り二十四時間デアリマス、一方ハ四十八時間……………

○議長(中山助役) 外ニ報告ハアリマセヌカ

○二番(東京市) 此問題ノ起リハ要スルニ水棲菌ノ培養ガ「ゲラチン」ヲ本位トスルト云フコトハ知レ渡ツタコトデアリマシテ、各市共多數ハ是ニ依テ行ツテ居リマスガ、然ルニ氣温ノ高イ申サバ台灣ノ如キ氣候ニ「ゲラチン」ヲ用井ルコトガ不可能ナ所ガアルノデ寒天ヲ用井テ發育ノ關係數ヲ見出シテ「ゲラチン」ニ代フルニ寒天ヲ以テシテ其成績ヲ他ノ市ニ對照シヤウト云フノガ此問題ガ起ツタ所以デアリマスガ、其後台灣ノ方デハ如何デ御座ヒマセウカ、實際「ゲラチン」ハ御用ヒニナランデ寒天ヲ御用ヒニナツテ居リマスカ、或ハ「ゲラチン」ト寒天トノ關係ヲ御調べニナツタコトガアレバ併セテ御報告ヲ願ツテ置キマス

○五十九番(台灣總督府) 只今御話ノ通りニ台灣デハ半年間ハ「ゲラチン」ヲ用井ルコトガ出來マセヌ、其爲ニ既ニ寒天許リヲ用井テ居リマスガ、其寒天ノ割合ハ調べタコトハアリマスガ、矢張り度々行ツテ見ナイト始終數ニ就テ一定ノ率ヲ得ルト云フコトガ出來マセヌデ、只今報告致スコトハ出來マセヌガ、現ニ寒天ヲ用井テ居リマス、乍併備考トシテハ附記ニハ寒天ヲ用井タト云フ記載ヲスルコトニシテ居リマス

○二番(東京市) 將來多數ノ試験ヲ重ネテ其理想ヲ以テ云ヒ現ハス時機ガ到來スルカ否ヤハ分リマスヌガ、兎ニ角本問題ハ各市等多數ニ御試験ノ出來ル問題デアラウト思ヒマスカラ、是モ研究題トシテ繼續致シテ置キタイ考ヘデアリマス

○議長(中山助役) 御異議ガ無ケレバ然ウ云フ事ニ取扱ヒマス

(「異議無シ」ト呼ブ者アリ)

然レバ然ウ云フ事ニ取扱ヒマス

○議長(中山助役) 次ハ第三ニ移リマス

(可報)三 市外給水ノ場合ニ於ケル使用料徴收及滞納處分ノ方法 (佐世保市)

(右東京市ニ於テ内務省ノ意見ヲ聴取セラレタル結果報告)

○議長(中山助役) 是ハ確ニ東京市カラ内務省ノ御意見ヲ御聴キニナツテ御報告ニナルヤウニ決定ニナツテ居ツタヤウデアリマスガ

○四番(東京市) 本問題ハ昨年私ノ方デ内務省ノ意見ヲ聴イテ然ウシテ議事録ニ記載スルヤウニト云フ決議ニナツテ居リマシタ、所ガ議事録ヲ拵ヘル時マデニ種々都合デ内務省ノ意見ヲ聴取スルコトガ出来マセヌノデ、實ハ議事録ニ記載スルコトヲ止メテ今回ノ協議會ニ於テ報告スルコトニ致シマシタ、昨年内務省ノ意見ヲ聴カウト云フ要旨ハ要スルニ給水規則若クハ條例ニ於テ市外給水ヲスルト云フコトヲ極メテアル以上ハ市外ト雖モ矢張り給水区域内ト見テ即チ市内ト同一ニ此水料ノ徴收トカ此滞納處分ガ出来ルカ何ウカ、斯ウ云フコトノヤウニ私共ハ承知致シテ居ルノデアリマス、夫ニ依テ内務省へ參リマシテ地方局ノ市町村課ニ就テ色々伺ツテ見マシタ、併シ本問題ヲ提出ニナツテ居ル佐世保市ハ此市外給水ニ就テハ既ニ昨年デアツタカ内務省ノ方ノ許可ヲ受ケテ居ラレルノデアリマスカラ、私ノ方カラ報告ヲセヌデモ既ニ御承知ノコトデアラウト思ヒマスガ、一般ニ對シテ申上ゲルノハ此市外給水ノコトハ今マデ内務省ノ方デ認メラレテ居ルノハ東京、京都、佐世保、堺トカ斯ウ云フヤウニ承ツテ居リマス、夫デ此使用料徴收及滞納處分ニ就テハ何ウモ表向キ

内務省ノ意見トシテ聴イテ貰ツテハ困ルカノヤウデアリマシタ、内務省デ困ルノデ無クシテ私ノ方デ取扱フニ困ルヤウニ云ハレルノデアリマス、御承知ノ通りニ此條例トカ規則ト云フモノハ其市町村以外ニ効力ヲ及スカ否ヤト云フコトハ餘程六ヶ敷イ問題ニナツテ參リマシタノデ、無論表面カラ言ツタナレバイカナイト云フ方ニナラウト思ヒマス、然ウ云フ風デアルカラ市町村課デ云ハル、ニハハ理窟問題デハナイカ、理窟ハ廢シタ方ガ宜シイト云フノデアル、夫ハ何フ云フ譯カト云ヘバ從前カラ取扱フテ來テ居ル方法デ差支ハ無イデハナイカ、故ニ殊更ニ照會ヲシテ回答ヲ得テ置クト云フ必要ハナイデハナイカ、大概給水ヲスル所ニハ計量デ行ツテ居ラウ、然ウスレバ豫納金ヲ取ツテ居ルデ事實ニ於テ滞納スルコトハ無カラウ、又滞納ヲスルヤウナ所ニ向ツテ殊更ニ市外給水ヲセヌデモ宜カラウト斯標ニ決議ニナツテ居ルサウデアリマス、旁々致シマシテ是ハ餘リ理窟問題デ無シニ從前ノ通りニ取扱ツテ置ク方ガ宜シイト云フコトデアリマシタカラ、本問題ハ其經過ダケヲ申上ゲテ是デ終了スルコトニ御願ヒ致シタウ御座リマス

○二十六番(佐世保市) 此問題ハ私ノ方ニ於テ市外給水ヲ開始スル際ニ方ツテ此徴收方法ナリ滞納處分ノ方法ニ就テ疑議ヲ生ジタ結果本會ニ向テ提案ヲ致シマシタヤウナ次第デアリマス、然ルニ市ハ市外給水ノコトハ丁度昨年ノ十二月中ニ其筋ノ許可ヲ經テ現在ニ於テ實施シツ、アルノデアリマス、故ニ此問題ハ只今東京市カラ御報告ガ御座リマシタ如クニ、此會ニ於テ決議ヲスルトカ斯ウ云フ方法ニスルトカ云フコトハ先ヅ見合セタ方ガ或ハ宜クハナイカト云フ考ヘヲ有チマシタ、夫デ東京市ノ御説明ノ如クニ之デ終了ガシタイト云フ考ヘヲ有ツテ居リマス、尙ホ附加ヘテ申シテ置キマスガ、佐世保市ガ市外給水ヲ許サレタノハ其筋ニ於テ

モ非常ニ考究サレテ色々議論モアツタヤウデアリマスガ、要スルニ佐世保市ハ他ノ市トハ水道經營ノ上ニ於テ其性質ヲ異ニシテ居リマス、ト云フノハ水源ハ詰リ海軍鎮守府ノ所管ニ屬シテ居ル、市ハ其水ヲ市民ニ配賦シテ居ルノデアアル、是ハ軍港所在地ノ衛生上最モ必要デアアルノデスル恩典ニ浴シテ居ルノデアアル、然ルニ市ト殆ンド關係ヲ等クシテ居ル市外ノ或ル一部ニ對シテ折角ノ上水ヲ配給シナカツタナレバ軍港所在地ノ衛生上ニ多少缺グル嫌ヒガアル、故ニ是非此市外ノ一部ニ對シテ給水ヲシタイト云フ理由ヲ以テ漸ク其筋ノ許可ヲ經タノデアリマス、夫デ佐世保ガ市外給水ヲ許サレタデ他市モ佐世保ノ如クニ市外給水ヲ許サレルカノ如クニ誤解ガアツテハ不可ヌノデ能ク注意ヲシテ置クガ宜シイト云フ御注意ガアリマシタ、兎ニ角本問題ニ就テハ東京市カラ御報告ガアツタ通りニ之デ終了ガシタイト云フ希望ヲ有ツテ居リマス

○十七番(堺市) 一寸佐世保市ノ御方ニ御尋ネガ致シテ見タウ御座イマスガ、御市ノ方デハ市外給水ヲナサル場合ニハ全部計量ニ御依リニナツテ居リマスガ、夫カラ市外給水ヲナサル際ニ其市外ノ町ナリ或ハ村ナリト何か御交渉ノ上デ御座イマスガ、其取扱ヒ振リヲ參考ノ爲ニ伺ヒタウ御座イマス

○二十六番(佐世保市) 佐世保市ハ市ノ内外ヲ間ハズ全部計量給水デアリマス、夫カラ第二ノ御尋ネハ其市外ノ町村ト契約デモシテ居ルカト云フコトデアツタカト思ヒマスガ、夫ハ市外ノ町村カラ町村會ノ決議ヲ經テ市ニ給水ノコトヲ要求シテ參リマス、夫ニ依テ市ハ特ニ必要ヲ認メマシタ際ニハ町村會ノ要求ニ應ズルト云フコトニ致シマス、左様ニ御承知ヲ願ヒマス

○十七番(堺市) 只今ノ御説明ニ依レバ其町ナリ村ナリガ決議シテ其決議ノ結果ヲ要求シテ參ルト致シマスレバ、其町ナリ村ヲ以テ被給水者ト御認メニナツテ居リマスガ、其決議ヲ以テ個人ニ更ニ給水シテ行ケバ其使用料ハ無論其個人ニ宛テラウト思ヒマスガ、只今ノ御説明ニ依レバ町ナリ村ノ決議ニ依ツテト云フコトニナレバ個人ハ最早關係ハ無イト云フコトニナリハセンカト思ヒマス

○二十六番(佐世保市) 御答ヲ致シマス、詰リ町ナリ村ナリガ水道ノ増設ナルモノヲ要求シテ來タノデアアル、併シ町ナリ村トハ何等契約ハシテ居リマセヌ、唯ダ村ナリ町ナリハ市費ヲ以テ水管ヲ敷設シテ貰ヒタイ、然ウスレバ使用料ノ如キハ無論市ガ規定サレタモノニ依テ徴收サレテ宜シイト云フ斯ウ云フ要求ヲ致シテ參リマス、夫故ニ市ハ市費ヲ以テ水管ヲ敷設シ尙使用料ニ就テ市ガ設定シタ使用條例ヲ適用シテ徴收シテ居リマス

○議長(中山助役) 此問題ハ如何デアリマスガ、深く研究シテ當會デ極メルノモ宜クナイト云フ御意見モアリマスガ、是ハ終了ト認メテ御異議ハアリマセヌカ

(「異議無シ」ト呼ブ者アリ)

御異議ガ無ケレバ終了シタモノト認メマス

○議長(中山助役) 次ギハ第四ニ移リマス

(可報)四 水中ニ於ケル「ヱイヴリオ」ニ就テ (神戸市)

○二十二番(神戸市) 本問題ハ止ムナキ事情ノ爲メニ未ダ報告スルニ至リ兼テ居リマスカラ次回マデ延期スルコトニ御承知ヲ……………

○議長(中山助役) 第四ノ問題ハ御異議ガ無クバ次回ニ延期スルコトニ決シマス

○議長(中山助役) 次ハ第五ニ移リマス、夫カラモウ一ツハ第六デ御座リマスガ、此二問題ハ東京市ノ方ニ御委托ヲシテ東京市カラ御報告ニナルト云フコトニナツテ居リマスカラ、第五ト第六ノ問題ハ併合シテ御協議ヲ致シマス

(可報)五 各市給水用具ノ名稱ヲ一定スルコト (東京市)

(可報)六 各種水管及附属品形状寸法等ヲ各市一定スルノ可否 (大坂市)

(右二問題ニ對シ費用ノ支出各製造者ニ交渉願末報告)

○四番(東京市) 此問題ハ昨年來本會ノ決議ニ依リマシテ、東京市ハ各製造者ニ交渉致シマシタ、尙ホ此交渉中ニ工學會ヘ調査ヲシテ吳ルカ否ヤト云フコトニ就テ内容ヲ聽キマシタ、所ガ夫ハ調査費ヲ出セバシテモ差支ハ無ヒト云フコトガ工學會ノ役員會デ極ツタサウデアリマスカラ夫レナレバ費用ハ何レ位デ出來ルデアラウカト云フコトデ其豫算モ工學會ニ立テ貰ツタノデアリマス、夫デ前ニ交渉シタト云フ各製造者ト云ツタ所ガ直接私ノ方カラ製造者ニ交渉シタ譯デハ無イガ、夫ハ東京ノ堅鉄製作所ガ昨年本會ニ向ツテ早ク此問題ヲ解決シテ貰ヒタイト云フ書面ヲ出シタノデアル、ソコデ此堅鉄所ハ製造者ノ總代ノ意味デ書面ヲ持ツテ來タカラ堅鉄所ノ社長ニ専ラ交渉ヲ致シマシタ、所ガ社長ノ方カラ釜石若クハ大坂ノ各工場等ニ交渉致シマシタ、ソシテ其初メニハ一ヶ所貳百圓若クハ參百圓位負担シタナレバ宜カラウト云フヤウナ話デアツタノデアリマス、夫デ此コトヲ堅鉄製作所ニ話ヲ致シマシタ、所ガ夫レ位ノコトナレバ至ツテ易イコトデアルカラト云フヤウナ意嚮デアツタ、夫レカラ先刻申シタヤウニ工學會ノ方ヘ頼ミマシテ費用ノ調査ヲ致シテ貰ヒマシ

タ、所ガ工學會ノ方ハ中々私ガ豫期シテ居リマシタ所ノ費用デハ無イノデアリマス、此五號ノ方ノ給水用具ノ名稱ヲ一定スルト云フ方ニ就テハ七百圓ヲ要スル、夫カラ第六ノ方ノ各種水管及附属品形状寸法等ヲ一定スルト云フニ就テノ調査費ハ四千參百圓ヲ要スル、然ウスレバ双方デ五千圓ト云フ調査費ヲ要スルノデアル、夫カラ工學會デ役員會ヲ開イテ貰フテ尙ホ同業者ノ方ヘ斯ウ云フコトデアルカト云フノデ交渉ヲ致シマシタ、所ガ同業者ハ初メ云ツタ負担額ト非常ニ相違ガアルノデ更ニ一般ノ同業者ト協議ヲセネバ御答ヲスルコトガ出來スト云フコトデアリマシタ、夫カラ段々協議ヲ重ネマシタヤウデアリマスガ、何ウモ全部ノ負担ト云フコトハ困難デアルカラ何ントカ宜シイ御方案ヲ御立テ下サレバ夫ニ依ツテ相當ナ寄附ハシマセウト云フコトヲ申出マシタ、然ウ云フ曖昧ナ返事デハ困ルト云フコトデ段々話ヲ致シマシタガ、其結果廿六日ノ午前十一時ニナリマシテ判然キリシタ回答ヲ致シマシタ、夫ハ逆モ此五千圓ト云フモノヲ負担スルコトハ同業者間デ議ガ纏ラス、ソコデ各所ノ鉄管其他ノ附属品ト云フモノハ各製造者ガ是迄請合フテ夫々製造シテ居リマスカラ、其圖面等ハ皆製造者ノ手許ニアルカラシテ製造者ガ夫ヲ持集ツテ研究致シマシテ、尙ホ其研究ヲ致シマスル爲ニハ此鉄管ノコトニ就テノ精シキ方々ニ、其人ハ申シマセヌガ、御指導ヲ得マシテ、然ウシテ此次ギノ協議會マデニ同業者ノ方デ之ヲ極メマシテ此會ノ御決定ヲ願フヤウニ致シタイト云フ斯ウ云フコトヲ申出マシタ、然ウスレバ昨年此會ガ極メマシタ事柄ト全然變ルノデ御座イマスカラ、是マデノ經過ヲ申上ゲルト同時ニ本問題ヲ如何様ニ解決スルカト云フコトヲ御協議ヲ願ヒタイト思ヒマス

○二十三番(長崎市) 本問題ノ善後策ニ就テハ今一回前ノ委員ニ委托ガ致シタイトデアリマス

〔異議無し〕ト呼ブ者アリ

○議長(中山助役) 御異議が無シバ第五第六ト共ニ初メノ委員ニ御委托ヲシテ置クト云フコトニ決定シテ置キマス

○議長(中山助役) 次ハ前會ニ於テ委員附托ノ分ノ第一ニ移リマス

(前委)一 水源ノ選定ハ各地狀況異ナルヲ以テ之ガ選定標準及試験方法ハ勿論一定シ難カルヘシト雖モ一度水源ヲ選定シタル上ハ容易ニ變更シ得ヘキモノニアラズ永久の衛生上工業上ニ至大ナル關係ヲ及ホスモノナルガ故ニ最モ嚴密ナル試験ヲ施行スルノ必要アルモノト信ス就テハ其試験方法ノ概要ヲ協議シ置キ他日水源擴張又ハ新ニ水源ヲ選定スル場合ノ參考ニ資スルノ必要ナキヤ (岡山市)

○二番(東京市) 本問題ハ五名ノ委員ガ出來テ居リマシタガ、委員ガモウ少シク打合セヲ要スル所ガアリマスカラ、願クハ明日マデ御延期ヲ願ツテ置キマス

○議長(中山助役) 委員カラ然ウ云フ御請求デアレバ明日マデ延スコトニ致シマス

○議長(中山助役) 次ハ第二ニ移リマス、之ハ報告ノ三十三ニモ出テ居ルヤウデアリマスカラ、報告ノ三十三ヲ承ツテ夫カラ御協議ニ移リマス

(前委)二 大腸菌屬ノ存否ヲ檢スルノ條項ヲ細菌學の検査法中ニ加フルノ必要ナキヤ (下關市)

(報)三十三 大腸菌ノ存否ヲ檢スルノ條項ヲ細菌學の検査法中ニ加フルノ必要ニ就テ(台灣總督府)

○五十九番(台灣總督府) 台灣總督府デハ大腸菌ハ水ノ良否即チ水ノ濁リト云フコトニ關係ガアルカ何ウカト云フ斯ウ云フコトヲ調ベル目的デ昨年カラ一週間置キ或ハ十日置キニ検査シ又暴風雨等ガアツタ後ハ引續キ連日検査ヲ致シマシタ、斯クノ如クニ致シテ試験回数ハ二十一回ニ及ビ然ウシテ細菌ノ種類モ二百二十八種ニ及ンデ居リマスガ、是ハ皆大腸菌ニ疑ハシイノデアアル、然ウ云フ工合ニシテ検査シテ行ケバ源水ノ内ニ大腸菌ガアツタモノハ濾過スレバ無クナル、夫デ大腸菌ハ非常ニ濾過水ガ濁ツテ居ル内カラハ現レル、然ウ云フ成績ガアルノデ大腸菌ハ悪水ニ關係ガアルト云フコトヲ斷言シテ宜シイカ何ウカト云フコトハ未ダ決定スル譯ニハ行カヌケレモ兎ニ角水ノ汚レテ居ルト云フコトニ關係ガアルト云フコトハ信ズルニ足ルノデアリマス、尙ホ其大腸菌ヲ下等動物ノ糞便カラ出タモノト人間ノ糞便カラ出タモノトヲ正シク鑑別スルノハ必要ナコトデアリマスガ之ハ今マデ多クノ學者モ行ツテ居リ私ノ方デモ行ツテ居リマスガ、矢張り正シキ分別ハ出來ナイノデアリマス、故ニ大腸菌ガ這入ツテ居ツタ場合ニ人間ノ糞便カラ來タカ或ハ動物ノ糞便カラ來タカト云フコトハ分ラヌ、夫ヲ色々免疫上ノ反應ニ依テ調ベテモ矢張り分別スルコトハ出來ナイト云フコトニナツテ居ル、尙ホ大腸菌ヲ水ノ内カラ成ルベク早く見出ダスト云フコトニ就テ調ベタ所ガ之モ餘リ便宜ノ方法ガ得ラレナイノデアアル、殊ニ症狀反應ニ依テ一人ノ人ニ就テ調ベテモ其菌ノ免疫上ノ性質ガ著シク違フノガアリ又甲ト乙ノ人ノ大腸菌ニ就テ調ベテモ著シキ異ヒガアルノデアリマスカラ、何ウモ免疫反應ト云フコトヲ用井テ速ニ明確ニ大腸菌ヲ決定スルコトハ困難デアアル、乍併從來用井テ居ツタ培養法ニ依テ行レバ手數ハ掛ルケレモ矢張り夫ニ依ツテ行ルヨリ仕様ガ無イ、兎ニ角然ウ云フ次第デ大腸菌ハ水ノ汚清如何ニ因テ出現

スルト云フコトニ關係ノアルト云フコト丈ケヲ申シテ置キマス、尙ホ是ハ引續イテ研究ヲ要スル問題デアルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス。

○五番(東京市) 是ニハ報告ノ第二モ同ジク關連シテ居ル問題デアリマスカラ、報告ノ第二ヲ……………

○議長(中山助役) 然ウスレバ報告ノ第二ヲ併セテ御協議致シマス、此場合ニ御報告ヲ……………

(報)二 水中大腸菌ノ証明方法ニ就テ二三ノ比較試験 (東京市)

○五番(東京市) 東京市ニ於キマシテモ大腸菌ノ檢索ニ就テ一昨年東京市ニ「チフス」ガ流行シタ際ニ上水井ニ堀井水ニ就テ試験ヲ行ヒマシタ、其時只今台灣カラ御報告ノアツタ通りニ大腸菌ノ檢査ハ比較的容易ク然ウシテ確實ニ檢査スルト云フ方法ハ未ダ定ツテ居ラヌヤウデアリマスカラシテ、何ノ方法ガ宜シイカト云フコトニ就テ先ツ第一ニ試験ヲシテ見マシタ、是マデ報告ニナツテ居ルモノニ依レバ色々アリマス、即チ菌ヲ殖シテ見ル方法或ハ直接ニ水ニ沈澱シテ見ル方法、夫カラ直接ニ澤山ノ水ヲ取ツテ蒸發サセテ夫ヲ培養シテ檢査スルノデ大別ヲスレバ斯様ナ方法ニナツテ居リマス、ソコデ此内何レガ宜シイカト云ヘバ増菌法ガ一番良ク感ジマシタ、然レバ菌ヲ殖シテ檢査スルノハ何ナ方法ヲ執ツテ居ルカ、今マデ報告ニナツテ居ルモノハ「石炭酸」ノイトラールロートマラヒツトグリユーン」ノ如キ水棲細菌ノ發育ヲ防害スル藥品ヲ入レテ大腸菌ノミヲ發育セシメテ培養スル方法或ハ四十七度ノ高温ヲ以テ細菌ノ發育ヲ防止シテ大腸菌ノミヲ發育セシムル方法等デアリマス、其内何レヲ採ルカト云フコトニ就テ比較試験ヲシテ見マシタ、即チ「アイルマン」氏或ハ「ヒルゲンマン」氏等ノ高温デ増殖スル方法ハ三十七度デ石炭酸ノ〇〇三%位ノ割合ニ加ヘテ檢査スル方

法ト比較シテ見マシタ結果非常ニ其成績ガ劣ツテ居ルコトヲ發見致シマシタ、ソコデ私共ハ石炭酸ノ〇〇六%ヲ含有シテ居ル所ノ「プリオン」ヲ以テ行ツテ五百立仙迷ヲ其培養液ニ加ヘ三十七度デ二十四時間培養シ明礬デ以テ沈澱サセテ其沈澱物カラ遠藤氏ノ培養基ニ分離シテ夫レニ發生スル菌ヲ澤山ニ純粹培養ヲ行フタ其數ガ二百何種類アリマシタ、ソコデ其モノニ就テ大腸菌ノ性質ヲ調査シテ即チ「ゲラチン」培養ヲ溶解セズ牛乳ヲ凝固セズシテ糖加寒天ニ發生スル、斯様ニシテ大腸菌ニ一致スル所ノ菌ノ二十何種類ガ分離シタノデアール、夫デ大腸菌ノ免疫血清デ以テ凝集反應ヲ試ミタ所ガ其内二種ト云フモノハ其凝集反應ヲ現ハス所ノ菌ヲ發見シテ更ニ淨水ノ内カラ一種夫カラ堀井水ノ内カラ一種發見致シマシタ、其大腸菌ニ就テ免疫ヲ作ツテ凝集反應ヲ試ミタ所ガ六種大腸菌ノ性質ヲ備ヘテ居ル菌カラ同ジャウニ凝集反應ヲ呈スル所ノ菌ヲ分離シタノデアリマス、私ハ其大腸菌ヲ檢査スルニ方ツテハ先ツ石炭酸ノ這入ツテ居ル「ブリンリヤン」デ培養シテ其培養シタモノカラ明礬デ沈澱サセテ其沈澱カラ遠藤氏ナリ「ドルガルスキ」氏ノ培養基ニ培養シテ其培養カラ其菌ヲ取ツテ更ニ色々ノ其大腸菌ノ種類ヲ免疫シタ血清デ凝集反應ヲ試験シテ判定スル方法ハ最モ適當ナ方法ト思ヒマス、然ウシテ尙ホ一言シテ置クノハ之ハ淨水デハアリマセヌガ、堀井水デ一種大腸菌ヲ分離シタノデアリマス、夫ハ或ル工場ニ非常ニ腸窒扶斯病ガ發生シタ、一度ニ九名發生シタ、ソコデ其堀井戸ノ水ヲ取ツテ大腸菌及窒扶斯菌ノ試験ヲ此方法デ行ツタ所ガ大腸菌ハ證明シタケレ共腸窒扶斯菌ハ証明スルコトハ出來ナイ、然ウシテ其堀井戸ハ四十三年ノ大洪水ノ場合デアリマシタデ、其時ノ浸水後三日許リデ堀井戸ヲ掃除シ直チニ使用シ其使用後九日目ニ腸窒扶斯ガ發生シタノデアール、然ラバ其傳染ハ或ハ堀井戸ノ水デハナイ

カト考ヘマスカラ、大腸菌ノ検査ト云フコトハ只今台湾カラノ御報告ノ通りニ傳染病ノ病原的混入ニアルカ
何ウカ疑ハシキコトヲ検査スルノハ最モ肝要ナコトデアラウカト思ヒマス

○四十五番(下關市) 此問題ハ私ノ方カラ提出ヲシ尙ホ其後ノ調査ノ委員ニモ加ハリマシテ御座イマスガ、
然ルニ私ノ方デハ本年餘儀ナキ事狀ノ爲ニ此調査ヲ中止スルノ止ムヲ得ナイ場合デ御座イマシタ、他ノ台湾
ナリ横濱ナリノ委員ノ御方ト未ダ御打合セヲスルコトモ出来マセヌデシタガ、只今台湾ヨリモ御話ガ御座リ
マシテ、尙ホ繼續ヲ御希望ニナリマシタガ、下關ニ於テモ尙ホ研究ヲ致シタヒト云フ考ヘテ有ツテ居ルノデ
スカラ、台湾ノ御意見ノ如クニ繼續セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(中山助役) 第二ハ尙ホ引續イテ研究シヤウト云フ御意見ガアリマシタガ、然ウ致シマスレバ、是迄
ノ通りニ下關、台湾、横濱ノ三委員ノ所デ御研究ニナリマスガ、是モ御異議ガ無ケレバ繼續シテ調査ヲ御委
托スルト云フコトニ致シテ置キマス、是デ委員附托ノ分ハ荒方濟ミマシタ

○議長(中山助役) 是カラ新問題ノ第一ニ移リマス

(新)一 加盟各所ハ每年上水協議會ニ於テ水道使用條例ヲ交換スルコト (東京市)

○四番(東京市) 各市ノ水道使用條例ハ然ウ改正セラル、コトハアリマスマイケレ共、時ニ依レバ一ケ條位
改正セラレルコトモアルヤウニ思ハレマスカラ、成ルベクナレバ其箇條ヲ議事録ニ載セレバ大變ニ都合ガ宜
シイト思ヒマスガ議事録モ浩瀚ナモノニナリマスカラ其希望ハ廢シマシテ、夫デ年々此會ニ加盟ニナツテ居
ル人ガ集リマスカラ、茲ニ於テ其條例ヲ一部宛交換シタナレバ便宜デアラウト思ヒマス、夫デ私ノ方デハ此

加盟致シテ居ル所カラ條例ヲ送ツテ貰ヒタイト云フコトモ随分アリマスガ、是ハ御承知ノ通りニ其協議ガ經
ツテ居ラスカラデアラウト思ヒマス、此會デ年々一回宛交換シタナレバ然ウ云フ手數モ掛ラズ又何カラ調査
スルニ參考上至極便利デアラウト思ヒマスカラ、諸君ノ御賛成ヲ得ラレマスナレバ、此問題ハ決定スルト同
時ニ協定事項ノ内ニ加ヘラレテ年々交換ヲ致シタイト云フ考ヘデ御座イマス

○五十一番(門司市) 一寸御尋ネテ致シマスガ、是ニハ水道使用條例トアリマスガ、給水規則ニ懸ツテ居ル
モノモアリ又細則モアリマスガ、然ウ云フモノヲ包含致シマスガ

○四番(東京市) 夫ハ總テ包含シテ居ル積リデアリマス

○五十一番(門司市) 之ハ然ウ始終變リモ無シ又毎年變ラヌモノヲ集メテ見ルノモ随分御大層ラシイコトデ
ハ無イカト思ヒマスカラ、各市ノ分ヲ一部宛集メテ夫カラ改正ニナツタ場合ニハ其市カラ通知スルコトニナ
ツテハ如何デアリマスガ

○十二番(大坂市) 五十一番ト同意見デアリマス

○四番(東京市) 只今ノヤウナ御話ガ出マスルケレ共、私ノ考ヘハ此協定事項ノ内ニ加ヘテ置キマシテ、實
ハ改正ヲセヌデモ加盟サレタ二十何個所ニ交換スレバ宜シイノデアリマスカラ、必ズ年々交換スルト云フコ
トニ極メテ置キタイト云フ希望デアリマス

○二十二番(神戸市) 之ヲ協定事項ニスルニナレバ必ラズ毎年協議會ノ都度持ツテ出ルコトニ致シタイ

○議長(中山助役) 第一ハ手續上御議論ガアルヤウデアリマスルデ、モウ少シク御協議ヲ致シタイト思ヒマ

スカラ、明日マデ延期致シマス

○議長(中山助役) 第二ニ移リマス

(新)二 水道用唧筒使用ニ關シ左記事項承リタシ (東京市)

- 一、唧筒機ノ台數
- 二、唧筒機ノ種類 (プランジャー又ハセン)
トリフイーガルノ類)
- 三、唧筒機ノ實馬力
- 四、動力ノ種類
- 五、送水量實際一年間ノ平均一日量及汲上高サ
- 六、一ケ年度ノ經費
- 七、従事員ノ數(吏員及職工等各別ノ數)

○三番(東京市) 此問題ヲ提出シタ理由ハ大分水道用ノ唧筒ガアルヤウデアリマスガ、所ニ依テ其唧筒ノ形狀等ガ大分異フヤウニ思ヒマスルノト、夫カラモウ一ツハ水道ノ新設或ハ擴張計畫ノ場合ニ方リマシテ、遠方カラ自然流下デ水ヲ持ツテ來ル計畫ト唧筒デ水ヲ持ツテ來ル計畫ト比較研究スレバ自然流下デ水ヲ持ツテ來ル方ハ最初ノ工費ハ大變ニ高クツテ唧筒ノ方デ給水スレバ最初ノ工費ハ安ク出來マスガ、然ルニ年々ノ經常費ガ餘計ニ要ルト云フ結果ニナル、是ハ結局何レガ利益デアルカト云フコトヲ必要ガアツテ其參考ニ供シタイト思ツタニ外ナラン譯デアリマスガ、要スルニ本問題ニ就テハ大分ニ數字ニ關係スルコトガ多イノデア

リマスカラ是ハ何ウゾ各市カラ書面デ御出シニナツテ主催地ノ方デ夫ヲ御纏メニナツテ議事録ニ記載シテ戴キタイト考ヘマス、夫カラ尙ホ唧筒ヲ二途ニ御使ヒニナツテ居ル、詰リ源水ヲ汲ムノト濾過水ヲ汲ムノト二段ニ御使ヒニナツテ居ル所ハ第一カラ第五マデノ項目ハ一列ニ報告ヲ願ヒタイ、又同時ニ石炭ノ使用料ノ如キモ御報告ヲ願ヒタウ御座リマス

○議長(中山助役) 然ウスレバ此問題ニ就テハ成ルベク書面ヲ以テ議事録ノ方デ知ラセテ貫ヒタイト云フノデアリマスカラ、御面倒ナガラ各市トモ書面ヲ御送リヲ願ヒタウ御座リマス、然ウスレバ此方デ取纏メテ印刷ニ附シマス、夫デ第二ハ終了トシテ置キマス

(各所中ヨリ提出アリタル答案ヲ便覽ノ爲メ左ニ掲載ス)

○東京市水道

- 一、唧筒機ノ台數 六
- 二、唧筒機ノ種類 プランジャー(オーシントン式)
- 三、唧筒機ノ實馬力 一台各三百〇六馬力
- 四、動力ノ種類 蒸 氣
- 五、送水量實際一年間ノ平均一日量及汲上高サ

百七十一万〇四百七十三立方尺(四十四年中)
水壓平均三十ポンド(直送式)

六、一ヶ年度ノ經費

七方七千五百五拾參圓

技師 一名 職工 四十二名

機關手 六名 定人夫 十名

雇 一名 臨時人夫 一ヶ年千五百人

機關掛吏員現在數 元年十月十日

職名	等級	人員	俸給高	年	額	摘	要
技師	九級上俸	1	6000	1	4000		
機關手	六級俸	1	7200	1	7200		
同	八級俸	2	2000	1	2000		
同	九級俸	1	5400	1	5400		
同	十級俸	2	9600	1	9600		
雇員		8	2372	1	2372		
計			6500		50572		

機關掛職工現在員調 元年十月十日現在

等級	日給額	人員	金額	等級	日給額	人員	金額
外	1050	1	1050	十二等	600	8	4800

等級	日給額	人員	金額	等級	日給額	人員	金額
一	1000	1	1000	十三等	580	5	2900
二	950	3	2850	十四等	550	5	2750
三	850	2	1700	十五等	520	1	520
四	800	4	3200	十六等	500	1	500
五	750	2	1500	十八等	450	3	1350
六	700	5	3500	外時間外	400	5	2000
七	650	2	1300	計	400	8	3200
八	600	9	5400	計	400	8	3200
九	550	2	1100	計	400	8	3200
十	500	5	2500	計	400	8	3200
十一	450	1	450	計	400	8	3200
計				計			

定人夫 日給 四三〇〇 三人 一日 四、〇九〇 一ヶ年 一、四九二、八五〇
 臨時人夫 同 五〇〇 七人 同 七五〇、〇〇〇
 計 二、二四二、八五〇

明治四十四年度汽罐費決算調書

費目	豫算高	決算高	差引	殘高
第一目 唧筒運轉并電燈費	五五、五七〇	五五、三七二	〇	一九七、九五〇
(一) 人夫	二、七〇八	二、八七六	一五八	一六八、五一〇
(二) 器械	六、六〇七	五、八六六	七四一	七四〇、三四〇

(三) 石	四一、五八〇〇〇〇	四一、五七八九二〇	一〇八〇
(四) 消 耗	三、八七七〇〇〇	四、二九〇〇八〇	四一三〇八〇
(五) 雜 費	七九八〇〇〇	七五九八八〇	三八一二〇
炭 品 費		不足	

八八

備考

一、人夫使用高 六千四百七十八分貳厘 平均一人給額 四拾六錢七厘余
 一、石炭購入高 千貳百六拾七方六千五百斤 平均壹方斤二付 參拾貳圓八拾錢
 一、內 部 油 二十五石 單價 五七、二〇〇
 一、外 部 油 三十三石 同 價 二八、〇〇〇 合計 二、四九四、〇〇〇

明治四十四年自一月至十二月唧筒運轉臺數

月次	區分	壹	貳	參	肆	伍	陸	計
一	月			三				三
二	月			二				二
三	月			三				三
四	月			一				一
五	月			二				二
六	月			一				一
七	月					七		七
八	月					二		二
計	月							三六五

月次	區分	壹	貳	參	肆	伍	陸	計
一	月			一				一
二	月			五				五
三	月			一				一
四	月					二		二
五	月					二		二
六	月					六		六
七	月					四		四
八	月					五		五
九	月							
十	月							
十一	月							
十二	月							
計	月							三六五

明治四十四年自一月至十二月唧筒給水量

月次	區分	最大給水量	最小給水量	總計給水量	平均給水量
一	月	一、四八四、七〇〇	一、〇九七、五二〇	三九、四八二、〇〇〇	一、二七三、六三三
二	月	一、四三九、八八〇	一、二八一、一三〇	三七、七三二、二五〇	一、三四九、〇〇九
三	月	一、六五九、二七〇	一、二四一、五七〇	四五、〇四八、五〇〇	一、四五五、一七八
四	月	一、八〇二、三四〇	一、三四五、二三〇	四八、四九〇、〇五〇	一、六一六、三三九
五	月	二、〇〇四、六九〇	一、四七二、七六〇	五五、五二四、〇五〇	一、七五八、五八
六	月	二、一九八、八八〇	一、六三三、七六〇	五五、七六七、六六〇	一、八五八、九三三
七	月	二、七二〇、八九〇	一、三一九、四九〇	六五、〇八三、六一〇	二、〇九九、四八四
八	月	二、六三三、八〇〇	一、七五一、二八〇	六七、三六一、九四〇	二、一七三、九九八
九	月	二、四〇〇、六六〇	一、六〇七、六七〇	六〇、四七七、二八〇	二、〇二四、二四三
十	月	二、〇二〇、八六〇	一、五九〇、四三〇	五五、四八八、一五〇	一、七五七、六八二
十一	月	一、七八二、五二〇	一、四六五、九五〇	四八、二〇六、五五〇	一、六〇六、六八五
計	月				

八九

十二月計	一、八二〇、五三〇	一、二八二、八四〇	四六、六七九、六七〇	一、五〇五、七九六
合計			六四、三三三、七三〇	二〇、四六六、六六三

明治四十四年自十一月至十二月 唧筒運轉用消耗品消費高

一日平均 一、七二〇、四七三
此ノ十二月除算
一ヶ月分 一、七〇五、五五五、二五

品名	單位	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	計
石炭	斤	八〇、四二〇	七五、九〇〇	九〇、七六〇	一、〇一七、〇四〇	一、二二、九六〇	一、一四四、六六〇	一、二五二、二〇〇	一、二五五、七八〇	一、一四六、六八〇	一、一四、四八〇	九八、五〇〇	九八、五〇〇	二、六三〇、九二〇
粉炭	匁	一五、〇〇〇	一三、四〇〇	一五、〇〇〇	一八〇、〇〇〇	九〇、〇〇〇	九〇、〇〇〇	一三五、〇〇〇	九〇、〇〇〇	八八、八〇〇	九、六〇〇	九〇、五〇〇	九〇、〇〇〇	一、三三九、三〇〇
コークス	匁	一三、三〇〇	五、四〇〇	五、〇〇〇	七〇、四五〇	二七、二〇〇	二〇、六〇〇	三五、〇〇〇	二〇、〇〇〇	五五、二〇〇	三一、八〇〇	六三、一〇〇	一三、五〇〇	四八五、〇五〇
木炭	匁	一九、一〇〇	三三、七〇〇	一六、二〇〇	三、八〇〇	二、七〇〇	八、八〇〇	一七、八〇〇	二四、四〇〇	二四、四〇〇	三五、〇五〇	三九、六〇〇	四〇、四〇〇	三〇八、九五〇
松炭	匁	二、六〇〇	二、二〇〇	一九、七〇〇	二、八〇〇	二〇、二〇〇	三、七〇〇	二〇、二〇〇	九、二〇〇	一四、九〇〇	一八、六〇〇	一一、九〇〇	一一、〇〇〇	二一三、〇〇〇
内油	合	一、七三〇	一、八四〇	一、八八〇	二、一〇六	二、三〇四	二、八三九	三、二二八	二、六九三	二、一七一	一、六九六	一、四三三	一、三三六	二五、五二六
外油	合	二、七七八	二、三三〇	三、〇七二	三、三九九	三、三六二	四、二一九	四、七二〇	五、一〇八	三、六〇二	三、〇七七	二、七四五	二、八四七	四一、一九九
糸屑	匁	一〇、三七八	一六、二〇〇	二、九五〇	一、九五〇	〇、七〇〇	〇、六〇〇	〇、四〇〇	〇、三〇〇	〇、九五〇	〇、三〇三	二、三五〇	二、〇八四	三九、一五〇
襪	匁	一〇、三三〇	一六、二七〇	二、九三〇	一、九三〇	〇、七三〇	〇、六三〇	〇、四三〇	〇、三三〇	〇、九三〇	〇、三〇三	二、三五〇	二、〇八四	三九、一五〇
蠟燭	本	六四〇	八八〇	八二〇	一、〇六〇	七二〇	一、一〇〇	四二〇	一、五〇〇	四二〇	一、二〇〇	六〇〇	七六〇	一〇、〇四〇
ケース油	合	一八	一八	一八	二四	三三	三八	〇六	〇六	二四	一八	一六	二二	〇、一九六
石油	合	二二〇	三三〇	一九〇	三四五	二九〇	三二〇	二八〇	二二〇	二五〇	一九〇	一四〇	四六〇	三、二八五

○名古屋市水道

唧筒機 械

- 一、種類 タルビン唧筒
- 一、臺數 五臺(二百馬力 三臺)
- 一、實馬力 八百馬力
- 一、動力 電氣(水力)
- 一、揚程 最大一日量壹人四立方尺給水人口四十六萬人分ニ對スル豫定吸上高最大百十八尺五寸

○廣島市水道

- 一、唧筒機ノ台數 取水唧筒 三台 送水唧筒 三台
- 二、唧筒機ノ種類 配水唧筒ハ「セントリフイーガル」 送水唧筒「ブラランジャー」
- 三、唧筒機ノ實馬力 取水唧筒 各一台ニ付 二十九馬力

送水唧筒 同 百三十八馬力

四、動力ノ種類

蒸 氣

五、送水量實際一年間ノ平均一日量及汲上高サ

送水唧筒 平均一日量 七万五千石 汲上高サ 百六十尺

取水唧筒 同 七万六千五百石 同 二十七尺

六、一ケ年度ノ經費

一金貳萬五千七百六拾六圓拾九錢八厘

内 譯

金五千八百七拾六圓九拾五錢

給 料 (技師、書記、技手及機
關手、職工、工夫等)

金貳百五拾四圓四拾八錢

需用費 (備品、消耗品、雜費、
常時修繕費等)

金壹萬九千六百參拾四圓七拾六錢八厘

作業費

金貳千六百貳拾參圓貳拾六厘八厘

汽機汽罐電燈諸費

内 金壹萬六千百參拾參圓

石炭費

金八百七拾八圓五拾錢

機械油費

七、従事員ノ數 二十人

内

技師補 一人

書記 一人

機關手及技手 三人

職工 十二人

工夫 三人

以上列記中ニハ各部共通者モ含ム

○關東都督府

一、唧筒機ノ台數 取入唧筒 貳台 送水唧筒 貳台

二、唧筒機ノ種類 取入唧筒「セントリフユーガル」ポンプ

送水唧筒「スリースロー、ブランジャー」ポンプ

三、唧筒機ノ實馬力 取入唧筒磨擦水頭ヲ合シ四十五呎ノ高サニ一分間千八百「ガロン」ノ水ヲ揚水スルノ能力ヲ有ス

送水唧筒磨擦水頭ヲ合シ貳百五十呎ノ高サニ一分間千五百「ガロン」ノ水ヲ揚水スルノ能力ヲ有ス

四、動力ノ種類

蒸 氣

五、送水量實際一年間ノ平均一日量及汲上高 一年度間平均一日汲上量四千〇八十七立方米突
(四十四年度調)

六、一ケ年度ノ經費 約壹萬四千圓(技手俸給ヲ除ク) (四十四年度調)

七、從事員ノ數(吏員及職工等各別數) 技手 一名

機關手 一名

注油夫 日本人 五人

火夫 日本人 一人
支那人 四人

○朝鮮總督府

項	京 城 水 道	仁 川 水 道	內 譯				內 譯			
			名稱	員數	單價	合 價	備考	名稱	員數	單價
唧筒機ノ台數	四 台	四 台	石炭 四、八五四屯	八、〇〇〇	三八、八三六、〇〇〇	一 兼夜 一三屯三 月一八〇日	石炭 一、四六〇屯	八、〇〇〇	一一、六八〇、〇〇〇	
唧筒機ノ種類	ブランドリファイナル 唧筒 二台	ブランドリファイナル 唧筒 二台	油布及 雜品	三、三三三	二、一六〇、〇〇〇		油布及 雜品	二、三三三	六〇〇、〇〇〇	
唧筒機ノ實馬力	セントリファイナル 各百馬力	セントリファイナル 各百馬力	運轉手 延	二、五〇〇	九一、二、五〇〇	一人	運轉手 延	一、五〇〇	五四七、五〇〇	
動力ノ種類	蒸氣力	蒸氣力	技手 延	三、三三三	一、二〇〇、〇〇〇	一人	技手 延	三、三三三	八四〇、〇〇〇	
送水量實際一ケ年間ノ 平均一日量及汲上高サ	一日平均三十六万三千四百九十立方尺 汲上高二百五十尺	能力三十六万四千立方尺 汲上高二百七十八尺 實際一日平均八万九千八百立方尺	火夫	一、八二五	一、〇九五、〇〇〇	五人	火夫	一、〇九五	一、〇九五、〇〇〇	
	四萬八千五百九拾圓七拾五錢	壹萬六千貳百拾貳圓五拾錢	人夫	四、八五四	五〇〇	其他 雜費	人夫	一、四六〇	九〇、〇〇〇	
			合計	四八、五九〇、七五〇			合計	一六、二二二、五〇〇		

項	平 壤 水 道	內 譯				內 譯			
		名稱	員數	單價	合 價	備考	名稱	員數	單價
唧筒機臺數	四 臺	石炭 四、八五四屯	八、〇〇〇	三八、八三六、〇〇〇	一 兼夜 一三屯三 月一八〇日	石炭 一、四六〇屯	八、〇〇〇	一一、六八〇、〇〇〇	
唧筒機種類	ブランドリファイナル 唧筒 二台	油布及 雜品	三、三三三	二、一六〇、〇〇〇		油布及 雜品	二、三三三	六〇〇、〇〇〇	
唧筒機實馬力	セントリファイナル 各台	運轉手 延	二、五〇〇	九一、二、五〇〇	一人	運轉手 延	一、五〇〇	五四七、五〇〇	
動力種類	蒸氣力	技手 延	三、三三三	一、二〇〇、〇〇〇	一人	技手 延	三、三三三	八四〇、〇〇〇	
		火夫	一、八二五	一、〇九五、〇〇〇	五人	火夫	一、〇九五	一、〇九五、〇〇〇	
		人夫	四、八五四	五〇〇	其他 雜費	人夫	一、四六〇	九〇、〇〇〇	
		合計	四八、五九〇、七五〇			合計	一六、二二二、五〇〇		

從事員數

技手一人、油差三人、仕上鉄工一人、
石炭人夫二人、運轉手一人、火夫五人

技手一人、運轉手一人、
油差二人、火夫三人

送水量實際一年間
ノ一日量汲上高
一年間經費

一日平均六萬六千六百六十六立方呎
汲上高百八十八呎四
壹萬六千〇拾九圓也

内譯

名稱	員數	單價	合計	金額	摘要
石炭	一、二六〇	八五〇〇	一〇、七二〇	〇〇〇	
油布及雜品費			八八五	〇〇〇	
技手	延 三六五人	二七九四	一、〇二〇	〇〇〇	一人
運轉手	三六五人	一六〇〇	五八四	〇〇〇	一人
油差	七三〇人	一〇〇〇	七三〇	〇〇〇	二人
火夫	一、四六〇人	一〇〇〇	一、四六〇	〇〇〇	四人
人夫	一、二六〇人	五〇〇	六三〇	〇〇〇	石炭運搬 噸ニ付一人
合計			一六、〇一九	〇〇〇	

従事員數 吏員一名、運轉手一名、油差二人、火夫四人、計八名

○岡山市

一 唧筒機台數

取水唧筒 三台 送水唧筒 二台

二 唧筒機ノ種類

取水唧筒ハ「セントロフイーガル」式

送水唧筒ハ「ブランジャー、ウォルシントン」式

三 唧筒機ノ實馬力

取水唧筒 一台ニ付二十五馬力

送水唧筒 全 八十馬力

四 動力ノ種類

蒸氣力

五 送水量實際一ケ年ノ平均一日量及汲上高サ

送水唧筒平均一日量三万七千〇七十四石

汲上高サ 百五十七呎

六 一ケ年度ノ經費

一金壹萬七千拾圓拾八錢(四十四年度調)

内譯

金四千四百五拾七圓參拾錢

金壹萬貳千五百五拾貳圓八拾八錢

内

給料(技師、機關手、油差、火夫、
鐵工、其他職工、人夫)
作業費

金八千參百四拾圓
金四百九拾八圓貳拾錢
金參千七百拾四圓六拾八錢

石炭費
機械油類
作業用諸材料

七 従事員ノ數

内

技師	一人
機關手	二人
油差	三人
火夫	三人
鉄工	二人

○議長(中山助役) 次ハ第三、是モ東京市ノ御提案デアリマス

(新)三 量水器ハ使用者ノ請求有無ニ不拘注油スル向アリヤ若シアリトセバ其方法如何(東京市)

○四番(東京市) 此量水器ノ注油デ御座イマスガ、是ハ私ノ方デハ現ニ請求ガアレバ全部賣渡シノ量水器ナリ或ハ貸附ケテアル量水器ナリニ注油ラスルコトニナツテ居リマスガ、他ニモ然ウ云フ例ガ御座リマスレバ其方法等ヲ承リタイト云フ積リテ本問題ヲ提出致シマシタ、曾テ神戸デハ御行リニナツテ居ルヤウニ伺ツテ居リマス、要スルニ全部計量給水ニナツテ居ル大坂或ハ佐世保等ニ於テ斯ウ云フコトガアリマシタナレバ、

其方法ヲ茲デ承ツテ置キタイト云フ考ヘニ過ギナイデアリマス

○二十一番(神戸市) 量水器ノ注油ト云フノハ東京市ハ確ニ据附ケテアル現場ニ於テ油ヲ差シテ廻ルト云フ話ヲ一寸聽イタヤウニ思ヒマスガ、其コトデアリマスガ、夫カラ別ニ量水器ヲ引上ゲテ持ツテ來テ掃除ラスルト云フ意味デアリマスガ、少シク其邊ガ分リマセヌガ、神戸デハ現場ニ於テ油ヲ差スト云フコトハアリマセヌ、然ウ云フコトハ行ツタコトハ無イケレ共掃除ラスルト云フ必要ハアルヤウニ考ヘマス、夫カラ被給水者ガ水ヲ使ハヌ時分ニハ量水器ヲ取ツテ來テ然ウシテ量水器ヲ掃除シテ居リマス、夫デ引續イテ使ツテ居ル場合ガ何ノ位經ツタナレバ掃除ヲセネバランカト云フコトガ一寸未ダ調べガ充分ニ出來ズニ居ルノデアリマス、兎ニ角量水器ヲ据附ケテ現場デ油ヲ差スト云フコトハ少シモ行ツテ居リマセヌ

○十二番(大坂市) 量水器ハ現場デ油ヲ差スコトハ行ツテ居リマセヌ、唯ダ修繕ノ時ニ油ヲ差スコトニナツテ居リマス、夫デ何レ丈ケ使ツタナレバ修繕ヲ要スルカト云フコトノ統計ハ出來テ居リマセヌカラ、一寸其コトヲ申上ゲテ置キマス

○二十三番(長崎市) 大抵年數ヲ限ツテ年ニ一回トカ御行リデアリマスガ、又修理ノ費用ハ何レ位徴收ナサレマスカ

○四番(東京市) 是ハ未ダ碌々説明モ致シマセヌデアリマスガ、私ノ方デ出シタノハ現場デ注油ラスルト云フコトデアリマス、夫デ只今長崎ノ御尋ネノ年限ノコトハ先ヅ私ノ方ニ今据附ケテアル量水器ガ約四萬少シ餘ニナツテ居リマスガ、夫ヲ初メノ豫定デハ一ケ年ニ一邊位行リタイト云フ考ヘデ御座リマシタケレ共、段

々數ガ殖ヘテ來タノデ一年半掛ラスト全部ヲ一周スルコトガ出來ヌコトニナツテ居リマス、夫カラ修理ノ費用ハ賣渡シノ量水器デアレバ使用者ノ請求ガ有ル無シニ拘ラズ注油シテ然ウシテ普通ノ二分ノ一デー一回參拾錢徴收シテ居リマス、夫カラ段々大キクニナルニ從フテ違ツテ居リマスガ、先ヅ普通二分ノ一ガ參拾錢ト云フコトニ極メテ居リマス

○二十三番(長崎市) 其注油ヲシタノト注油ヲセヌノトデ其メートルノ破損ノ爲シ易イノハ何チラデアリマスカ

○四番(東京市) 其統計ハ出來テ居ル筈デ御座リマスケレ共、今度持參ヲ致シマセナンダノデアリマスガ、乍併只今御尋ネノコトニ悉ク當箱ルカ何ウカハ知リマセヌガ、兎ニ角統計ハ出來テ居リマス、但シ此注油ヲ致シマシタ爲ニ損スルトカ損セヌト云フコトノ統計ハ六ヶ敷シカラウト思ヒマス、私ノ方デ此注油ヲ行リマシタ目的ハ、何ウモ量水器ガ例ヘバ故障ガアツテモ中々使用者ガ其コトヲ申立テマセヌ、ソコデ毎月一回量水器ノ点檢ヲ致シマスケレ共、其点檢ヲセヌト使用者ハ分ラヌデ量水器ガ毀ゲテ居ツテモ黙ツテ居ルト云フコトニナツテ居リマス、成ルベク一年ナリ若クハ一年半ニ一回ナリ点檢スレバ其數ガ大分減ルノデ實ハ行ツテ居リマス次第デ御座リマス

○二十六番(佐世保市) 私ノ方ハ量水器ハ出來得ル限リ早ク引上ゲテ注油モシ掃除モシ調整モシタイト云フ希望ヲ以テ行ツテ居リマス、勿論先刻神戸カラ御話ガアツタ通りニ現場デ注油ヲスルト云フコトモ行ツテ居リマス、出來得ルナレバ六ヶ月ニ一回一年ニ二回行リタイト云フ積リデ最初行リ掛ケマシタガ、何ウモ六ヶ

月ト云フコトハ六ヶ敷イデ先ツ一年ニ一回乃至一年半ニ二回ト云フ位ナ程度ニ於テ行ツテ居リマス、無論使用者ノ請求ヲ待チマセヌデ、詰リ私ノ方デ据附ケマシタ月日ヲ基礎ト致シマシテ、總テ引上ゲテ注油ナリ掃除ヲシ尙ホ調整ヲスルト云フ方針ヲ執ツテ居リマス、實ハ色々考究ヲ致シマシタ、時日ノ長短ニ拘ラズ使用水量ノ如何ニ依ツテ引上ゲルト云フコトニシテモ行マスルケレ共、何ウモマダ時日ガ淺イノデ茲ニ委シキ統計ヲ取リマシタモノハ御座イマセヌ、今日デハ今御話申上ゲマスル如クニ六ヶ月乃至一年半位ニ一二回取換ヘルト云フコトヲ行ツテ居リマス、御參考マデニ………

○七十番(岡山市) 東京市ヘ御尋ネヲ致シマスガ、普通二分ノ一デ參拾錢ヲ御取ニナツテ居ルト云フコトデ御座イマスガ、コレハ量水器ノ修繕費ト云フヤウナ名ノ下ニデモ御徴收ニナツテ居リマスカ、參考ノ爲ニ………
○四番(東京市) 私ノ方デハ矢張り修繕費中ニ注油費ト云フモノヲ置イテ夫デ修繕費ノ注油費トシテ取ツテ居リマス

○七十番(岡山市) 只今ノニ付帶シテ尙ホ御一例ヲ伺ツテ置キタイ、然ウスレバ修繕費ト云フコトニナレバ丁度先刻モ御話ガアツタヤウデアリマスガ、使用者若クハ所有者ガ修繕ノ請求ヲ怠ツタ場合ニ修繕ヲ加ヘテ行ル、其時分ニ修繕費ヲ納附シナイ、斯ウ云フ場合ニハ所謂修繕費デ御座イマスカラ、公法ニ依テ所謂滞納處分ハ出來ナイモノト致シマシテ、是非取ルトスレバ裁判所エ訴求セネバナランカト考ヘラレマスガ、然ウ云フコトハ實際御市ニハ無クシテ大概都合克ク徴收シ得ラレマスルカ

○四番(東京市) 此量水器ノ賣渡シテアル分ダケヲ徴收スル譯デ普通ノ貸附ケテアル分ハ徴收スル譯デ無イ

デ餘程趣キガ違フテ居ラウト思ヒマスルシ、賣渡シテアル所ハ重ニ官衙、工場、學校夫カラ病院若クハ會社銀行ト云フヤウナ所ガ重ナシテ御座イマス、其他個人デモ御座リマスケレ共、大体此注油ヲスル時ハ矢張り賣渡シテアルノハ、茲ニハ請求ノ有無ニ不拘トアリマスガ、其注油ニ參リマシタ際ニ其請求書ハ徵スルコトニシテ居リマス、且ツ此注油上ニ於テハ滯納ト云フコトハ無イデ從ツテ訴求シタコトハ御座リマセヌ

○四十一番(廣島市) 現場ニ於テ注油ヲスルト云フ御話ガ御座リマシタガ、現場ニ於テ注油スルノハ何ウ云フ風ナ方法デ御行リニナリマスカ

○四番(東京市) 此仕事ノ方法ニ至ツテハ何ウモ私ハ克ク申上ゲルコトガ出來兼マスガ、兎ニ角私ノ方デハ据附ケタ儘行ツテ居リマス、夫デ油ヲ差シテ然ウシテ尙ホ水ヲ出シテ見マシテ、其幾許カ出シタモノガ正確ト認メレバ夫デ仕舞ツテ參リマス、夫デ其際何處カニ故障ガアルト云フコトナレバ其量水器ヲ引換ヘテ置イテ夫デ現場デ出來ル限リノモノハ修繕ヲシ現場デ修繕ガ出來ヌモノハ引上ゲテ代リノモノヲ附ケテ戻ルト云フコトニナツテ居リマス、其注油ノ行リ方ニ就テハ私ガ御話申上ゲルコトハ出來マセヌ

○議長(中山助役) 二三ノ御報告ハ出マシタガ、是デ東京市ノ御方モ御満足ガ出來マスカ

○四番(東京市) 宜シウ御座イマス

○議長(中山助役) 然ウ致シマスレバ、此問題ハ終了致シマシタ、次ハ第四ノ京都市ノ御提案ニ移リマス

(新)四

過マンガン酸カリウム消費量ノ検査ニ要スル尿酸ハ同一種類ノモノヲ使用シテハ如何(京都市)

○九番(京都市) 「過マンガン酸カリウム」ノ消費量ニ要スル尿酸ハ多ク「ラボラトリー」デハ殆ンド皆ナ獨逸ノ「メルク」デ出來タ製品ヲ使用シテ居リマス、然ルニ同ジ「メルク」ノ品デモ種々ノ種類ガアリマス、例ヘバ「プリスクリスト」「ビュアクリスト」「エキストラビュアクリスト」「プリスアナリスト」等ノ種類ガアリマス、此等ノ品デ別々ニ定規液ヲ作りマシテ、試験ヲ致シテ見マスルニ、未ダ試験回数ガ少イノデ確ナコトハ斷言ガ出來マセヌガ、兎ニ角何レモ多少ノ相違ガ御座イマス、灰分トシテ定量シテ見テモ相違ガ御座リマス、夫デスカラ京都市デハ尿酸ヲ脱水致シマシテ、是ヲ九十五%ノ「アルコール」デ處理シテ「尿酸エチールエステル」ト爲シ更ニ之ヲ加水分解ニ依リテ得タ尿酸ハ硫酸定規液ト合セテ硫酸「バリウム」トシテ定量致シテ見マスルニ、殆ンド一致シテ居リマスルシ、灰分モ殆ンド定量スル程アリマセヌ、夫デ此モノト前ニ述べマシタ尿酸ト比較シテ見マスルト「プリスアナリスト」ガ最モ良品ノヤウデアリマシタ、爾來京都市デハ「エステル」法ニ依テ作りマシタ尿酸ヲ使用シテ居リマスガ、各市デハ如何ナル種類ノ尿酸ヲ御使用ニナツテ居リマスカ、夫ヲ承リマシテ此際各市共如何ナル尿酸ガ最モ良好デアルカ又如何ナル方法デ精製シタル尿酸ガ良好ナルカヲ一定スル必要ガアルト思ヒマス

○二番(東京市) 東京市ノ尿酸ハ「メルク」ノ「プリス」ヲ從來使ツテ外ノモノハ用井テ居リマセヌ

○十三番(大坂市) 只今私ノ方デハ尿酸ハ一旦水ニ解カシテ更ニ結晶シテ使ツテ居リマス、近頃ハ「メルク」デ出來タノヲ使ツテ居リマス

○四十二番(廣島市) 私ノ方デハ比較的純粹ト思ヒマスルモノヲ買ツテ夫ヲ「エチーエステル」ニ直シテ其モノヲ使ツテ居リマス

○十八番(横濱市) 私ノ方ハ以前カラ稼酸ヲ再結晶シテ夫ヲ使用シテ居リマシタガ、近頃「メルク」カラ買ヒマシタ品ト比較スルニ何ウモ變リガアルノデ「メルク」ニ變ヘマシタ、併シ其「メルク」ノ名ハ何ント申シマスカ、只今記憶シテ居リマセヌ

○議長(中山助役) 是デ京都市モ御満足ニナリマスカ

○九番(京都市) 此稼酸ハ化學的試験ノ際ニ最重要ナ試験法デアリマシテ之ガ品質ノ如何ニ由ツテ水ノ性質ニ大關係ガアリマスルデ此問題ハ比較的必要デアラウト思ヒマスカラ、或ハ同一ノモノヲ使フヤウニ決定スルカ又ハ同ジ製法ニシテ使フヤウニナルカ研究シタイデ引續イテ宿題ト致シタイコトヲ希望致シマス

○議長(中山助役) 提案者カラ宿題ノ御希望ガアリマシタガ

(「異議無シ」ト呼ブ者アリ)

御異議ガ無クバ然ウ云フコトニ取扱ヒマス

○議長(中山助役) 今日ハ是デ會議ハ止ムルコトニ致シマス、尙ホ今日ハ午後ハ吉備津ノ方ヘ參ルコトニナツテ居リマスカラ、御支度ガ濟ミマシタナレバ、電車ニ乗ツテ停車場ヘ行ク積リデ居リマスカラ、左様ニ御承知ヲ……………

午前十一時三十五分散會

大正元年十月三十日(水曜日)

午前九時五十分開議

○議長(中山助役) 是カラ昨日ニ引續イテ開會致シマス、新問題ノ第五カラ御協議ヲ致シマス

(新)五

「クロール」ノ定量ニ際シ硝酸銀ノ總消費量ヨリ炭酸塩并ニ鉛分ハ減算ノ必要ナキヤ(京都市)

○九番(京都市) 此協定法ニ依レバ「モール」氏ノ方法デ行ルコトニナツテ居リマスガ、其際硝酸銀ヲ實際費シタ量ノ中ニ炭酸塩ガ御座イマスカラシテ、此「クロール」ノ量カラ其炭酸塩ヲ減イテ居リマスガ、夫デ各水质ニモ因ルケレ共少クモ炭酸塩ノ無イ水ハナイト思フ、故ニ是ヲ減クトカ減カストカト云フコトヲ決定シテ置ク必要ガアラウト思ヒマス、京都市デハ水道ノ塩基度ヲ毎日調べテ居リマスカラ、其塩基度ニ依リ炭酸塩ヲ減イタナレバ別ニ差支ハ無イト思ツテ居リマスガ、各市ニ於テハ何ウ云フ風ニ行ツテ居ラレマスガ、實際何ウ云フ風ノ扱ヒニシタガ宜シイカ、是ヲ此際極メテ置ク必要ガアラウト思ヒマス

○二番(京都市) 京都市モ京都市ノ如クニ硝酸銀ノ比例ヲ調査シテ炭酸塩ヲ減クト云フコトハ適當デアラウト感ジテ居リマスケレモ、此鉛分ハ各所ハ如何デ御座イマスカ、東京市ノ如キハ殆ンド鉛分ハ見出サヌデ是ヲ減クト云フ規程ヲ設ケテモ全然不必要デ御座イマシテ、他市等モ是ガ含ンデ居リマスレバ、將來飲料水ニナラヌデ鉛分ハ減クニ及バヌ、夫デ炭酸塩丈ケハ減ク方ガ必要デアラウト云フコトナレバ其方ニ向ツテ研究シテ行キタイト云フ積リデアリマス

○七十一番(岡山市) 只今二番カラ御話ノアツタ通りニ此鉛分ヲ減クト云フコトハ全ク必要ガ無イヤウニ思ヒマス、炭酸塩ハ只今二番ガ云ハレタ通りニ多イ場合ニハ無論減ク必要ガ御座リマシヤウト思ヒマス

○九番(京都市) 是ハ一寸御断リヲ致シテ置キマスガ、此鉛分ハ間違ヒデアリマシテ、私ノ方カラ出シタノ

ハ鉛分ト云フコトハ書カナカッタノデ鉄塩ト書イタ積リデアツタノデアリマスガ、之ハ印刷カ又ハ私ノ方カラ本市ニ送ツタ書類ニ間違ヒガアツタノカ知リマセスガ、之ハ間違ヒデアリマスカラ、取消シヲ致シマス、私ノ方デハ唯ダ炭酸塩丈ケノ積リデアリマス

○議長(中山助役) 并ニ鉛分ト云フ四文字ハ削除スルノデアリマスカ

○九番(京都市) 左様デアリマス

○議長(中山助役) 夫テハ四文字ヲ削除スルコトニ致シマス

○廿五番(長崎市) 私ノ方デハ是マデ「クロール」ノ定量ノ時ニ消費シタル硝酸銀ノ量カラ減イテ居リマセヌト云フノハ各所ニ試験ヲサレテモ別ニ是ヲ減カナケレバナラント云フ酷イ違ヒハナイ程ノ極ク微量デアル、夫デ理論上カラハ減クベキモノデアルケレ共今日水ノ検査ヲスルニ特ニ是ヲ減カナケレバナラント云フコトハ無イト思ヒマス

○十八番(横濱市) 私ノ方デモ此炭酸塩ニ對スル硝酸銀ヲ減クト云フコトハ餘リ必要ヲ感ジテ居リマセヌ、夫ハ何ゼ必要ガ無イカト云ヘバ此硝酸銀ヲ使フ時分ニ「クローム」酸ヲ使フ、此「クローム」酸ガアル以上ハ炭酸ガ反應スベキモノテナイト云フコトハ既ニ知レテ居リマス、夫デ通例ノ飲料水トシテハ減カヌヤウニ致シタイト思ヒマス

○二番(東京市) 是ハ地方ノ水質ニヨツテ相當ニ炭酸塩ノ分量ガアルトナレバ減クノガ理論上當然デアラウト思ツテ云フテ居ルノデアリマスガ、地方ニ依レバ毫モ其必要ガ無イカ分ラヌデ然ウ云フ方針デモウ一年間

調べテ見テ地方ニ依ツテ著シク炭酸塩ガアルト云フコトナレバ其際ニ協定法中ニ規定ヲ設ケタイト思ヒマス依テ此問題ハ明年マデ宿題ニシテ調べテ置キタイト思ヒマス

○六十一番(台灣總督府) 私ノ方デハ源水ヲ取ツテ其モノヲ或ル一定ノ濃度マデ蒸發ヲサセテ硝酸銀デ定量ヲ致シテ居リマス、炭酸塩ガ水ノ中ニアルノハ「カルシウム」トカ「マグネシウム」トカノ化合物デアラウト思ヒマス、然ウ云フヤウニ一時硬度ヲ呈スル「カルシウム」トカ「マグネシウム」ハ蒸發スル時分ニ不溶解性トナツテ落ちテ仕舞フ、一旦落ちタモノハ硝酸銀ニ左ノミ影響ハセヌト本ニ書イテアリマス、故ニ減ク必要ハ無イト云フ考ヘデ是マデ減カウト云フ考ヘハ有ツタコトハアリマセヌ

○十三番(大坂市) 只今東京市ノ方カラ御話ニナツタヤウニ來年マデ宿題トシテ殘シテ置キマシテ、各市トモ水質ノ内ニ含ンデ居ル炭酸塩ヲ調べマシテ、來年ノ協議會ノ時ニ地方ニ依ツテ炭酸塩ガ非常ニ多イト云フ關係デ何ウシテモ減カネバナラント云フコトニナレバ更ニ減クコトニシテハ如何デアリマスカ

○議長(中山助役) 東京市カラ宿題トシテ尙ホ一ケ年間各市ニ於テ炭酸塩ノ分量ヲ検査シタ上ト云フコトデアリマスガ、是レニ……………

(「異議無シ」ト呼ブ者アリ)

御異議ガ無ケレバ然ウ云フ風ニ取扱ヒマス

○議長(中山助役) 次ハ第六ノ京都市ノ御提案デアリマス

(新)六 給水用引込管トシテ鉛管以外ニ鋼鉄管、鍊鉄管等ヲ使用セラル、所アリヤ若シアラバ其耐

久力、工費其他參考トナルベキ点承リタシ (京都市)

○八番(京都市) 各市共給水用ノ引込管ハ重ニ鉛管ヲ御使ヒニナツテ居リマシテ、稀ニ鍊鉄管ヲ御使ヒニナツテ居ルヤウニ聽イテ居リマスガ、此鍊鉄管ナゾヲ今日御使ヒニナツタ場合ハ其耐久力ガ何ノ位ニマデ堪ヘテ居リマスカ、參考ノ爲ニ……………第二ニハ鋼鉄管ノ製造方法ニ於テモ發達シテ來テ居リ且ツ防腐方法モ餘程完全ニナツテ居リマシテ、日本品ヲ調べタ結果デハ稍々満足ヲスルコトガ出來テ居リマス、勿論經濟上ニ就テハ直段モ安クアリマシテ、既ニ堺市ナリ神戸市デハ然ウ云フモノヲ御使用ニナツテ居ルヤウニモ聽イテ居リマスカラ、實際其耐久力ハ相當ニアリマスカ、何ウカト云フコトニ就テ御意見ヲ承ツテ參考ニシタイト思ヒマス

○二十一番(神戸市) 本市デハ最初鍊鉄管ヲ使用シテ居リマシタ、所ガ何ウモ錆トメガ完全ニ出來テ居ラヌノデ水ガ赤クナツテ仕様が無い、夫デ其次ギニ亞鉛引キノ鍊鉄管ヲ使ツタ、所ガ是ハ何ウモ亞鉛ガ水ニ溶解シテ有害デアルト云フコトヲ聽イテ之モ廢メマシタ、夫カラ其次ギニ鋼鉄管ヲ使ヒマシタ、是ガ稍々結果ガ宜シイヤウデアリマス、近頃神戸市デハ請求者ノ希望ニ依ツテ「マンチヌマン」ノ鋼鉄管ノミヲ使フテ居リマス、夫デ其耐久力ハ是ヲ使ツテカラマダ四五年シカナラヌデ實際ノ經驗ナク殊ニ土質ノ關係ニヨツテ一定セザルモ鉛管ノ約三分ノ一位ト推定シテ居リマス、夫デ鋼鉄管ノ直段ハ大分ニ安イ、鉛管ノ方ハ口徑ガ一時デ長サガ一呎ノモノヲ四拾六錢デ賣ツテ居リマスガ、鋼鉄管ハ貳拾九錢デアリマス、又口徑四分ノ三デ長サガ一呎ノ鉛管デ參拾貳錢デ鋼鉄管ハ拾八錢デ口徑ガ二分ノ一デ長サガ一呎ノ鉛管デ拾六錢デ鋼鉄管ハ拾貳錢デアリマス、夫デ何ウモ鉛管ト鋼鉄管トノ耐久力ハ克ク分リマセヌカラ、之ハ需要者ノ希望ニ委セテ何レデモ購入スルコトニシテ居リマス

○八番(京都市) 神戸市ニ御尋ネヲ致シマスガ、只今四五年御使ヒニナツテ錆ガ多少出タト云フコトデアリマシタガ、其錆ハ鉄管ノ内部カ或ハ外部ニ出來タノデアリマスカ

○二十一番(神戸市) 内面モ幾許カ赤クナツテ居ルケレ共内面ハ比較的少イ、夫デ外部ノ見場ガ悪クナツテ内部ハ少シク腐蝕ノ兆候ガアル丈ケデ厚サガ減ルト云フ兆候ニハナツテ居リマセヌ、是ハ一概ニハ言ヘヌノデ即チ普通乾燥スル土地デアツタナレバ四五年經ツテモ餘リ錆モ來ヌト云フ所ガアル、何ウモ地質ニ因テ一定シテ居ラス、併シマア平均シテ幾許カ腐蝕ノ兆候ガアリマス、元來此鋼鉄管ヲ使フノハ鉛管ヨリ直段ガ安イデ使フト云フノガ目的ニナツテ居リマスカラ、成ルベク安イ方ト云フノデ鋼鉄管ヲ使ツテ居リマスガ、其耐久力ハ鉛管ト何ノ位ノ差ガアルト云フコトハ未ダ試シテ居リマセヌ

○七十一番(岡山市) 此鍊鉄管ノコトニ就テ申シマスガ、當市ニ於テモ亞鉛鍍金ノ鍊鉄管ハ場所ニ依リマシテ、大變ニ錆ヲ生ジテ耐久力ノ無いト云フコトガ屢々アリマシテ、夫デ如何ナル場所ガ然ウ云フ變化ヲ來スカト云ヘバ實ハ地質ヲ調べタ所ガ塩分ヲ多ク含ンデ居ル場所ニ亞鉛鍍金ノ鍊鉄管ヲ埋没スル時ハ早く腐蝕スル、夫デ是レハ全ク塩分ノ關係デハ無イカト云フコトデアリマシテ、或ル分量ノ塩分ヲ砂ノ中ニ混ゼテ其中ニ鍊鉄管ヲ一年間程保存シテ見マシタ、塩分ト云ヘバ大變ニ廣イデアリマスガ、彼ノ食塩ト御承知ヲ願ヒマスガ、其結果塩分ガ多クナレバナル程腐蝕ノ程度ガ早イノデアリマシテ、夫デ本市ニ於テ早く腐敗シタ場所

ハ元塩倉即チ塩庫デアツタ、然ウ云フ所デハ別ニ早ク腐敗致シマス、然ウ云フ譯デアリマスカラシテ、只今神戸市カラモ御述ベニナツタ通りニ土質或ハ水ノ分量ニ依ツテ即チ乾燥ノ如何ニ依ツテ腐蝕スル度合ガ違フ元來亞鉛ハ塩分ガ無クトモ水ニ溶解スルト云フ性質ガアリマスカラ、此亞鉛鍍金ノ鍊鉄管ノ壽命ハ鋼鉄管ニ比シテ短イモノデ所ニ依レバ一年或ハ二年永クツテモ五年カ七年シカ完全ナ壽命ヲ保ツコトハ出來ヌト思ヒマス、私ハ此鍊鉄管ノ價等ニ就テハ申シマセヌガ、唯ダ化學上ヨリ腐蝕スル程度ノ階級丈ケヲ申上ゲテ置キマス

○四十一番(廣島市) 廣島市ニ於テハ大分前カラ鍊鉄管ヲ使ツテ居リマス、使用シタノハ三十八年度デアリマス、其三十八年度ノ最初ニ鍊鉄管ヲ使用シタモノヲ調べテ見レバ宇品海岸デアリマスガ、夫デ今日カラ見レバ其鍊鉄管ハ既ニ腐蝕シテ今度取換ヘテ居リマス、是ヲ調べテ見レバ何ウモ岡山市カウモ御話ニナツタ通りニ塩分ノ關係デハ無イカト思フ、夫デ宇品ハ塩ノ關係ガアルデ塩分ノ關係ガ無イ方面ヲ調査シ又村部デ塩分ノアル方面トノ此三ヶ所ニ就テ調べテ見マシタガ、其結果山ノ方面ニ就テ海岸カラ一里モ離レタ所ハ何等ノ關係ハアリマセヌ、故ニ何ウモ塩分ノ關係デ腐蝕スルヤウデアアル、今日デ調べテ見レバ先ヅ十年シカ保テヌノデ塩分ガ無クレバマダ保テルト思ヒマス、夫カラ工費ハ鉛管カラ見レバ安ク御座イマス、兎ニ角鍊鉄管ハ壽命ガ短クツテモ工費ガ安イノト反動ガ來テモ破裂シナイト云フノデ多ク用井テ居リマス

○五十五番(朝鮮總督府) 朝鮮總督府ニ於テハ京城并ニ仁川ノ水道ハ鉛管ノミヲ使ヒ其他ニ於ケル水道ニハ鉛管并ニ亞鉛鍍金ノ鍊鉄管ヲ使フテ居リマス、然ルニマダ何分敷設後日ガ淺イデ其耐久力ハ調査シテ居リマセヌガ、是マデノ實驗ニ依レバ大シタ害ハ無イヤウニ考ヘマス、尙ホ鉛管ト瓦斯管ノ比較ハ丁度三割方安イヤウニ考ヘテ居ル、其鉛管ト瓦斯管ノ比較表ハ携ヘテ來テ居リマスカラ、御必要ナレバ御覽ニ入レマス、一寸御參考ノ爲ニ……………

○二十一番(神戸市) 亞鉛引キノ鉄管ヲ大分御使ヒニナルヤウデアリマスガ、神戸デ試験ヲシタノハ丁度二百尺以上長サガアツタト思ヒマスガ、是ハ何ウモ亞鉛分ガ溶解スルノデーケ年間ト云フモノハ朝人ノ水ヲ取ラス内ニ水ヲ取ツテ試験シタ所ガ一ケ年間引續イテ亞鉛ガ溶解シテ著ク出テ來ルト云フコトヲ發見シマシタ、夫デ亞鉛ビキノ鉄管ヲ使用スルコトハ廢メタノデアリマス、何ウモ神戸デハ亞鉛ビキノ鉄管ヲ使フノハ不適當デアラウト思ツテ居リマス

○五十五番(朝鮮總督府) 何分敷設後日ガ淺ウニ御座イマスカラ、未ダ夫レ丈ケノ試験ヲ行ルコトニナツテ居リマセヌ、尙ホ次會マデニ調べテ申上ゲマス

○十八番(横濱市) 亞鉛引キノ鉄管ノコトニ就テハ少々私ノ方ニ經驗ガアルデ御話申上ゲマスガ、本年五六月ノ頃ノヤウニ思ヒマスガ、或ル所ニ亞鉛引キノ鉄管ヲ使用シマシタ、所ガ大變ニ白ク濁濁シテ來ルコトガ一週間モ二週間モアリマシタ、其時分ニハ更ニ原因ガ分ラヌデ後カラ調べタナレバ亞鉛ビキノ鉄管ヲ使用シタト云フコトガ分ツタ其後一ヶ月位經ツテモ矢張り白ク濁ツテ居ツタ、夫カラ其後ハ然ウ云フコトハ先ヅ無イカニ思ヒマスガ、其亞鉛ノ爲ニ濁ツテ居ルト云フコトニ就テハ衛生上餘リ是ガ關係ガ無イヤウニ實ハ思ハレル、夫ハ其通例ノ亞鉛ビキノ鉄管ヲ以テ行ツテ其水ニ含ンデ居ル所ノ亞鉛少量ナレバ衛生上顧慮スルニ及

バスト云フ學說ガアルヤウデアリマスカラ、一寸御參考ノ爲ニ……………

○議長(中山助役) 第六ニ就テハ色々御經驗ノ事實ヲ承リマシタガ、提出者ノ京都市ハ如何デアリマスカ

○八番(京都市) 京都市ハ色々有益ナ御意見ヲ拜聽シテ満足致シマシタ

○議長(中山助役) 然レバ是ハ終了シタモノトシテ御異議ハアリマセスカ

(「異議無シ」ト呼ブ者アリ)

然ウ云フコトニ決シマス

○議長(中山助役) 次ハ第七ニ移リマス

(新)七 私設防火栓ニ關シ左記ノ廉承リタシ

家事用給水管ノ私設防火栓用行キ止リ鉄管ヨリ分岐スルモノ、有無

行止リ私設防火栓用鉄管中ノ停滯水處分方

前項停滯水排除ノ必要アルトキ其排水量及手數等ニ對シ相當ノ料金ヲ徵收スルヤ(京都市)
○八番(京都市) 是ハ茲ニ書イテアル通りデアリマスカ、私設防火栓ヲ引込ミマシテ、其行キ止リカラ直チニ分水ヲナサツテ居ル所ガアリマスカ如何ン、夫カラ行キ止リノ私設防火栓用ノ鉄管中ニ水ガ停滯シテ腐敗スルコトガアル、夫ガ延イテ配水管ノ中ニ影響ヲ及スコトガアリハセスカ、アレバ其停滯水ハ何ウ云フ御處分ニナツテ居リマスカ、尙ホ然ウ云フ御處分ヲセラレルニ就テハ相當ノ手數ガ掛リ且ツ其ノ排水量ハ徵收ナサツテ居ルカ如何ンヲ參考ノ爲ニ……………

○五十八番(台灣總督府) 台灣ニ於テハ使用者ノ求メニヨツテハ便宜分岐栓ヲスルヤウナ場合モ往々アルヤウデアリマス、尙ホ此水ノ停滯スルニ就テハ水道ノ方カラシテ無論月ニ一回若クハ二回ト云フヤウニ排水スルヤウニナツテ居ル、其排水ノ手數料ナリ其排水量ノコトニ就テハ水道ニ於テハ一切取ラヌコトニナツテ居リマス

○六十八番(岡山市) 本市ニ於テモ只今台灣總督府ノ云ハレマシタ通りニ、矢張り私設防火栓用行キ止リ鉄管ヨリ分岐致シテ居ルノデアリマス、然ウシテ防火栓用行キ止リ鉄管ノ停滯水ノ處分ニ就テハ時々放水シテ居リマス、夫カラ排水量并ニ手數料ニ就テハ放水スル前ニ「メートル」ヲ点檢シ又放水ヲシタナレバ「メートル」ヲ点檢シテ排水量ヲ調べマスガ其料金及排水ニ就テノ手數料ハ徵收致シテ居リマセヌ

○十二番(大坂市) 大坂市ニモ然ウ云フ場合ニハ停滯水ハ時々排水シテ居リマス、其排水量ヤ手數料ハ徵收シテ居ラヌノデアリマス

○三十番(高崎市) 京都デハ是ハ料金ヲ取ルヤウナ方法ヲ御拵ヘニナルト云フ御考ヘデ御座イマシヤウカ

○七番(京都市) 別ニ然ウ云フ積リテハ無い、然ウ云フコトニ對シテ何ウ云フ風ニナツテ居リマスカ、各市ノ御取扱ヒ振リヲ承リタイノデアリマス

○三十番(高崎市) 是ハ各市トモ料金ヲ取ルヤウニシテハ如何デアリマスカ、私ノ方デモ諸君ノ御述べニナツテ居ルヤウニ料金ハ取ラヌノデアアル、是カラハ手數料ヲ取ツタナレバ宜シイガト考ヘマスカ

○四番(京都市) 私ノ方ハ少シク趣キガ異ヒマスカラ、他市ノヲ聽イテ居ツタノデアリマスカ、私ノ方ハ消

火栓用ト云フモノハ今マデハ行キ止リニハ向フノ請求者ノ希望ニ依テ拵ヘタ所モアリマスガ、現今ニ於テハ此行キ止リノ消火栓ヲ設ケルト云フコトハ探ラヌ方針ヲ以テ居リマス、成ルベク水ノ換ルヤウニシタイト云フ方針ヲ執ツテ居リマスカラ、消火栓ヲ附ケル要求ガアレバ其場所ノ如何ンニモ依ルケレ共成ルベク家事用ノ給水管ノ途中ニ附ケルト云フ方針ヲ執ツテ居リマス、夫カラ其行キ止リノアリマスル爲ニ水ガ腐敗シテ排水スル時ハ私ノ方デハ料金ヲ取ツテ居リマス、夫ハ何ウ云フコトデ取ツテ居ルカト云ヘバ防火栓ノ試験ハ消防演習ト云フコトデ取ツテ居リマス、何ントナレバ向フノ便宜ノ爲ニ設ケテアルノデ夫ガ爲ニ水ヲ悪クスルト云フコトハ一般ニ害ヲ及スコトデアルカラ其モノニ對シテハ消防演習ト云フ名目ノ下ニ相當ノ料金ヲ取ツテ居リマス、是丈ケガ外ノ所ト異ツテ居ルヤウデアリマスカラ、一寸申上ゲテ置キマス

○二十一番(神戸市) 神戸デハ私設防火栓用ノ鉄管ノ引込ミガ長クツテ私用栓ガ少ナイ場合ニハ多少水質ヲ悪クスル嫌イガアル、然ウ云フ場合ニハ先程カラ御話ガアル通りニ矢張り放水シテ居ル、其水料トカ……水代トカ手數料ハ取ツテ居リマセヌ、尙ホ劇場デアルトカ興業地ニハ警察署カラ防火栓ノ検査ヲ命ズルコトガアリマス、夫デ其回数ハ克ク覺エテ居ラヌガ、使用者ガ一ケ年ニ二三回位モ検査ヲ命ゼラレルラシイ、其處カラ問題ニナツタコトガアル、使用者ハ警察カラ云ツタカラ明ケタト云フノデアアル、夫デ水道ニ於テハ封印ガ切ツテアルカラ八釜敷シク云ツタコトガアル、所ガ警察ノ方デ斯ウ云フタノデアアルカラ私ノ方デハ使用料ハ出サスト云ツタケレ共到頭使用料ヲ出シテ仕舞ツタ、夫デ警察ノ方デモ困ツタデ何ントカ方法ハナイカ、方法ガ無イト困ル、防火栓ハ何ウシテモ検査ヲセネバナラント云フノデ喧シクナツタ、夫デ検査丈ケハ此方

デ無料デシテヤルコトニナツテ居リマス、少シク出シテ見テ先ヅ故障ガナケレバ措イテ置ク、斯ウ云フコトデ警察ノ紹介ガアレバ別ニ使用料ヲ取ラヌデ検査丈ケハシテヤルト云フコトニナツテ居リマス、乍併「ホース」ヲ附ケテ出セバ何ウシテモ試験手數料ヲ出サネバナラント云フコトニ行ツテ居リマス、其料金ハ水量デ取ルコトニシテ居リマス、矢張り「メートル」ヲ附ケテ取ツテ居リマス、夫ハ「ホース」ノ「メートル」ヲ附ケテ水量ニ依テ臨時給水ノ割合デ取ツテ居リマス、夫デ水料幾許デモ使ヒヤウニ依ツテ出スト云フコトニナツテ居リマス、尤モ一回ガ最低ノモノハ四圓ト云フコトニナツテ夫レ以上ハ水ノ使ヒ量ニヨツテ異ヒマス

○三十七番(青森市)各市ノ御實驗ヲ伺ヒマシタガ、實ハ私モ此問題ニ就テハ今少シク研究ヲスル餘地ガアルダラウト思ヒマス、元來私ノ方デモ斯ウ云フ場合ハ澤山ニアリマスガ、何レモ料金ハ取ツテ居ラヌ、取ツテ居ラナイノハ使用條例ノ表カラ見レバ今東京市カラ御述べニナツタ通りニ表面消火栓ノ試験ヲ云フテ來レバ一回ノ料金貳圓ヲ取ルコトニナツテ居リマスカラ取ラネバナラヌ、乍併水ノ質ガ變ツタカラ放水シテ異イト云フコトニナレバ、斯ウ云フ不都合ガアル、放水ヲシナケレバナラヌ、夫ヲスルニ就テハ自然試験ガ伴ツテ居リマスカラ、私ノ考ヘデハ何レニシテモ取ツタ方が穩當デハ無イカト思ヒマス、私ノ所デハ表面消火栓ノ試験ヲ云フテ來レバ一回ガ貳圓ハ高イヤウデアリマスケレ共、只今申ス通りニ放水ヲスレバ自然試験ガ伴フデ其場合ニハ相當ナル手數料ヲ取ルガ宜シイト思ヒマス、尙ホ是ハ研究問題トシテ今一ケ年据置キタイト云フ考ヘデ御座イマス

○議長(中山助役) 只今青森市カラハ尙ホ研究問題トシテ一ケ年据置イテ貰ヒタイト云フ希望ガアリマスガ

第七ノ問題ノ趣旨ハ然ウデ無クシテ唯ダ各市ノ模様ヲ承ツテ見タイト云フノガ趣旨デアルヤウデアリマス、夫デ料金ヲ取ルト云フコトハ別ノ問題ニナルヤウデアリマスガ、若シ然ウ云フコトガ必要デアレバ追加デモ御提出ニナツテハ如何デアリマスカ

○二十三番(長崎市) 長崎モ餘リ各市ノ振合ヒト異ハヌデ其振合ヒハ申シマセヌガ、只今青森カラ研究問題ト云フコトデアツタケレ共料金ヲ取ルト云フコトガ茲デ極ツテモ議會ガ承知シナケレバ出來ヌコトデアルカラ、何ウカ京都市ノ振合ヒヲ御尋ネニナルト云フコトデ御止メニナルコトヲ希望致シマス

○議長(中山助役) 是ハ若シ必要ナレバ別ノ案トシテ御提出ニナツテハ如何デアリマスカ

○三十七番(青森市) 成程相當ノ料金ヲ徴收スルト云フコトハ問題外ニナルヤウデアリマスカラ、是ハ別途ニ致シマス

○議長(中山助役) 此問題ハ御異議ガ無ケレバ終了シタコトニ致シマス

○議長(中山助役) 次ハ第八ニ移リマス、之ハ大坂市ノ御提案デアリマス

(新)八 各戸給水工事ニ要スル左記ノ費用ハ如何ナル標準ヲ以テ徴收セラル、ヤ各市實例如何

- 一 工用材料料費
- 一 器具損料
- 一 職夫賃
- 一 職夫ニ支給スル被服其他雜給

一 設計費用

一 工事監督費用 (大坂市)

○十二番(大坂市) 大坂市ハ工用材料料費ハ購入原價ノ一割ヲ加算シテ取り器具損料ハ取ラナイコトニシテ居リマス、職夫賃ハ……………職夫ニ要スル被服費ハ……………雜給ハ別ニ徴收致シマセヌ、設計費用ハ……………工事監督費用ハ……………ト云フ工合デ斯ウ標準ヲ極メテ徴收シテ居リマス、夫デ各市ニ於テ取扱ツテ居ラル、振合ヒヲ承リタイ

○六十八番(岡山市) 只今大坂市カラ云ハレマシタ通りニ、本市ニ於テモ工用材料料費ハ購入原價ノ一割ヲ増シテ取ツテ居リマス、器具損料トシテ一設計ニ就テ參拾錢ヲ取ツテ居リマス、職夫賃ハ木工ハ九拾錢、鉛工ハ七拾錢、人夫ハ四拾五錢、夫カラ職夫ニ支給スル被服其他雜給ハ徴收シテ居リマセヌ、設計ノ費用ハ手數料トシテ參拾錢、徴收シテ居ル、工事監督費用ハ徴收致シテ居リマセヌ

○五十五番(朝鮮總督府) 京城水道ニ於テハ工用材料料費ハ原料ノ一割ヲ取ツテ居ル、器具損料ハ一ヶ月ニ千分ノ十五ヲ取ツテ居リマス、職工賃ハ鉛工ガ壹圓、木工ガ壹圓四拾錢、……………ガ壹圓八拾錢、工夫ガ壹圓五拾錢、人夫ガ五拾錢、夫カラ職工ノ被服ナゾハ給シテ居リマセヌ、設計費用ハ手數料トシテ一件ニ對シテ壹圓トシテ居リマス、夫カラ工事監督費用ハ一切徴收シテ居リマセヌ

○五十八番(台灣總督府) 各市ニ於テハ工用材料料費ハ一割ヲ加ヘテアルヤウデアリマスガ、台北ニ於テハ實際ノ買入レ直段ヲ標準ニ致シテ置イテ前年度若クハ其年度ノ品物ヲ買入レル場合ニハ其平均額ト其年度内

ノ標準ヲ見テ別ニ割増シハ致シマセヌ、器具損料ハ更ニ給水工事ノ内ニ雜費ヲ求メテ居ルデ其雜費ノ内ニ包含シテ居ル、又職工賃ハ實際ノ場合ニハ多少變動ガアルケレ共夫モ標準ヲ拵ヘテ一件ニ付テ人夫ガ何人ト云フヤウナ割合ニ致シテ居リマス、職工人夫ニ於ケル被服ハ給水工事費ト云フ一ツノ目ヲ設ケテ其内ヨリ被服費ト其他ノモノヲ支給致シテ居リマス、此設計費用并ニ工事監督費用ノ如キハ別段ニ徴收ハ致シテ居リマセヌガ、給水ノ申込ミヲスル際リニ特ニ申込費ヲ壹圓取ツテ居ルデ實際ニ於テハ設計費用并ニ工事監督費用ニ就テハ壹圓ヲ取ルコトニナツテ居リマス

○二十一番(神戸市) 神戸デハ工事用材料費ハ從來ハ購入價格ノ三割ヲ掛ケテ居リマシタ、所ガ高イト云フ評判ガアツテ此頃ハ一割ヲ掛ケテ居リマス、夫ハ如何ナル譯デ一割ヲ掛ケルコトニシタカト云ヘバ市内デ管末装置ヲ行ルコトガ跋扈シテ仕様ガ無イ、夫デ高ウテハ不可スト云フノデ材料費ハ設計費用ダトカ多少ノ材料ニ何カ附ケルモノヲ折算シテ純粹ニ要ル費用ヨリ一割ヲ増シテ取ツテ居リマス、然ウシテ別ニ分岐起工費ト云フモノヲ本年カラ取ルコトニシテ居リマス、此分岐起工費ハ監督者ノ給與及ビ公道用鉛管其他ノ材料代取付用工費等ヲ分岐起工費ト稱シテ居ルノデアリマス、夫デ専用及連合栓新設工事一件ニ付五圓、共用栓ハ一件ニ付參圓六拾錢デアリマス、是丈ケハ分岐施工費トシテ取ルコトニナツテ居リマス、夫カラ器具損料ハ雜費トシテ取ツテ居ル、是ハ水管ノ口徑ニ關係セズニ長サニ依ツテ取ツテ居リマス、是ハ器具許リデ無ク普通ノ「ヘット」トカ或ハ「ウイス」デアルトカ種々ナ雜品ガアリマス、夫等ヲ一絡ニシテ雜費トシテ取ツテ居リマス、其割合ガ丁度茲ニ見エテ居リマセヌガ、要スルニ色々ナモノヲ込メテ雜費トシテ取ツテ居リマス、夫

カラ職夫賃ハ別ニ定メタル市價ニ依ル一定ノ賃金、材料費ト同ジク約一割ヲ加ヘタルモノヲ取ルコトニナツテ居リマス、即チ職工ニ就テハ總テノ諸雜費ガ要ルデ實際ニ掛ルモノ約一割ヲ増シテ取ルト云フ方針ニ行ツテ居リマス、夫カラ職工ニ支給スル被服其他ノ雜費ハ一割ノ増徴ノ内ヲ以テ負担シ得ラレルモノト見做シテ別ニ徴收シテ居リマセヌ、夫カラ設計費用ハ設計手數料トシテ工事ヲ申込シテ居リマス、乍併工事ヲ申込シテ來テ設計ニ行カヌ前ニ取消セバ戻シテ遣リマスケレ共、一旦設計ニ行ツタナレバ必ラズ取ル、是ハ工事ヲ止メルト云ツテ來テモ、取ルト云フコトニシテ居リマス、其設計ニ對スル費用ノ區別ハ三吋以下ノ鉄管工事一件ニ就テ五拾錢、四吋ノ鉄管ガ壹圓、五吋ガ貳圓、六吋ガ參圓、八吋ガ五圓ト云フコトニナツテ居リマス、夫カラ工事監督費用ハ分岐施工費ノ内ニ幾許カ見込シテ居リマス

○四番(東京市) 私ノ方デハ工事用材料費ハ前年マデハ八分デアツタノヲ購入平均額ニ對シテハ五分ヲ掛ケテ居リマス、夫カラ器具ノ損料ハ別段ニ工費ノ内ニ是丈ケト云フ標準ヲ立ツテ居リマセヌ、但シ此人夫賃及職工費ノ分掛ケヲ定メルニ就テ一ケ年度器具ニ要スル費用、夫カラ職工ニ支給スル被服其他ノ雜給ト云フモノヲ一切調査シテ然ウシテ職工賃ノ豫算單價ハ七拾五錢ト云フコトニナツテ居リマスガ、此分掛ケノ方デハ單價ヲ壹圓トシテ其差ガ貳拾五錢アル、其貳拾五錢ノ内ニ總テガ含マレルコトニナツテ居リマス、其ノ細カイコトヲ調査シタモノハアリマスガ、夫ハ容易ニ申上ゲ難イデ申シマセヌガ、要スルニ只今申シマシタヤウニ職工ハ壹圓トシテ御座イマシテ、其工事ノ如何ンニ依ツテ夫々分掛ケガ極ツテ居ル、人夫ハ五拾錢ニナツテ居ツテ是モ仕事ノ如何ンニ依ツテ相當ナ分掛ケガ極ツテ居ル、夫カラ設計ノ費用ハ唯ダ素人トシテ設計ヲ

依頼シテ來ル者及初メカラ給水ノ請求ヲシテ來テ其請求ヲシタ者ニハ工費額ノ通知ヲヤル、其通知ハ行カヌ
デモ既ニ設計ヲ申込デ取消シタ者ニ向ツテハ實際ノ調査ヲ一回スレバ五拾錢デアル、然ウシテ一回ガ五拾
錢以上五圓以下ト云フコトニナツテ居ルカラ十回以上十五回行ツテモ五圓デ止メルコトニナツテ居リマス、
夫カラ工事監督費用ハ曩ニ申シタ貳拾五錢ノ内ニ包含シテ居リマス

○二十四番(長崎市) 長崎市ハ工事用材料費ハ一割掛ツテ居リマス、器具ハアリマセヌ、職夫賃ハ鉛鉄工ガ
壹圓、工夫ガ五拾五錢デアリマス、夫カラ職夫ニ支給スル被服其他雜給ハ取リマセヌ、設計費用モ取ラズ又
工事監督費用モ取リマセヌ

○十六番(堺市) 私ノ所ハ工事用材料費ハ……………原價ノ一割六分ヲ取ツテ居リマス、夫
カラ器具ノ損料ハ取リマス、職夫賃ハ……………職夫ニ支給スル被服其他雜給ハ取リマス、設計費用ハ設計ヲ申
込シタ時分ニ取ルコトニ致シテ居リマス、工事監督費用ハ……………其他ヲ合セテ雜費トシテ取ルコトニシテ
居リマス、夫デ此雜費ハ工事ノ種類ニ依ツテ特ニ餘計ニ取ルコトニシテアリマス、普通ノ工事トシテハ五拾
錢ヲ徵收シテ居リマス

○八番(京都市) 京都市デ行ツテ居ル實例ヲ云ヘバ工事用材料費ハ各市ト略ボ同ジデ一割ヲ購入原價ニ課シ
テ居リマス、器具損料ハ徵收シテ居リマセヌ、職夫賃ハ先刻台灣ガ御述ベニナツタノト似テ居リマス、職工
ニ支給スル被服ハ取ツテ居リマセヌ、夫カラ五ト六即チ設計費及監督費用トシテハ工事費ノ五拾圓マデハ壹
圓デ百圓マデハ貳圓ト云フ風ニシテ居リマス

○六十二番(關東都督府) 大連ノ水道ニ於テハ工事用材料費ハ矢張り購入價格ノ一割ヲ増シテ取ツテ居ル、
器具損料ハ取ツテ居ラス、職夫賃ハ現在ノ工夫ノ平均日給額ヲ出シテ夫ニ一割ヲ増シタモノヲ標準價格トシ
テ居ル、職夫ニ支給スル被服費ハ取ツテ居ラス、設計費用ハ實地ノ設計ヲシテ……………モノハ拾圓以上ヲ取ル
コトヲ得ト云フ規程ガアリマスガ、マダ取ツタコトハアリマセヌ、工事監督費用ハ取ツタコトハアリマセヌ
○二十番(横濱市) 横濱市デハ此六ツノ内デ第一目第三目丈ケハ取ツテ其他ハ取ツテ居リマセヌ、工事用
材料費ハ曩ニ御話ガアツタ通りニ原價ニ一割ヲ増ス、夫カラ職夫賃ハ職工ガ壹圓、人夫ハ六拾參錢、木工ハ
壹圓デテリマス、其他ハ取ツテ居リマセヌ、但シ設計費用ハ目下其筋ヘ許可稟請中ニ属シテ居リマス
○議長(中山助役) 本問題ニ就テハ各市カラ御報告ニナツテ居リマスガ、御提案ノ大坂市ハ如何デ御座イマ
スカ

○十二番(大坂市) 各市ノ模様ヲ聽キマシタカラ、是レデ終了スルコトニ……………
○議長(中山助役) 他ニ御異議ガ無ケレバ然ウ云フコト致シマス、此際一寸休憩ヲ致シマス
午前十一時七分休憩
全十一時二十分開議

○議長(中山助役) 引續イテ開會致シマス、次ハ第九ノ大坂市御提案ノ分ニ移リマス
(新)九 水道設備減損補足金ヲ蓄積セル市アリヤ若シアリトセバ其方法如何 (大坂市)
○十二番(大坂市) 水道設備ノ減損ニ對スル取換ヘトカ大修理ヲ要スルニ就テハ豫メ其費用ヲ蓄積スル必要

ガアラウト思ヒマスガ、現ニ蓄積シテ居ラレル市ガアリマスレバ其蓄積ノ方法ハ如何ニシテ行ツテ居ラレマスカ

○四十番(廣島市) 私ノ方デハ四十一年度以來年々若干ノ蓄積ヲ致シテ居ルノデ御座イマスガ、併シ本問題ノ如キ水道設備ノ減損ヲ補足スルト云フ名目ノ下ニ蓄積ハ致シテ居ラヌノデアリマシテ、諸器械ノ増設及修理其他ノ費途ニ充ツル目的ヲ以テ即チ廣イ意味ノ下ニ於テ蓄積シテ居ルノデアリマス、夫ハ既ニ昨年度ニ於キマシテ量水器ノ改修ニ使ヒマシテ現今デハ些細ノ蓄積デアリマス、其方法トシテハ別ニ規定シタモノハアリマセヌ、唯ダ年々ノ財政ノ許ス限リ蓄積ヲスルコトニシテ居リマス、現金ハ年度末ニ銀行へ蓄積致シテ居リマス

○四十五番(下關市) 私ノ方ニハ此尋ネノ意義ト少シク異ツテ居ルヤウデアリマスガ、水道擴張資金トシテ備ヘテ居リマス、是ハ水道ヲ完成シタ當時ニ置イタモノデアリマシテ、其後一時水道公債ノ拂入レラヌル際ニ無クシマシタガ、又近年度ニ於テ元ノ金ニシテ居リマス、此利子ハ元金ニ組入レテ行クト云フコトニシタインデアリマスガ、今ノ場合ハ然ウナツテ居ラヌ、其利子ハ當該年度ノ歳入ニ編入シテ居リマス、其設定若クハ使用ノ方法ニ就テハ別段ニ規則ハ設ケテハアリマセヌ、御參考マデニ……………

○二十六番(佐世保市) 佐世保市ニ於テモ此水道基金蓄積ノ必要ハ認メマシテ、漸ク本年度カラ此基金ヲ蓄積スルト云フ方法ヲ設定致シマシタ、夫ハ水道基金蓄積規程ト云フモノヲ設定シテ年々基金ヲ蓄積致シマシテ、其基金ハ水道ノ擴張若クハ改善ノ必要ニ充ツル外ニハ費消ハ出來ナイト云フコトニ致シテ居リマス、其金ハ年々ノ歳計剩餘金ヲ以テ充ツルコトニ致シテ居リマス、又是ニ因リ利子ハ總テ元資ニ組入レルト云フコトニ致シテ居リマス

○四番(東京市) 私ノ方ニモ御座イマスケレ共、此問題ノ如クニ減損補填金ト云フヤウナ意味デ積立タノデアアリマセヌガ、私ノ方デハ水道準備積立金ト云フ名義ノ下ニ今日マデ積立テ、來テ居リマス、其金ノ使ヒ方等ニ於テハ何等極メテ御座イマセヌ、夫デ現在ニ蓄積シテアル金ガ約貳百四拾萬……………貳百參拾九萬五千參百四拾圓デアリマス、然ウシテ此利殖ノ方法トシテハ定期預金及當座預金夫カラシテ市經濟ノ内ノ或經濟ニ貸附ケテアル、夫カラ公債ナリ農工銀行ノ証券ヲ買入レテ居リマス、其利子ハ年々水道經濟ノ歳入ニ編入致シマス、其積立ル金ハ水道經濟ノ收支ノ殘額ヲ皆之ニ入レテアリマス、本問題ノ主旨トハ少シク異リマスガ、私ノ方ノ狀況ヲ申上ゲテ置キマス

議長(中山助役) 外ニハ御意見ガ無サ、ウニ御座イマスガ、如何デアリマスカ、之ハ他ニ御異議ガ無クンバ終了シタモノト認メマス

○議長(中山助役) 次ハ第十、矢張り大坂市ノ御提案デアリマス

(新)十 上水試験法第二化學的試験法(十三)蒸發殘渣定量ノ場合蒸發皿並ニ蒸發裝置ヲ一定スルノ必要ナキヤ (大坂市)

○十三番(大坂市) 此問題タル水ノ蒸發殘渣ノ定量ヲ致ス場合ニ依リマシテ、蒸發皿并ニ蒸發裝置ヲ一定スルノ必要ナキヤト云フコトデアリマスガ、御承知ノ通りニ蒸發ヲスル場合ニ塵ガ這入ツテ叶ヒマセヌ、夫デ

大坂ノ方ニ於テモ水質試験ヲ始メル當時カラシテ此塵ヲ除ケル法ニ就テハ非常ニ苦心シテ居ルノデアリマス
ケレ共、今日マデ宜シイ方法ガ無イノデ充分ニ塵除ケヲ致スコトガ出来マセス、所ガ現今大坂ノ方デ塵ヲ除
ケル装置ト云フノハ重湯煎ノ上ニ木ノ箱ヲ硝子窓ガ附イテ居ル、然ウ云フモノヲ拵ヘテ居リマス、夫ニ依テ
モ此普通ノ水ノ蒸發スル場合ニ塵ノ十「ミリグラム」位這入ツテ居ル、就キマシテハ此蒸發装置ニ就テ何カ良
イ御明案デモアレバ承リタシ又装置ヲ一定スル必要ガアルデハ無イカト思ヒマス、尙ホ附加ヘテ申シテ置ク
ノハ大坂市ガ初メカラ行ツテ居ル装置ハ一番初メハ硝子ノ濾斗ヲ以テ覆ヲシテ蒸發ヲスル、夫モ蒸發ノ時間
ガ非常ニ長イデ第二番ニハ曲物ニ紙ヲ貼ツテ蒸發ヲスレバ夫ニモ非常ニ塵ガ這入ル、夫デ現今デハ木ノ箱デ
行ツテ居リマス、斯ウ云フ歴史ヲ以テ居リマスカラ、今度ハ大坂ニ於テモ其装置ヲ改造シナケレバナラン場
合ニ立至ツテ居リマスカラ、是非何カ良イ方法ニ改良シタイト思ツテ居リマス

○二番(東京市) 東京市モ大坂市ト同ジヤウナ狀況デ塵ノ侵入ハ免レマセヌノデ、東京市ハ從來「コントロ
ール」ヲ以テ蒸溜水ヲ同ジ形式ノ方向ニ列ベテ置イテ今日マデハ夫デ検査シテ何等差支ハアリマセス、今聽
ケバ特別ノ箱ヲ拵ヘテト云フコトデアツタガ、夫デ敢テ蒸發ヲ妨ゲルト云フコトハ無イガ、一体塵ヲ絶對ニ
防グト云フコトハ難事デハナイカ、私ハ「コントロール」デ防イダナレバ宜カラウト思ヒマス

○九番(京都市) 京都市ハ試験室ノ隅ニ高サ三尺位ノ臺ガアリマシテ、其上ニ能ク寸法ハ覺エヌガ約三尺位
ナ斜ナ箱ガ装置ニナツテ居ル、其上ニ硝子ガアツテ與行キハ約三尺位デ幅ハ約五尺位デアリマスガ、其一方
ニハ蒸氣ノ脱漏スル蒸氣脱ガアリマス、夫ハ屋根ニ脱ケル、其上ニ点火ヲスル瓦斯管ガアツテ、重湯煎モ其

中ニ這入ツテ其内部ハ全部鉛デ張ツテアリマス、全部ト云ツテモ下ノ方丈ケデアリマス、夫デ蒸發ヲスルニ
蒸溜水ト比較シテ見レバ別ニ塵ガ這入ル憂ヒモナイヤウデアル、然ウシテ蒸發モ完全ニ出来テ約二〇〇〇ヲ
蒸發スルニ善ク覺エヌガ六時間位デ出来ルト思ヒマス、此皿ノ方モ私ノ方デハ最初ハ「ニツケル」ノ蒸發皿ヲ
使フテ居リマシタガ、此「ニツケル」ノ蒸發皿ハ重湯煎上ニ蒸發シテ居ル間ニ多少………侵サル、爲メ幾分
カ鍍金ガ剥ゲ從テ幾分カ重量ニ關係シテ參リマスカラシテ、實ハ硝子ノ蒸發皿ヲ使ツテ居ル、所ガ夫ハ時々
蒸發スル際ニ缺ゲルノデモ矢張り重量ニ影響致シマス、夫カラ現在ハ「フューズドシリカー」ヲ使ツテ居
リマスガ、是ハ直段ガ高イケレ共熱ニ遭ツテモ毀損レヌ、即チ約千度位ノ熱ニ遭フテモ毀損レル憂ヒモナイ
デ夫ト「ニツケル」ノ蒸發皿トノ兩方ヲ使ツテ居リマス

○二十五番(長崎市) 私ノ方ハ大体ニ於テ東京市ト同ジヤウナ考ヘデアリマス、然ルニ此問題ニ依レバ蒸發
皿トカ装置ヲ一定スル必要ハナキヤト云フコトニナツテ居リマスガ、是ヲ一定スルト云フコトハ實際ニ於テ
不可能デアラウト考ヘテ居ルノミナラズ各市共ニ一定ニセンケレバナラント云フ必要ハ私ノ方デハ認メテ居
リマセス

○十三番(大坂市) 只今東京市ノ御述べニナツタヤウニ「コントロール」ヲ以テ行レバ至極宜シイコト、思ヒ
マスガ、但シ蒸發ヲスル所ノ装置モ此會ガ考ヘテ置クモ宜シイコトデハナイカト思ヒマスガ、就キマシテハ
本問題ニ就テ必要ノナイ所ハ仕様ガ無イケレ共若シ此蒸發ヲスルニ就テ不便ヲ感シテ居ラレル所モアラウト
思ヒマスカラ、願クハ一ケ年間試験ヲシテ來年ノ協議會ノ時ニ何等カノ御報告ヲ受ケタナレバ如何デアラウ

カト思ヒマス

○七十一番(岡山市) 十三番ニ御尋ネヲ致シマスガ、之ハ装置許リデ無クシテ蒸發皿ヲ一定スルト云フノデアリマスカ

○十三番(大坂市) 皿モ一定シタナレバ如何ト思ヒマスガ、併シ重ナルモノハ装置ニ困ツテ居リマス

○六十一番(台灣總督府) 私ノ方デハ只今京都市カラ云ハレタヤウナモノデ蒸發シテ居リマス、然ルニ今マデハ何等間違ヒガナイヤウニ思ツテ居リマス、夫デ蒸發皿モ前ニハ白金ノ蒸發皿ヲ使ヒマシタ、併シ白金ノ蒸發皿ハ經濟上幾許モ使ヘヌデ「ニツケル」皿ヲ使ヒマス、夫ヲ使フ時ニ裏ト表ヲ善ク洗ヘバ稀ニハ耗ルガ左ノミ影響ハナイヤウニ思ヒマス、詰リ白金ノ皿ヲ使ツタ當時ト「ニツケル」皿トヲ使ツタ當時ハ無論下ニ布ヲ敷イテ使ツテ居リマス

○五十六番(朝鮮總督府) 朝鮮總督府デハ蒸發ヲスル際ニハ特ニ一室ヲ設ケテ人ガ這入ラスヤウニ遮斷シテ居ルデ塵ガ這入ツテ來ルト云フ心配ハ少シモ無イヤウデアリマス、是マデハ然ウ云フ風ニシテ行ツテ居ルニ固形物ガ這入ツテ蒸發ニ影響ヲ及シタトカ何ウカシタト云フコトハアリマセヌ、此蒸發皿ニ就テハ白金モ使ツテモ見レバ又「ニツケル」皿モ使ツテ見マシタケレ共、月ニ二回宛秤量ヲシテ増減ヲ計ツテ夫ヲ差引クコトニシテ居リマスカラ、蒸發皿ノ白金トカ「ニツケル」又ハ陶器デアルト云フコトニ就テハ一向差支ガ無イヤウニ思ツテ居リマス

○七十一番(岡山市) 二十五番ニ賛成致シマス

○九番(京都市) 私ガ前年方々ヲ視テ廻リマシタ時ニ、各市ノ有様ヲ視レバ蒸發裝置テ外デシタリ又ハ部屋ノ一部デ唯ダ上ニ覆ヒモ無イ所デ行ツテ居ルノヲ見マシタガ、是ハ幾分カ塵ガ這入ルト思フデ相當ナ裝置ヲシテ置キタイ、此蒸發裝置丈ケハ一定ニハ行カヌデモ相當ナ覆ヒヲシテ行ルトカ或ハ一定ノ室ノ中デ行ルト云フ風ニ極メテ置ク必要ハアルデアラウト思ヒマス、無論蒸發皿ノ大小及質ト云フ様ナコトニ就テハ面倒デアルカラ斯ウ云フコトハ極メル必要ハ無イガ、蒸發裝置ニ覆ヒヲスルト云フコトハ極メル必要ガアルデ、矢張り宿題トシテ一年間研究ヲシタ方宜シイト思ヒマス

○六十一番(台灣總督府) 賛成デアリマス

○二番(東京市) 大坂市ノ御希望ハ少シク意味ヲ改メテ一年間研究スルノガ然ルベシト云フノデアアルバ賛成シテモ宜シイケレ共、是ヲ一定スルト云フ目的デ研究スルト云フコトナレバ殆ンド其必要ガ無イト思フ、假ニ一定スル必要ガアツテモ不可能デアラウト思ヒマス、成程色々ノ方法デ塵埃ヲ防イテ行クト云フコトハ將來大參考ニナルデ其研究ハ結構デアリマスガ、皿ノ質等ニ於テ必ず只今ノモノヲ一定シテ置イテモ漸次改良シタモノガ出テ來ヌデモ無イ、故ニ必ず是ヲ極メテ置ク必要ハ無イ、又裝置ニシテモ一定ニ極メルコトハ出來ヌデ、塵埃ヲ防イテ變化ノ無イヤウニセシムルト云フ材料ニスル爲ニ研究ナサルノナレバ御賛成ヲ致シマス

○十三番(大坂市) 私ノ方ノ希望モ只今京都市カラ御述ベニナツタ通りデ別ニ一定シテ置カネバナラント云コトデナイ、唯ダ方法ヲ研究シテ御貫ヒ申シタイト云フ考ヘニ過ギマセヌ

○議長(中山助役) 然ウスレバ蒸發裝置ヲ一定スル御希望デ無クシテ唯ダ方法ヲ研究シテ貫フト云フ御希望

デアリマスガ

○十三番(大坂市) 然ウデアリマス
○議長(中山助役) 然ウスレバ其意味デ諸君ノ御意見ヲ承リマス、其意味ニスレバ先刻京都ナリ東京市ノ御意見モアリマスカラ、宿題トシテ一ケ年御研究ニナルト云フコトニ……………

(「異議無シ」ト呼ブ者アリ)

御異議ガ無ンバ然ウ云フコトニ致シマス

○議長(中山助役) 次ハ第十一ニ移リマス、矢張り大坂市ノ御提案デアリマス

(新)十一 濾過池掃除ニ際シ汚泥層削取層寸ト濾過速力ノ關係ニ就テ各地ニ實驗セラレタルモノアラバ承リタシ (大坂市)

○十三番(大坂市) 此問題ハ濾過池掃除ニ際シテ汚泥層ヲ削取ル層寸ト濾過速力ノ關係ト云フノデアリマスガ、此汚泥層ヲ削取レバ濾過力ガ早クナツテヨイコトハ分ツテ居リマスガ、從ツテ水質モ悪クナルト云フコトニナツテ來ルダラウト思ヒマスガ、此汚泥層ヲ或ル程度マデ削取ツタナレバ濾過力モ早クスルコトガ出來又濾過効力ニモ左シタル影響ハ無イデアラウカト云フ所カラ各市ノ御實驗ヲ伺ヒタイ次第デアリマスガ、夫デ報告ノ十二ナリ二十五ト云フモノガアリマスガ、斯ウ云フモノヲ一緒ニシテ戴イタナレバ何ウデアラウカト思ヒマスガ

○議長(中山助役) 御異議ガナケレバ報告ノ十三ト二十五ヲ先キニ致シマス、報告ノ十三ハ大坂市ノ御提案

デアリマス

(報)十三 濾過池砂層各部ニ於ケル汚染程度ニ就テ第二回報告 (大坂市)

(報)二十五 濾過池砂層汚染ノ程度 (朝鮮總督府)

○十三番(大坂市) 報告ノ第十三ハ昨年ノ協議會ノ際ニ第一回ノ報告ヲ致シテ置キマシタノデ、大体ハ昨年申述ベタ通りデアリマス、併シ今回初メテ御出ノ人ガアルデ簡短ニ繰返シマスガ、私ノ方デ濾過池ノ砂層カラ砂ヲ取ツテ然ウシテ何レ位ノ程度ニ於テ汚染シテ居ルカト云フコトヲ理化學的試驗并ニ細菌學試驗ヲ致シマシタ、所ガ一番克ク汚染シテ居ルノハ約七八分カラ一寸マデガ一番克ク汚染シテ居ル、夫カラ三寸許リハ少シ位汚染シテ居リマシテ、夫レ以下ハ理化學的試驗ノ方デハ使用シナイ所ノ原砂即チ新シイ所ノ砂ト異ツテ居ラヌト云フコトヲ見出シタノデアリマス、夫カラ細菌學試驗ノ方デモ夫ト克ク似寄ツタ成績ヲ出シテ居リマスガ、之ハ多少下ノ方デ多イ所モアリマスケレバ、詰リ此砂ノ表面ニ出來ル所ノ汚泥層ハ砂層ノ上皮部ニ僅シカ這入ツテ居ラス、僅ニ一寸位シカ這入ツテ居ラス、就キマシテハ其以下ノ砂ハ何ウデアアルカト云ヘバ餘リ汚染シテ居ラヌコトヲ考フレバ唯ダ支ヘテ居ル力シカ無イデハナイカト考ヘテ居リマス、左スレバ濾過ノ層ト云フモノハ割合ヒ薄クツテモ宜クハ無イカト云フ考ヘモ起ツタノデアリマス、又一方大坂市ノ水道敷設當時ノ砂ノ大ケサヲ云ヘバ……………其當時ノ濾過力ハ何ウデアツタカ、概シテ何ウデアツタカト云ヘバ直キニ濾過力ガ止ンデ仕舞ツタ、然ウシテ掃除ヲスル爲ニ水ヲ引イテモ一向水ヲ引カヌ、故ニ上ノ方ヲ濼ヘテ穴ヲ明ケテ水ヲ吸ハシタコトガアリマシタ、所ガ數年ノ後チニ砂ヲ卸セバ八年目ニ濾シタ砂デアアルカラ

餘程大ケクナツテ居ル………濾過力ニ於テモ一ヶ月位ハ影響シナヒコトニナツテ來マシタ、夫カラ初メハ然ウ云フ風ニ水ガ出ヌデ割合ニ克ク掃除ヲシテ居ル汚泥層ハ普通三分内外位ヲ取ツテ居ル、夫デ出ナイ時分ニ一層餘計ニ取ル、近頃ハ砂ハ大キクナツタケレ共此掃除ノ際ニ上皮ヲ取ルノガ約二分デアリマス、二分ト云ヘバ所々デ斑点狀ノ汚泥ガ殘ツテ居ル、然ウシテ其上ヲ新シキ箒ヲ掃イテ使フト云フコトニナツテ居ル、是等ノコトヲ綜合シテ考ヘテ見レバ濾過池ナリ或ハ砂ハ小サイヨリモ大ナル方ガ宜イデハナイカ、何ントナレバ濾過力ヲ有シテ居ル汚泥ガ深く侵入シテ居ラス、夫カラ砂層モ深クセヌデモ宜シイ、必ラズ二尺モ三尺モアル必要ハナカラウト思フ、一尺二三寸デモ宜カラウト思ヒマス、要スルニ汚泥ハ汚泥ノ削取リニ注意ヲスレバ砂ハ割合ヒ粗クツテモ亦砂層ガ薄クツテモ差支ハ無イヤウニ私ノ方ノ實驗ニ依レバ考ヘラレマス、此十一ノ問題ニ就テ各市ニ於テノ御實驗ヲ承ツタナレバ大ニ參考ニナルデアラウト思ヒマス

○五十六番(朝鮮總督府) 朝鮮ノ仁川水道ニ於ケル濾過池砂層汚染程度ノ試驗成績ヲ御報告致シマス、試驗ノ供用濾過池ハ丁度滿一ケ年間何ノノ換砂モセズ除泥ヲモセズ使用シテ然ウシテ其濾過効力ガ充分ニ發現シテ居ル所ノ濾過池デアリマシタ、其濾過池ガ何ノ位ニ汚染シテ居ルカト云フコトヲ見ル爲ニ中間濾過池ノ中央部ヲ一ケ所ト夫カラ源水ノ這入ツテ來ル反對側ノ一端部ノ二ケ所ヲ取ツテ橫斷面ヲ試驗致シマシタ、夫デ橫斷面ハ上ノ方カラ○・五夫カラ一・二三四五六七八九ト順次七十仙迷迄上ノ方カラ水準器ヲ用井テ取ツテ居リマス、夫デ試驗ハ化學的試驗方法ト夫カラ細菌的試驗ノ兩方ヲ行フタ、細菌試驗ノ方デハ檢砂ヲ殺菌シタ有栓「シリンドル」ニ一定量ノ殺菌水ヲ入レタモノ、中ニ取ツテ之ヲ振盪シテ、協定法ニ依テ培養シテ檢砂一〇〇

中ノ含量ニ換算シタ、夫カラ化學的試驗ノ方ハ一定量ヲ秤量瓶ニ取ツテ之モ一定ノ蒸溜水ノ中ニ入レテ夫ラ一仙迷ノ砂ノ中ニ附着シテ居ル含量ニ換算シテ居ル試驗成績ニ依レバ、委シキコトハ協議録ニ於テ申シマスケレ共、大体ニ於テ大坂市ノ成績ト大シタ異ヒハ無イヤウデアリマス、其ノ濾過池ノ中央ノ部分ヲ上カラ○・五仙迷ノ所カラ取ツタ細菌ノ數ガ約二百七十、夫カラ一仙迷ニナツテ來レバ百十、夫カラ二仙迷ニナレバ十六、夫カラ三仙迷カラ七仙迷マデハ殆ンド同一デアル、夫カラ一〇仙迷以下七〇仙迷マデハ大差ハ無イヤウデアリマス、夫カラ化學的試驗ノ方デハ○・五仙迷ハ一体ニ非常ニ多イヤウナケレ共四仙迷カラ以下ニナレバ大シタ差ハ無イヤウデアリマス、夫カラ中央ノ部分ト源水ノ反對側ノ一端トノ兩方ノ成績ヲ比較スレバ中央部ヨリモ源水ノ反對ノ方ニ總テノモノガ多イヤウニ思ハレマス、此濾過池ニアリマシテモ一ケ年間ニ○・五仙迷ノ土ヲ積載スル、然ウシテ特ニ着色シテ汚染シテ居ル所ハ上ノ方カラ三仙迷デアル、夫カラ其濾過池ノ細菌數ヲ檢査スレバ上ノ方カラ○・五仙迷ノ部分ト一仙迷ノ部分トヲ對比スレバ半分ニナル、三仙迷カラ七仙迷マデハ殆ンド同ジヤウデアリマス、夫カラ「コロール」或ハ硫酸硬度ノヤウナモノヲ同ジク行ツテ見マシタガ、是モ四仙迷マデ多クツテ五仙迷カラ少クナツテ八仙迷以下ハ特ニ増減ハ無イヤウデアリマス

○議長(中山助役) 新問題ノ第十一ニ就テ承リマス、第十一ニ就テハ外ニ………

○六十一番(台灣總督府) 只今大坂市デハ砂ノ大キイ時ト小サイ時ニヨツテ濾過ノ効力ハ異ツタト云フ御話ガアリマシタ、夫ト克ク似タ試驗ガアリマスカラ申シマスガ、私ノ方デハ丁度二ツノ試驗ノ結果ヲ以テ居リマシテ、一方ノ○・五ミリノ方ハ只今委シク分ラヌガ、○・五ミリ以上ノ方ハ………此二ツヲ同時ニ試驗ノ

濾過池ニ入レテ同ジ水ヲ同時ニ入レテ然ウシテ濾過効力ハ何ウ云フ風ニ出テ來ルカト云フコトヲ見タコトガアリマシタ、是ニ依テ簡單ニ云ヘバ砂ノ大キイ方ガ二日間掛リ砂ノ小サイ方ハ四日間掛ツタ、夫デ濾過池ノ使用期限ガ砂ノ大キイ方ガ九十日デ小サイ方ガ四十日デアル、其砂ヲ取ツテ汚泥層ヲ見タナレバ砂ノ小サイ方ガ一寸位シカ汚染シテ居ラス、砂ノ大キイ方ガ約二寸許リ汚染シテ居ル、但シ小サイ砂ハ新シキ砂デアル、其新シイ爲ニ濾過力ガ減縮シタカ知ラスガ、或ル程度マデハ砂ノ小サイヨリモ大キイ方ガ濾過効力ガ永カッタノデアル、只今大坂市ノ御意見デハ濾過池ノ砂ハ或ル程度マデ薄クスルコトガ出來ル、單ニ之ヲ濾過効力ノ減失トカ濾過池ノ効力期間ト云フコトノミナラハ是ハ薄クシテ宜シイヤウデアルガ、濾過池ノ砂ハ人ガ這入ツテ取ツテ又人ガ這入ツテ入レル、然ウスレバ其人ガ砂ノ上ヲ歩クト砂ノ上ガ締ツタ所ト締ラス所ガアレバ濾過効力ガ平均ニ行ハレル所ト行ハレヌ所ガアラウト思ヒマス、故ニ濾過池ノ砂ノ程度ハ或ル程度マデ置カネバナラント思ヒマス

○三番(東京市) 問題以外デハアルケレモ御參考マデニ申シテ置キマスガ、東京ノ濾過層ハ約三尺位アツタト思ヒマスガ、東京デハ汚泥ヲ削ツテ居リマシテ、然ウシテ今デハ約三年ニ一尺位デアリマス、其汚泥ヲ段々ニ削取ツテ三年ヲ經ツテカラ一尺以上モ砂ガ減ズルノデ、或ル場合ニハ一尺七八寸ノ砂層ニ減ルヤウデアリマス、夫デ或ル經濟上詰リ其度毎ニ砂ノ補足ヲ行ル勞力ヲ省ク点ニハ砂ノ少クナイノガ必要デアラウカト思ヒマス

○二番(東京市) 大坂市提出ノ問題ノ汚泥層削取リノ寸尺ト濾過速力ノ關係ニ就テ段々御話ガ出テ砂ノ大小或ハ砂ノ厚サノコトニマデ及ンデ居リマスガ、然ウスレバ一言申上ゲテ置キタイ、一体砂ハ一米突内外ノ砂ヲ用ユ、斯ウ云フ法式ノ寸法ヲ一定シテ用井來ツタノデアル、併シ砂ト云ツテモ其性質ヲ研究シテ見レバ大小ノ混淆モ關係ヲシ砂ハ形狀ニ關係スルノミナラズ更ニ砂ノ質ニモ關係ヲ有ツカノ如クニ思ハレマス、前年横濱ノ服部君ガ……スルニハ及バヌト云フコトヲ御演說ニナツタコトガアル、旁々致シテ砂ノ形狀ノ關係及砂ノ大小混淆又ハ實質等ノ化學的試驗ハ頗ル大ナル問題デアラウト思ヒマス、若シモ是ガ改善セラレルナレバ經濟上都合ガ宜シイ、依テ何ウカ此問題ハ大坂市ノ狭イ意味ニ限ラスデ諸君ニ於テ十分ニ廣キ意味ヲ以テ東洋……日本新式ノ濾過法ヲ發見シタイト考ヘテ居リマス、是マデ私ノ方デ試驗ヲスルニハ其裝置ガナカツタノデアリマスガ、昨年來試驗濾池ナルモノヲ拵ヘテ出來上ツテ居リマスケレモ、其試驗ノ回数ヲ重ネヌデ分ラヌガ、將來試驗ヲ致シテ見タイト思ツテ居ル、是ハ大問題デアルカラ何ウカ各自御心附キノ点ニ向ツテ各御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス、此問題ニ直接ノ關係ハタイト思ヒマスケレ共、私ノ希望ヲ申上ゲテ置キマス

○議長(中山助役) 外ニハ別ニ御意見ハアリマセヌ、然ウスレバ御提案者ノ大坂市其他ノ諸君デ此十一ハ……
○二十五番(長崎市) 今東京市カラ御話ニナリマシタ趣意ニ對シテハ幸ニ台灣總督府カラ「濾過用砂ノ撰擇標準及其檢査方法ヲ研究スルノ必要ナキヤ」ト云フ問題ガ出テ居ルヤウデアリマスカラ、彼ヲ以テ深ク研究シタナレバ頗ル宜カラウト思ヒマス、新問題ノ四十六デ御座イマス

○七十三番(岡山市) 只今濾過池砂層汚染ノ程度ニ就テハ朝鮮總督府其他カラ御報告ガアリマシタガ、手前

ノ方デモ試験ヲ致シマシタ一例ガアリマスルカラ、其大体ヲ御報告致シマス、試験シマシタ濾池ハ表面部ニ於テ時々除泥若クハ補砂ヲ致シマスカラ、小異動ハアリマスケレドモ砂層ノ大部分ハ約七ケ年間繼續使用シタ處ノ第一号濾池ニ付テ試験シマシタノデアリマス、而テ試験當時ニ於ケル砂層ノ厚サハ二尺三寸デアリマシタ、此砂層ヲ小刻ミニ試験シテ各層ノ汚染程度ヲ比較シマシタ、試験ノ方法モ種々アリマセウガ私ハ可成實際的ニ研究シタイト考ヘマシテ四ツノ方面ヨリ試験シマシタ、其第一ニ一定量ノ砂ヲ洗滌シテ其ノ洗滌液ノ濁度ヲ測リマシタ、第二ニ一定量ノ砂ヲ水飛シテ其殘渣ヲ定量シマシタ、第三ニ砂層ノ硬化度ヲ測リマシタ、之ハ余リ例ノナイコト、思ヒマスガ砂層ハ源水中ノ泥土其他浮遊物等ニヨリテ砂粒ノ間隙漸次填充サレ砂層ノ密度ヲ増シ從テ其ノ硬度ヲ増進シマス、第四ニ細菌數ヲ試験シマシタ、此ノ四ツノ方面ヨリ砂層ノ各層ニ於ケル状態ヲ比較シテ見タノデアリマスガ、其結果ニヨリマスト大体ニ於テ全層ヲ通ジテ四層ニ區劃サル、様ニ認メラレマス、即チ第一層ハ表面ヨリ三寸位迄ノ處デアツテ最も甚ダシク汚染サレテ居リマス、次ニ第二層ト認ムベキハ三寸ヨリ九寸ニ至ルノ間デアリマシテ第一層ニ比較シマスレバ汚染程度少ナクレドモ此層モ余程汚染サレテ居リマス、次ニ第三層ハ九寸ヨリ二尺ニ至ルノ間デアツテ、固ヨリ新キ砂層ニ比較スレバ汚染サレテ居リマセウガ、併シ全層ノ内デ最も汚染程度ノ低キ部分デアリマス、其レカラ下リマシテ極下底ノ一二寸ノ處ガ又僅ニ汚染サレテ居ル様デアリマス、即チ之ヲ第四層ト致シマス、斯クノ如ク各層ノ状態ハ異テ居リマスガ要スルニ表面ヨリ三四寸ノ處マデハ最も甚ダシク汚染サレテ居リマス、從テ濾過機能ハ此ノ上層ニ於テ營マレテ居ル様ニ認メラレマス、詳細ハ書類ニ譲リマス

○七十番(岡山市) 尙ホ此大坂市ノ報告ノ十五ト云フノト十六ト云フノガ之ニ關聯致シテ居ルヤウデアリマスガ、之モ併セテ此際御報告ニナツテハ如何デアリマスカ

○議長(中山助役) 御異議ガ無クンバ關連シテ行ツテモ宜シウ御座イマス

(此時十三番大坂市ハ起立シテ發言セントス)

○議長(中山助役) 十三番、若シ御報告ニナルヤウデアリマスレバ、是カラ喫飯デモシテ御報告ニナルヤウニ御願ヒラ致シマス、是デ休憩ニ致シマス

午後零時十五分休憩

午後一時三十五分開議

○議長(中山助役) 引續イテ開會致シマス、第十一ノ新問題ニ牽連スル報告ノ第十五ト第十六ノ大坂市提出ノ御報告ヲ承リマス

(報)十五 濾過用細砂ニ就テ (大坂市)

(報)十六 濾過砂層ノ厚薄ニ就テ (大坂市)

○十三番(大坂市) 報告ノ十五ニ就テハ議事録ノ後ニ附加ヘルコトニ致シマス、夫カラ十六ノ濾過砂層ノ厚薄ニ就テハ先程申上ゲタ次第デアリ且ツ先キノ問題ト關連シテ居リマスカラ、夫デ略シテ置キマス

○六十一番(台灣總督府) 此問題ハ段々砂ノ性質ニマデ及ボシテ來タノデ台灣總督府カラ提出ニナツテ居ル新問題ノ四十六ト關連シテ居リマスカラ、同時ニ此問題ヲ協議シタナレバ都合ガ克クハナイカト思ヒマスカ

ラ、一言其コトヲ申シテ置キマス

○議長(中山助役) 第十一ニ就テ色々御實験ノ御報告が出マシテ御座イマスガ、只今新問題ノ四十六ト關連シテ居ルト云フ御意見モ出マシタガ、他ニ御意見モ無ササウデアリマスガ

(「賛成」ト呼ブ者アリ)

御異議ガ無クンバ四十六ト關連シテ後チニ御協議ニ附スルコトニシテ後廻シニ致シマス

○議長(中山助役) 此場合ニ御諮リヲ致シタウ御座リマスガ、次回ノ開會地デアリマスガ、是ハ昨年御話合ヒノコトハ一寸承ツタコトモアリマスケレ共、未ダ公然ト御決定ニナツタコト、モ心得ヘマセヌカラ、此場合明年度ハ何處ニ開クト云フコトヲ御協議ガシテ置キタウ御座リマス

○二十三番(長崎市) 明年ノ開場ノコトニ就テハ昨年決定シテ居ルヤウニ考ヘテ居リマス、先ヅ朝鮮ノ方ト豫定シテ居ル、夫ハ豫算ノ編成上ノ都合モアルカラ歸ツテ總督府ニ相談ノ上デ宜シイト云フコトニナレバ承諾ヲスルシ、若シ不可スト云フコトニナレバ變更シテ戴クト云フコトニ決定シテ居ルヤウニ考ヘテ居リマス

○議長(中山助役) 朝鮮總督府ノ御方ニ御相談ヲ致シマスガ、明年ノ開場地ヲ貴方ノ所ニ持ツテ行キタイト云フ御希望ガアルノデアリマスガ、御承知デアレバ其御申出ヲ願ヒタウ御座リマス

○五十四番(朝鮮總督府) 昨年來次回ノ開催地ハ朝鮮ニシタイト云フ御希望ガアルヤウデアリマスカラ大体ハ朝鮮ニ於テ開催スルコトニハ許シヲ得テ居リマス、豫算ハ未ダ査定中デ分リマセヌガ、御引受ケヲスルコトニハ差支ハアリマセヌ、夫デ御引受ケヲスレバ御承知ノ通りニ朝鮮ハ併合以來未ダ日モ淺ク殊ニ朝鮮總督

府ノ經濟ハ全部國費デアツテ細大ト無ク議會ノ協賛ヲ經テ居ルノデアリマシテ、台灣總督府トモ多少異ツテ居ル点ガアリ、又其他ノ都市トモ大分異ツテ居リマスルデ、御來會ノ諸君ニ御満足ノ御取扱ヒガ致シ兼ルト云フ懸念モ多少御座イマス、乍併出來得ル限りハ御盡力ヲ致ス考ヘテ居リマスガ、或ハ諸君ノ御希望ヲ滿タス丈ケノ設備モ出來スト云フ懸念ガアルノデ、此点ハ返ヘス〜モ御諒承ヲ願ツテ置キマス、夫デ來年ハ京城ノ方デ御受ケヲ致シマス

○議長(中山助役) 諸君ニ御異議ガ無ケレバ明年ノ開催地ハ朝鮮ノ京城ニ決定シテ宜シウ御座イマスガ

(「異議無シ」ト呼ブ者アリ)

然レバ夫ニ決シマス

○二番(東京市) 從來御約束ノ決議ニハ翌年度ノ開會地ヲ極メルトアリマスケレモ、更ニ翌々年度ノ開催地ヲ玆デ協定シテ置イタナレバ宜シイト思ヒマス、然ウデ無イト豫算ノ編成ニ差支ル向キガアルデ再來年度ノ分モ御賛成ヲ願ツテ決議致シテ置キタウ御座イマス

○二十一番(神戸市) 今ニ番カラノ御説ニハ至極賛成デアリマス

○議長(中山助役) 御賛成ガアツテ他ニ御異議ノ無イモノト認メテ然ウ決定シテ差支ハアリマセヌカ

(「異議無シ」ト呼ブ者アリ)

然レバ夫ニ決定致シマス、是ハ何ウ云フ風ナ方法デ御取極メニナリマスガ

○二十三番(長崎市) 此極メ方ハ既ニ開催シタ市若クハ幹部ノ人ガ委員トナツテ極メルト云フコトニナツテ

居リマス

○議長(中山助役) 然ウスレバ翌々年度ノ會場モ翌年度ノ開催地ヲ極メル委員ノ御手前デ極メルト云フコトニシタイ、然ウスレバ明後年ノ分ハ各地ニ開催サレテ居ツタ諸君ノ所デ極メテ御差支ハアリマセヌカ

(「異議無シ」ト呼ブ者アリ)

御異議ガ無ケレバ閉會マデニ翌々年度ノ會場地ノ御決定ヲ願ヒマス

○議長(中山助役) 昨日、今日マデ延期ニナツテ居ツタ問題ガ二三御座イマスカラ、夫ヲ此場合ニ御協議ニ附スルコトニ致シマス、委員附托ニナツテ居ル第一ノ分ノ本市提出ノ水源ノ選定云々ト云フ是ニ就テ御協議ニナツテ居リマスレバ、其顛末ノ御報告ヲ願ヒマス

(前委)一 水源ノ選定ハ各地狀況異ナルヲ以テ之ガ選定標準及試験方法ハ勿論一定シ難カル可シト

雖一度水源ヲ選定シタル上ハ容易ニ變更シ得ベキモノニアラズ永久的衛生上工業上至大ナル關係ヲ及ボスモノナルガ故ニ最モ嚴密ナル試験ヲ施行スルノ必要アルモノト信ズ就テハ其試験方法ノ概要ヲ協定シ置キ他日水源擴張又ハ新ニ水源ヲ選定スル場合ノ參考ニ資スルノ必要ナキヤ (岡山市)

○二番(東京市) 東京市ノ私ハ委員ヲ代表シテ御報告ヲ致シマス、本問題ハ水源ノ選定云々ト書イテアリマシテ、即チ文章ハ長クアリマスガ、要スルニ水道ヲ敷設スル調査ノ際ニ水質ヲ試験スル其概要ヲ協定シテ置クベキモノデアルト云フノガ根本デ御座イマシテ、實ハ水道ヲ既ニ所有シテ居ル土地ハ再ビ新タニ水源ヲ發

見セネバナラント云フ必要ハ無クシテ唯ダ擴張ヲ致ス場合ニノミ必要デ、多クハ水源ガ確定シテ居ル、水道既設地ニハ左程必要ガ無イデアリマス、然ウシテ本問題ノ如キハ將來新タニ水道ヲ敷設スル時分ニ必要ノ事項デアリマシテ、本來此會ハ既ニ水道ヲ持ツテ居ラレル諸君ノ御會デアリマスカラシテ、其應用ノ上ニ於テハ新設ノ必要ヲ見ナイノデアリマシテ、寧ロ其必要アリトスレバ國家ガ調査スベキコトデ即チ内務省其他國家ノ責任ニアルベキコトデアラウト思ヒマス、併シ斯ル問題ハ今日マデ幾許モアリマシテ、將來研究スベキ事項ガ此意外ニアツテ昨年來研究シツ、アリマスガ、然ルニ本問題ハ頗ル廣ク且ツ重大ナル問題デアリマスカラシテ、未ダ具体的ニ斯様ナ條件ヲ以テ試験ヲセネバナラント云フコトハ委員ニ於テ其處マデ諮ツテ居リマセヌ、夫デ委員相互ノ申合せニハモウ少シク材料ヲ集メテ翌年又ハ再來年ニ於テ決定シテ差支ハナカラウト云フノガ委員多數ノ見込デアリマス、就テハ當岡山市ニ於テモ御調査ノコトガアリマスカラ、夫ハ後日書面ヲ以テ報告ニナルト云フコトデアル、差向キ東京市ガ調査シタノハ唯ダ其一方面デアリマシテ、即チ如何ナル水ノ性質ノモノハ少クトモ日本ニ於テ水道ノ源水トシテ使用シ得ル資格ガアルカ何ウカ、今日マデ採用シテ居ル源水ノ範圍ヲ先ツ以テ見ル方ガ宜カラウ、極端ニ何レ丈ケマデ惡イ水デアツタナレバ水源ニ採用シテ差支ハ無イカト云フノハ現ニ澤山ノ源水ヲ集メレバ其内ニハ清良純潔ナモノモアリ不潔ナモノモアリマスガ、此不潔ナモノデモ改良ヲ加ヘレバ斯様ナ水ニナルト云フ其範圍ヲ示シテ行クノガ必要デアラウト思ツテ其範圍ヲ調査致シマシタガ、其書キ物ハアルケレモ煩雜デアルカラ議事録ニ述ベマスルガ、大体ハ各地源水試験ノ回数二千二百二十八回ノ分ヲ取纏メテ夫レノ最高最低ヲ見マシタ、然ルニ色度ノ最高ガ五〇〇・〇最

低ハ〇・〇夫カラ濁度ノ最高ガ五〇〇〇最低ハ〇・〇格魯兒ノ最高ガ四二五四〇最低ノ方ハ〇・七一〇硬度ノ最高ガ二八三六最低ハ〇・一〇〇但シコレハ台灣ガ加ツテ居リマセヌ、固形物總量ノ最高ガ五六・二〇〇最低ハ二二三三〇過滿俺酸加留謨消費量ノ最高ガ二四三〇四最低ハ〇・二九〇細菌聚落數ノ最高ガ四一二〇〇最低ハ六〇夫カラ源水ノ臭味ハ総テガ無臭無味、夫カラ反應ハ微弱アルカリ性カ又ハ弱アルカリ性、硫酸ハ痕跡、夫カラ硝酸ガ痕跡許リ、亞硝酸ハ檢出セズ安母尼亞モ檢出ヲシマセヌ、斯様ナル状態デ先ヅ今日マデ各市ガ源水ニ取ツテ居ルモノ、最高最低ノ範圍デアリマスガ、將來之レ以上ノモノヲ發見スレバ兎モ角モ現今ノ所デ今日マデ日本デ研究シタノガ是デ純良水ヲ得ルト云フコトガ見ラレヤウト思ヒマス、是ヲ仕上ゲタ所ヲ細カニ調べテ居リマスケレ共、是レハホンノ參考デモアリ夫ヲ言ヘバ時間ヲ要スルデ書キモノデ申上ゲマスガ、右様ナ範圍ナレバ斯様ニ仕上ゲテ飲料ニ供スルコトガ出來ルノハ現今マデ各市ノ經驗ニ依テ出來得ルノデ其他ノコトハ今後研究ト致シテ置イテ尙ホ其方針ヲ以テ研究ヲ重ネテ然ル後チニ具体的ノ立案ヲシテ此會デ御協議ヲ致シタイト云フノガ委員ノ見込デ御座イマス

○二十一番(神戸市) 是ハ中々重要ナ問題デアルノデアリマシテ、水源ノ附近或ハ上流ニ色々ノ水質ヲ悪クスル所ノモノガアルトシタナレバ、夫ガ自然水質ニ關係ヲ及シテ來テ水質ノ檢査ヲスレバ別ニ取調べノ必要ガアルモノデアルカ無ヒモノデアルカ、例ヘバ上流ニ於テ鑛山ガアルト云フ場合ニ方ツテ水質ヲ餘リ汚濁セント云フ試験ノ結果ヲ了ヘタナレバ夫デ宜シイガ、若シ或ハ大キナ牧場デモアレバ宜イカ如何ン、夫デ既設ノ水道ニ就テ或ハ牧場ヲ拵ヘテハ不可スト云フコトモ關係シテ來ルカト思ヒマスガ、然ウ云フ点モ併セテ御

調査ヲ願ヒタイト考ヘマス、一寸希望ヲ申シテ置キキマス

○十八番(横濱市) 只今神戸市カラ御希望ハ丁度私ノ方ノ提出ノ新問題ノ十七ニ當リマスカラ、御都各ニ依ツタナレバ是ト合併シテ御研究ニナツテモ御差支ハアリマセヌ

○議長(中山助役) 只今二十一番ノ御希望ハ新問題ノ十七ノ所デ御協議ヲ致シマス、夫カラ水源ノ選定云々ト云フノハ段々委員諸君ガ御調査ニナツタ所ノ報告ヲ承ツタノデアリマシテ、結局今一應宿題トシテ研究シタイト云フ御意見ラシクアリマスガ、御異議ガナケレバ夫ニ取計ヒマス

(「異議無シ」ト呼ブ者アリ)

然レバ宿題ト云フコトニ決シマス

○議長(中山助役) 夫カラ新問題ノ第十一ト云フモノガ今日ニ延ビテ居リマス、即チ水道使用條例ヲ交換スルト云フノガ僅ナ点デ御協議ガ纏ラヌ結果延期ニナツテ居ツタノデアリマスガ、是ハ御協議ガ纏リマスカ

○十七番(堺市) 此問題ニ就キマシテ昨日モ誰某カノ御意見デ改正シタナレバ其都度改正ノ部分丈クヲ持寄ルコトニシタナレバ宜カラウト云フコトデアリマシタガ、夫ハ至極御尤ノヤウニ思ヒマスカラ、本員ハ其說ニ賛成ヲ致シマス

○五十三番(小倉市) 水道ニ關係スル市ノ條例規則ハ印刷ニ附セラレテ議事録ノ附録トシテ配附ニナルコトヲ希望致シマス、私ノ市ハ未ダ給水開始ノ時期デ御座リマシテ、從ツテ條例制定ノ必要ヲ感ジマシテ、各市ニ向ツテ是ガ報告ノ御手數ヲ煩シマシタガ、然ルニ不幸ニシテ遠隔其他ノ爲ニ御送附ヲ受クル日子ヲ要スル

ノ遺憾ヲ感ジマシタ、依テ此際ニ各市ノ水道條例規則ヲ一絡ニ集メテ總テ印刷シテ議事録ノ附録ト云フコトニシテ置キマシテ、爾後改正ヲ要スル点ガアリマシタレバ其改正ノ点丈ケヲ主催地ニデモ送りマシテ然ウシテ、主催地デ其市ニ於テ改正セラレタモノハ非常ニ明確ニ調べテ何時モ其附録ヲ見レバ各市ノ水道條例及規則ニ關係スルコトガ完全ニシテ居ルヤウニシタイコトヲ希望致シマス

○四番(東京市) 之ハ昨日拜聴シタ説ニ依テ考フレバ私ノ方カラ御協定シテ應ジ下ツタコト、思ツテ居リマス、タノデアリマスガ、此意見ノ異ツテ居ル所ニ就テハ私ノ方カラ御協定シテ應ジ下ツタコト、思ツテ居リマス、故ニ實ハ其コトハ大坂市カラ御發言ガアルト思ツテ居リマシタガ、何ウカ十七番ハ大坂ノ御説ニ御賛成ノヤウデアリマスガ、昨日私ガ申シタ通りニ此處ニ於テ御交換ヲ願ヒタイ、昨日申シタ通りニ議事録ノ附録ニスルト云フコトハ賛成デアリマスケレ共、近來議事録ガ段々殖ヘテ浩瀚ナモノニナリ然ウシテ各市ノ條例等ヲ入レ、バ、到底主催地デハ出來ヌノデアル、夫デ僅ニ三十部許リ交換スレバ足リルノデアリマスカラ、年々交換ヲスルト云フコトニ御賛成ヲ願ヒタイ

○七十番(岡山市) 私モ東京市ニ賛成ヲ致シマス、若シ何番カノ如クニ主催地ニ於テ附録ニスレバ現ニ本會ニ於ケル本市モ甚ダ困難ヲ致シマス、是カラ後ニハ段々議事録ノ紙數モ殖ヘテ随分浩瀚ニナルト思ヒマスガ、其議事録ノ費用丈ケデモ中々小マイコトデハ出來マセヌ、今御述べニナツタ小倉市ノ御希望トシテハ必要カモ知リマセヌガマタ將來ノコトモ御考ヘニナラヌト其實行上甚ダ困難デアラウト思ヒマスカラ、本番ハ東京市ニ賛成ヲ致シマス

○十二番(大坂市) 是ハ東京市ヨリ御話ノ通りニ年々條例ヲ交換スルト云フコトニ願ヒタイ、夫デ協定事項ニ其コトヲ書キ加ヘルヤウニ願ヒタイ、然ウシテ協定事項ニ書クニ就テハ委員ヲ撰デ此終期マデニ極メタイ

○五十一番(門司市) 是ニ就テハ最初私ガ意見ヲ述べタノデアリマスガ、然ルニ不幸ニシテ大坂ヘハ御相談ガアツタサウデアリマスケレ共、私ノ方ヘハ御相談ガアリマセヌガ(笑聲起ル)尙ホ私ハ昨日ノ説ニ就テ敷衍ヲ致シマス、是ヲ到底今附録ニシテモ其出來タモノニ復改正シタト云フノデ所謂死ンダ規則ガ此附録ニ載ラウト思ヒマス、故ニ夫レヲ改正シタ都度其要点ヲ交換スルノガ必要デアラウト思ヒマス

○二十三番(長崎市) 昨日東京ノ御發議ニ依テ段々御反對ガアツタヤウデアリマスガ、私ハ此議事録ノ附録ト云フコトハ宜カラウト思ヒマスガ、併シ協定事項ニ書クト云フコトハ何ウカト思ヒマス、故ニ單ニ議事録ノ附録ト云フコトニシテハ如何デアリマスカ

○四番(東京市) 昨年デ御座イマシタガ、今二十三番ノ御説ノヤウナコトハ確ニ此會ニ於テ決議シテ本會ノ規定ノ内ニ加ヘマシテ、將來効力ヲ有スルコトハ必ず上水試験ノ協定事項ノ次ニ加ヘテ記載スルト云フコトニナツテ居ッタヤウデアリマス、然ウシテ其實行ノ出來ヌモノヲ標準ニセヌデ實行ノ出來ルモノヲ採ツテ行ツタナレバ差支ハナイデ協定事項ニシテ戴キタウ御座イマス、夫カラ五十一番ニ對シテハ甚ダ不都合ヲ致シテ居リマスガ、何ウゾ御賛成ヲ願ヒタウ御座リマス

(原案ニ賛成ト呼ブ者アリ)

○議長 中山助役) 然ウスレバ協定事項ニ加フルカ否ヤガ殘ツタヤウデアリマスガ、二十三番ハ如何デアリ

○二十三番(長崎市) 私ハ多數ガ御同意ナレバ前説ハ取消シマス
 ○議長(中山助役) 然ウスレバ二十三番説ハ自然消滅シテ協定事項ノ内ニ加ヘテ毎年上水協議會ニ於テ水道使用條例ヲ互ニ交換スルト云フコトヲ御決定ニナツタ以上ハ毎年御實行ヲ願ヒタウ御座リマス、然ウ云フコトニ決定致シマス

○議長(中山助役) 今度ハ新問題ノ第十二カラ御協議ニ附スルコトニ致シマス、大坂市ノ御提案デアリマス
 (新)十二 水源地即チ取水場附近ノ河流行取締ニ關シ關係官署ノ處置ニツキ各地ノ實況ヲ承リタシ
 (大坂市)

○十三番(大坂市) 此問題ハ土地ノ狀況ニ依ツテモ違ヒマシヤウガ、源水地ノ取締即チ取水場附近ノ河流行取締ニ就テ各關係官署ガ如何ナル處置ヲ取ツテ居ラレルカ各市ノ狀況ヲ承ツテ參考ニ致シタイト考ヘマス

○四番(東京市) 私ノ方デハ此水源地ニ就テハ別段ニ關係官署ノ取締ト云フコトハアリマセス、唯ダ取入口以下多摩川上水ニ就テ警視廳令デテ取締リヲ出シテ居リマス、然ウシテ必要ナ箇所ニハ制札ヲ立テ居ル、其事項ハ克ク記憶シテ居リマセスガ、夫ニ違犯シタモノハ相當ナ處分ヲスルト云フコトガ警視廳令デ極メテアリマス、唯ダ然ウ云フ取締ガ附イテ居ルト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○四十番(廣島市) 廣島市ノ實例ヲ申上ゲマス、私ノ方ハ水道創設ノ際ニ方リマシテ、知事ガ縣令ヲ以テ水道取締規則ト云フモノヲ發布セラレマシテ御座イマス、夫ガ尙ホ現存致シテ居リマス、其要領ハ安藝郡牛田

村大田川水道用水取入口ヨリ上流二百間ノ間堤防ヨリ河心ニ向フ四十間以内ノ區域又ハ下流三百五十間ノ間堤防ヨリ河心ニ向フ四十間以内ノ區域ヲ取締レト云フコトヲ云ツテ居リマス、此取締ノ區域内ニ於テ水源ノ水質ヲ害シ其他土砂石礫ヲ掘採シテ作業ニ妨害ヲ與ヘルヤウナ不法行為ヲ禁シテアリマシタ、夫デ此縣令ヲ犯シタ者ハ拘留若クハ科料ニ處スルト云フ條項デ御座リマシタ、乍併從來カラ餘リ此利器ヲ實行シタコトモアリマセス、然ル所ガ近來此取締區域内ニ於テ土砂石礫ヲ掘採スル者ガ頻々ト起ツテ參リマス、本年ニ至ツテハ彼ノ電軌軌道工事ノ爲ニ不穩ナ舉動ガアツテ即チ土砂石礫等ヲ採取致シテ居ル結果送水口ノ水心ニ關係ヲ及シタノデアリマシテ、是ハ實ニ重大ナ問題デ御座イマスカラ、初メテ此利器ヲ使用シテ其者ヲ取押ヘテ警察署ニ處分ヲ請フタコトガ一名アリマシタト云フヤウナ譯デ御座リカシタ、夫カラ塵芥瓦礫ヲ投棄スルトカ若クハ汚液ヲ注流スルト云フガ如キコトハ縣令ノ内ニアリマスガ、之等ヲ一々捕マヘテ行ケバ實際ノ無イコトデ又是等ノ如キハ直接ノ害ヲ及スト云フヤウナコトモ無イデ見通シテ居リマス、只今申シタ土砂石礫ヲ掘採シテ送水口ノ水心ニ害ヲ及スノハ如何ニモ擱レヌデ右申シタヤウナ處置ヲ致シテ居リマス、御參考ノ爲ニ……………

○二十三番(長崎市) 長崎市デモ縣令ヲ以テ取締規則ガ設ケラレテ居リマス、其箇條ヲ云ヘバ第一ニ貯水池及貯水池ニ注入スル流域諸水路ニ於テ魚鳥ヲ取り又ハ游泳シ若クハ洗浴スルコト、第二ニ獸類ヲ牽入レ又ハ諸物品ヲ洗滌スルコト、第三ハ塵芥土石其他汚穢物ヲ投入シ若クハ水質ヲ汚濁スルモノハト云フ規定ガアリマシテ、然ウシテ八條ニ至ツテ第一條ノ違犯者ニ對シテハ二日以上二十日未滿ノ拘留又ハ五拾錢以上貳拾圓

未滿ノ科料ニ處セラレルコトニナツテ居リマス、併シ此取締規則ガアル爲ニ未ダ水源ヲ汚損セラレルヤウナコトハアリマセヌ

○二十一番(神戸市) 兵庫縣デハ縣令デ違警罪ノ内ニ這入ツテ居リマスガ、一寸讀ンデ見レバ神戸市水道淨水池水取口又ハ貯水池附近ノ上流ニ於テ土砂石礫、塵芥木片禽獸ノ死屍ヲ投棄シ若クハ水浴洗濯其他水質ヲ汚濁スベキ所業ヲ爲シタル者、夫カラ神戸市水道共用栓防火栓其他水道ニ属スル一切ノ用具ヲ濫リニ使用シ發掘シ汚損シ若クハ玩弄シタル者ト云フ斯ウ云フ條項ガ這入ツテ居リマシタ、是ニ就テ近頃罰則ヲ御設ケニナツテ居リマス、夫ハ三十日以下ノ拘留又ハ貳拾圓以下ノ科料ニ處スルト云フコトニナツテ居リマス

○五十五番(朝鮮總督府) 朝鮮ニ於テモ取締規則ガ發布ニナツテ居リマス、其第一條ニ水道上水保護區域内ニ於テ瓦礫、塵芥、動物ノ屍體等ヲ投棄シ又ハ家畜放飼捕鳥漁獵游泳洗濯其他水質ヲ汚損スベキ行爲ヲ爲スベカラス、第二條ニ水道上水保護地域内ニ於テ家屋其他建造物ヲ作り又ハ田畑ヲ開墾シ若クハ土地ノ形狀ヲ變更セムトスルトキハ所轄警察官署ノ許可ヲ受クベシ、第三條ニ第一條及第二條ニ違反シ水道上水保護ニ障礙ヲ生ジタルキハ警察官署ハ期間ヲ指定シ障礙除去ノ施設ヲ命ズルコトアルベシ前項ニ依リ施設ヲ命ゼラレタル者其期間内ニ之ヲ行ハサルキハ當該官署ハ自ラ之ヲ行ヒ又ハ第三者ヲシテ之ヲ行ハシメ其費用ハ義務者ヨリ徴收スルコトアルベシ、第四條ニ水道上水保護區域ハ警務總長之ヲ定ム、第五條ニ本則ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處スト云フ規則ニナツテ居リマス、又此貯水區域ハ別段ノ方法ニ於テ發布サレテ居リマシガ、夫ハ略シテ置キマス

○十三番(大坂市) 大坂市ノ取締規則ヲ申上ゲマスガ、水源地區域五町以内ノ土地ニ煤煙又ハ有毒瓦斯ヲ發散スル工場ノ設置ヲ許サズトアリマス、御承知ノ通りニ大坂ハ土地ノ膨脹ト云ヒマシヤウカ、近頃段々上流ニ工場モ出來テ所謂此頃ニ於ケル水ノ性質ハ如何ント云ヘバ水道ガ出來タ當時ヨリハ約二倍以上ノ汚染ガ起ツテ居ル斯ウ云フ風ニ年々汚染ガ加ツテ參レバ現今ノ水道デハ不可スト思ヒマス、就テハ此問題ハ各市トモ經驗ニナツテ居ルデ協議會トシテハ何カ意見ヲ纏メテ置イテ其筋ヘ建議スルトカ何カノ處置ヲ執ル上ニ就テ便宜デアラウト思フノデ提出致シタノデアリマスガ故ニ、之ヲ委員附托トカデ或ハ各市ニ於テ一層御研究下サレマシテ、然ウシテ何カ纏ツタ意見ヲ極メテ戴イタナレバ都合ガ宜シト思ヒマス

○二十三番(長崎市) 此問題ハ研究問題トシテ保存スルト云フ大坂市ノ御意見デアリマスガ、之ハ各市ニ於テ研究問題トシテ置クト云フ御必要ガアルナレバ縣當局者ナリニ御交渉ニナツタナレバ出來ル仕事デハナイカト思ヒマス、左スレバ格別茲ニ取極メテ置ク必要ハアルマイト思ヒマスガ

○議長(中山助役) 然ウ云フ必要ガアルナレバ何カ御提出ニナツテハ如何デアリマスカ、之ハ各市ノ狀況ヲ承ハリタシト云フコトニナツテ居リマスカラ、各市ノ報告ヲ御聽キニナツテ夫デ御満足ニナツテハ如何デアリマスカ

○十三番(大坂市) 改メテ問題ヲ提出致シマス

○議長(中山助役) 他ニ御異議ガナケレバ本問題ハ終了シタモノト認メマス

○議長(中山助役) 次ハ第十三ノ問題ニ移リマス、之ハ堺市御提案ノ分デアリマス

(新)十三 濾過池ニ發生スル藻ノ濾過効力ニ及ホス影響ニ付テ各市ノ御實驗ヲ承リタシ (堺市)

○十六番(堺市) 此問題ニ付テ堺市ガ實驗シタコトヲ一應申上ゲマス、堺市ニ於テハ最初ハ濾過池ニ藻ノ發生スルノヲ始終搔キ取ツテ居リマシタガ、然ルニ濾過池ニ發生スル藻ノ濾過効力ニ及ホス關係ヲ試驗スル爲ニ、藻ヲ發生スル濾過池ト發生シナイ濾過池トヲ比較シテ見レバ、藻ヲ發生スル方ガ發生シナイ濾過池ヨリ聊カ濾過ノ有効期間ガ永イコトヲ認メマシタ、夫デ先ヅ一ケ年ニ涉ツテ三回ノ試驗ヲ致シマシタガ、私ノ方ノ濾過池ハ四個アツテ其内藻ヲ發生スルノハ二個デ發生セヌノガ二個アリマス、夫デ第一回ノ試驗成績ニ依レバ藻ヲ發生シタノハ百三日ノ有効期間デアアル、夫カラ或ル一部分ニ藻ノ發生スルモノガ一個アリマス、之ガ四十八日間ノ有効期間デアリマス、夫カラ全ク藻ヲ發生シナイモノガ四十一日間ノ有効期間ト云フ斯ウ云フ結果ヲ得マシタ、夫デ……土砂ノ搔キ取りハ藻ノ發生シタ部分ハ先ヅ二分、發生シナイ方ハ三分ト云フ搔キ取りヲシマシタ、第二回ノ試驗デハ發生シタ方ガ、尤モ之ハ時期ニモ因リマスガ、一月ノ二十三日カラ翌年ノ四月マデニ三回行ツタ試験デハ此期間デハ更ニ發生セヌ部分ニ發生ヲ致シマシタ、其間ハ七十一日間ト七十八日間ト發生スル部分ニ期間ガアリマシタ、夫デ此發生ヲシナイ方ノ藻ヲ移植シテ試シタ方ハ二十九日間シカ持タヌ、又發生セヌ方ガ六十二日間デアリマシタ、夫デ……其初メノ搔キ取り部分ニ發生シタモノハ三分、移植シタ方ガ四分、夫カラ全ク發生ヲシナイ方ガ三分五厘、第三回ノ試験デハ、之ハ四月五日カラ七月ノ二十六日マデシマシタノデ、百十二日間持チマシタ、其次ガ百六十日間、之ハ發生シタ分、發生セヌ分ハ三十二日間ト四十一日間ト云フ斯ウ云フ風デアリイシタ、夫デ此藻ノ發生スルノハ初メ極ク砂層ノ上ニ薄ク生ヘマシテ、

然ウシテ漸次生長シテ全面ニ行キマシタ、……殆ンド水中ニアル藻ノ中ニ汚泥ガ附着シテ居リマシテ、夫ヲ……斯ウ云フ風ニナツテ居リマス、或ハ其藻ノ附着スル爲ニ砂ノ面ニ及ボサナイカラ有効期間ガ長イデハナカラウカト云フコトモ考ヘテ居リマス、夫デ何レカニ於テ御實驗ニナツタ所ガアレバ承ハリタイノデアリマス

○三番(東京市) 東京市モ矢張り堺市ト同様ナ經過デアリマスケレ共、少シク趣キガ異イマスガ、濾過池ノ砂面ニ藻ガ生ヘマシテ、夫ガ夏ノ時期ニナレバ生ヘタ藻ガ流レテ藻ノ所ニ汚泥ヲ持ツテ來テ……夫デ其時ニ濾過表面ニ存在セル土ヲ一緒ニ持ツテ來ル、此頃……溜ツタ時ヲ利用シテ溢流口ヨリ流ス、然ウスレバ溜ツタ藻ガ藻ノ下ニ泥土ヲ持ツテ來ル、斯ヤウナ有様デ藻ガ砂ノ表面カラ剝ガサレタ結果非常ニ持續期間ガ永ウニナツテ……然ウ云フ結果ノ爲ニ八十日以上モ濾過面ノ持續日數ガ殖ヘタヤウナ結果ガアリマシタ、御參考ノ爲ニ……

○議長(中山助役) 堺市ハ夫デ御満足ニナリマスカ、他ニ御異議ガ無クンバ結了シタモノト認メマス

○議長(中山助役) 次ハ第十四ニ移リマス、矢張り堺市ノ御提案デアリマス

(新)十四 計量給水使用者ニシテ火災ノ場合ニ於テ其水栓ヨリ消防用ニ使用シタル水量ニ對シ料金免除ノ方法ニ付テ各市ノ御取扱振ヲ承リタシ (堺市)

○十七番(堺市) 是ハ態々此方ニマデ提出スル程ノコトデハナイヤウニ思ヒマスルガ、御承知ノ通りニ火災ノ時ニハ無論公設ノ諸管栓カラ蒸氣唧筒等デ非常ニ働イテ居ルノデアリマスカラ、別段餘リ使ハヌデモ宜シ

イヤウデハアリマスガ、此附近ニ土藏トカ或ハ工場ガアルト云フ爲ニ蒸氣唧筒以外ノ即チ會社ナゾノ小サナ唧筒ガ參リマシテ、往々其水栓カラ放水ヲ行ル、消防ニ盡力シテ行ルト云フコトガ度々アリマス、其際ニ此消防用ニ使用シタル水量ノ計算ヲスルニ私ノ方デハ斯ウ云フ風ニ致シテ居リマス、堺市ニハ消防隊ガ多ク御座イマシテ、或ル月ニハ例ヘバ十月ニハ二千石使フ、所ガ十二月ニナツテ急ニ八千石ニモ一萬石ニモナルト云フヤウナ使ヒ方ガアルノデアリマス、然ウ云フ場合ニハ止ムナク前年ノ同ジ月ノ使用シタ量ヲ平均ヲ出シテ其一日ノ平均ヲ以テ此事ノ起リマシタ月ノ日數ニ乘ジマシテ、其精算ノ數量以外ノ分ハ此火災ノ爲ニ使フタモノト云フ推定ヲ下シテ行ツテ居リマスガ、何ウモ夫デハ今少シク氣足ラヌヤウナ心地ガ致シマスカラ、他ノ市デ御實験ニナツテ居リマス所ガアレバ承リタウ御座イマス

○議長(中山助役) 諸君ニ御諮リヲ致シマスガ、是ハ今朝、デアリマシタカ、御廻附ヲ致シマシタ追加ノ新問題ノ五十六ト牽連シテ居ル問題デアリマスカラ、追加ノ新問題ノ五十六ヲ併合シテ御協議致シタイト心得マス

〔異議無シ〕ト呼ブ者アリ

御異議ガ無ケレバ然ウ取計ヒマス、是ハ小倉市カラ御提案ニナツテ居リマス

(新)五十六 火災ノ時附近ノ計量給水栓ヨリ防火用ニ使ヒタル水量ノ徴收方法如何

右實例ヲ承ハリ度シ (小倉市)

○二十一番(神戸市) 神戸デハ何ウモ小イ唧筒ヲ持テ來テ行ルト云フ例ガ少クナイ、餘リ然ウ云フ必要ヲ感ゼヌノカモ分リマセヌガ、普通ノ水栓カラ防火用ニ使フコトハ認メマセヌ、夫デ普通ノ鍵デアラウガ防火ニ

使フ時分ニハ防火具ト云ツテ別ニアル、夫デ通常ハ封印ガシテアル、會社トカ工場ニナレバ私設ノ防火栓兼用ノ水ヲ取ル、大キナ工場ニナレバ例ヘバ鐵道トカ製造所ハ………デ水ヲ取ル、夫ヲ防火用ニ使ヒタイト云フコトニナツテ居ル、夫デ「メートル」ノ一番根元ニ………夫デ是等ハ止ムヲ得ヌデ………ノ曉ニハ其前月カ或ハ其後ノ月ニ依テ査定スルコトニナツテ居リマス、是ハ強チ前月丈ケニハ依ラヌノデ前後ノ月ニ依テ査定シテ居リマス

○三十七番(青森市) 私ノ方デモ普通ノ宅カラ火災ガ起ツタト云フコトハ往々アリマス、其場合ニハ料金ハ全部取リマセヌ、其取ラナイ標準ハ今神戸ノ御説ト同ジコトデ前後ノ月ニ依テ査定シテ差引ヲ出シマス、唯ダ普通ノ場合ハ然ウデアリマスガ前年ノ大火災ノ時ハ到底前月ノ使用料モ其時ノ使用料モ調ベルコトガ出来ナイノデアリマス、然ウ云フ時ニハ殆ンド全部取リマセヌ、ト云フノハ第一ニ「メートル」ハ燒ケテ仕舞ツテ幾許使ツタノカ分ラヌデ全部取リマセヌガ、普通ノ場合ハ今神戸カラ御話ニナツタ通りデアリマス

○議長(中山助役) 是デ小倉市モ御満足ニナツテ終了ノモノト認メテ御異議ハアリマセヌカ

〔異議無シ〕ト呼ブ者アリ

他ニ御異議ガ無クンバ然ウ云フコトニ致シマス、二問題ハ終了シタモノト認メマス

○議長(中山助役) 次ハ第十五デ御座リマス、横濱市御提案………

(新)十五 協定試験法飲料適否判定第四項ノ過滿俺酸加留濃消費量「十ミリグラム以上ノモノ」トアルハ單ニ「異常ナルモノ」トシテ第六項ヘ併合スルノ可否 (横濱市)

○十八番(横濱市) 此協定試験法ノ第四飲料適否判定第四項ニ依レバ過マンガン酸カリウム消費量云々ト云フコトガ御座イマシテ、外ノ成分ノコトニ就テ數ヲ上ゲテアルモノガナイ、夫デ第六項ニ就テハ硫酸ダトカ反應ダトカ「クロール」トカ硝酸トカハ云々ト云フコトガアリマスガ、是ハ別段ニ差支ハナイガ、寧ロ第六項ニ矢張り異常ナルモノトシテ入レタ方宜シイト思フノデ皆様ノ御意見ヲ伺ヒタウ御座リマス

○二番(東京市) 只今横濱市ノ御話ニヨレバ十「ミリ」ト云フ標準ガ示シテアルヲ實驗上十「ミリ」以上ノモノハナク、常ニ其ズツト以下デアルカラ、イツソ分量ヲ示サズニ異常ノモノトシテ置テ、平生三「ミリ」以下ノ地方ナレバ五「ミリ」ニ成ツタナラハ直チニ異常ト見ヤウト言フノデアリマシヨウガ、若シ横濱市ノ御希望ノ如ク分量ヲ示サン協定法トスレバ何ウ云フ結果ニナルカト云ヘバ、新シキ水道ヲ開設シタ都市アルトスレバ其處ニハ更ニ經驗ノアル筈ハナイ、左スレバ何「ミリ」ガ異常カ何カ更ニ標準ガ分カラナイ、隨テ飲用適否ヲ決スルニ迷フコトニナリハスマイカ、元來此協定法ノ十「ミリ」ト云フノハ從來多數ノ學者ノ經驗ニ依ツテ得タコト、思ハレマス、即チ「フィツセル」氏ハ八「ミリ」トシ、「ライヒハルト」氏ハ二乃至十「ミリ」トシ、「ビー」ノ衛生命令書ニハ二乃至十トシ、「フリッゲ」氏ハ八ヲ制限トシテアリ、協定法ハ之等ニ基ケルモノト思フ、就キマシテハ御参考ニ東京市ノ水質ニ就キ調査シタル過マンガン酸カリウム消費量ヲ紹介シマスレバ即チ多摩川源水ニケ年間八十八回試験成績中過滿俺酸加留謨消費量ハ最高ハ一「リートル」中六・九一五「ミリ」グラムム「夫カラ上水ノ濾過池濾水及ヒ淨水池水質七ケ年間ニ〇・六七三「ミリ」グラム」配水管ノ水質八ケ年間ニ〇・七七一「夫カラ是ハ參考マデ、別ニ關係ハアリマセヌガ、東京市内ノ飲料堀井戸三百九十五個ノ試験ニヨレ

バ二一・三三〇デアリマス乃チ東京市ノ水道ハ源水デモ十「ミリ」ハ踰ヘマセン濾水ハ勿論デアリマス、但タ堀井ダケハ制限ノ十ヲ踰ヘテ居ルノミデアリマス、仍テ自分ノ考デハ別ニ協定法ヲ改ムル必要ハナイ様ニ思ヒマス

○十八番(横濱市) 只今御伺ヲスレバ普通ノ標準ヲ以テ水道水ノ標準トナシタモノト思ヒマス、併シ此水道水ハ通例十ナドト云フモノハ殆ド無イコトデアラウト思ヒマス、外ノモノハ「クロール」ナリ硫酸ナリ一般ノ規定ノ十分ノ一カ或ハ五分ノ一ト云フモノヲ超過シテ居ラス、夫等ヲ矢張り異狀トシテ飲料ニ適セスト云フ場合ガアル、然ルニ過滿俺酸加留謨消費量ニ付テ一番最高ガ取ツテアリマスカラ、外ノモノニ取ツテ非常ニ寛デアルト云フコトニナレバ………若シ水道ノ如キモノニ十「ミリ」グラムニナツタナレハ、大變ニ都合ノ結果ヲ生ジハセヌカ、一例ヲ擧ゲテ云ヘバ或外國ニ於テ水道水ノ中ニ鉛分ガ大變ニ溶解シテ來タコトガアリマス、其溶解シタ原因ヲ調ヘテ見レバ夫ハ、水道水ノ殊ニ軟水ニ有機物が多量デ他ノ固形成分ガ少ナイ時ニハ鉛ヲ解カスト云フコトヲ報告ニナツテ居ル、夫等ノコトヲ考ヘレバ消費量十ト云フコトハ餘リ寛ニ過クルヲ以テ各市ノ狀況ニ應シテ組込ガ出來ルヤウニシタ方便利デハナイカト云フ考ヘカラ提出シタノデアリマス

○五十六番(朝鮮總督府) 此十「ミリ」グラムハ實際ニ於テ餘リ寛デアルヤウニ考ヘマスケレドモ、然シ數ヲ示スコトハ必要ナルモノデアリマス、ナゼカト云ヘバ一方ニ於テハ五「ミリ」グラム一方ニハ六「ミリ」グラムアル時ハ何レカ飲料不適ニナレバ御互ニ異ツタ結果ガ起ツテ來ル、夫デ若シ改良スルナレバ一定ノ數ヲ示シ

テ夫ニ依テ判定シタナレバ何ウデアリマスカ

○二番(東京市) 只今横濱市ノ御説明ノ追加ヲ聽イテ御趣意ノアル所ガ判リマシタ、十「ミリグラム」ハ寛デアルデモウ少シク嚴格ニ低キ數ニ極メテ置カウト云フコトニナリマスガ、其最高數ハ各地ニヨリテ一様ナリマセンカラ幾ラト極メルノガ次ノ問題ニナリマス、東京市ハ〇・六ガ極度デアリマスガ如何デアリマシヨウ、私ガ先刻來申シタ通り之ヲ元ノ通りノ儘ニ致シタイト云フ趣意デアリマスカラ只今ノ所デハ此儘デハ御賛成致シ兼スルト申上タノデアリマス

○十八番(横濱市) 私等ノ方ノ判定上ノ異狀ト認ムル情態ハ他ノ御方ノ方トハ何レモ趣キヲ異ニシテ居ルヤウニ思フデ御參考マデニ申上ゲテ置キマスガ、詰リ水ノ標準ト云フモノハ一般ニ知レ渡ツタコトハ學術上ニアリマスケレ共、私共ノ多年ノ經驗ニ依テ見レバ臭味ニハ異狀無ク反應ガ「アルカリ」性、夫カラ硫酸ガ痕跡硝酸、亞硝酸ハ毫モ含有セズ硬度ハ二・五度以下夫カラ細菌聚落數ガ百一ヲ以テ實ハ行ツテ居リマス、唯ダ過「マンガン酸カリ」ノ消費量ガ十「ミリ」ト云フコトガ記載シテアリマスガ、是ハ少シク緩ニ過キバセンカト思ヒマス、故ニ各市ニ於テ適宜ニ御斟酌ニナルヤウニシタ方が大變ニ好都合デアラウト思ヒマス

○議長(中山助役) 詰リ此問題ハ可否ト云フコトデアリマスカラ、御説ガ二ツニ岐レル以上ハ起立ニテモ問ハネバナラント思ヒマスガ

○九番(京都市) 色々議論ガ出タヤウデアリマスガ、此問題ニ就テハ私ノ方デモ前カラ考ヘタコトガアリマシテ實際淨水ニ於テ十「ミリグラム」ハ殆ンド見得ベカラザルコトデアリマシテ、何レノ地モ十「ミリグラム」

ハ稀ニ見ル所デアリマス、然ウシテ普通一般ニ出テ居ル十「ミリグラム」ハ普通水ノ淨水デハ今少シク嚴確ニシタ方ガ宜シイデアラウト考ヘテ居リマス、故ニ此問題ハ研究題トシテ各市ノ源水及ビ濾過水ノ成績ニヨリ其中間ヲ取ツテ其量ヲ極メルト云フコトニシタ方ガ宜イデハナイカト思ヒマス

○二十五番(長崎市) 各市ノ水源ノ状態ニ依テ消費量ガ違フカラ其平均量ヲ寄セテ十トアルノヲ五ナリ三ナリニ下ゲヤウト云フコトデアアルヤウデアリマスガ、夫ハ夫トシテ私ノ希望トシテハ横濱市ノ云ハレタ如クニ異狀トシテ置ケバ此後出來タ水道等ニ大イニ融通ガ利イテ便利カト思ヒマスカラ、横濱市ニ賛成致シマス

○十三番(大坂市) 宿題ニ賛成ヲ致シマス

○議長(中山助役) 研究シタイデ宿題ト云フコトデアリマスガ

(「異議無シ」ト呼ブ者アリ)

御異議ガ無クレバ宿題ニ致シマス

○議長(中山助役) 此場合一寸休憩ニ致シマス

午後三時休憩

午後三時二十分開議

○議長(中山助役) 引續イテ開會致シマス、是カラハ昨日日本日ニ延バシテ置キマシタ、即チ前回ノ問題デ今同報告セラルベキ分ノ第一ニ属スル紫外光線ノ件ニ就テ横濱市カラ御報告ニナリマスルノヲ承リタウ御座イマス

(可報) 「ウルトラウ井オレット」光線淨水殺菌力ノ價值如何 (東京市)

○十八番(横濱市) 此紫外光線ヲ應用シマシタ淨水殺菌ニ就テハ昨日申シマシタ如クニ、實物ヲ御覽ニ供スル方ガ能ク分リマスルケレモ、何シロ毀レ易イデ彼處ニ實物代用ノモノヲ持ツテ來マシタデ、夫レヲ御覽ヲ願ヒタイ、此方カラ御調ベヲ願ハレテ陸軍省カラ廻ツテ居ル御調ベノ一番終ヒノ二頁ノ所ノ下ノ方ニ圖面ガアリマスガ、詰リ彼レガ彼處ニ掲ゲテ御座リマスカラ、夫レヲ御覽下サイ、夫デ私ハ實際ニ扱ヒマシタ丈ケノ極ク小サイ範圍ニ於テ御話ヲスルノデ全体ニ就テ申スノデハアリマセヌ、先ヅ水銀石英燈カラ出ル所ノ紫外光線ニハ非常ニ強イ殺菌作用ガアルト云フコトガ分リマシタカラニ、夫ヲ蒸氣法ニ應用シテ然ウシテ淨水殺菌ノ目的ニ使ツタ装置ハ二タ通アルヤウデアリマス、第一ハ肝要ナル水銀石英燈ガ水ノ中ニアル、第二ニ水ノ上ニアルノト此二通りニ分ケルコトガ出來マス、水ノ中ニアルノハ「ノヂール」式ト云ツテ其光線ガ皆水ノ全部ニ働ク、光線ヲ利用スルト云フ方法ニハ優ツテ居ルヤウデアリマスガ、乍併水ノ中ニ這入ル爲メ水ノ冷却ニ逢ヒ多少ノ影響ヲ受ケル、夫レノミナラズ此「ランプ」カラ溫熱ヲ發スルト水ガ溫メラレテ蒸發スル、然ウシテ固形物ガ燈ノ周圍ニ出來テ光線ヲ放ツテモ周圍ニ出來タモノデ効力ヲ妨ゲルト云フ欠点ガアルヤウデアリマス、之等ノ欠点ガ無イモノハ彼處ニアルモノデアリマス、之ハ「ウエスチング、ハウス、ターバー、ヘウ井ット」ト云フ會社カラ發賣シテ居ルモノデアリマス、其内ニA B Cト三ツノ型ガアルヤウデアリマス、其内ノB型ノモノデ彼處ニアル器ニ就テ寸法ヲ云ハバ先ヅ内外共ニ白イ珪瑯ヲ引キタル鐵製ノ圓筒形ヨリ成リ徑が大凡二十四仙迷高サガ四十仙迷ト云フ割合デアリマス、夫カラ其器ノ中ニハ丁度圖面ニ御座リマス通りニ圓

錐器ガアル、矢張り珪瑯ヲ引キマシタ鐵板ノ圓錐器ガ二重ニ這入ツテ居リマス……ハ底カラ取出シテ居リマス、其圓錐器ノ筒ノ中ニ一本ノ棒ガアツテ夫カラ水ガ流レテ居ルコトニナツテ居リマス、水ハ下ノ側面カラ這入ル、然ウスレバ圓錐器ノ周圍ヲ廻流シテ然ウシテ水ガ中ニ流レテ行キマス、然ウシテ中ノ圓錐器ヲ又廻ツテ然ウシテ其下ノ方カラ一番内部ニ這入ツテ然ウシテ水ノ流レテ居ル管ノ所ヲ明ケテ然ウシテ流レテ行クト云フ装置ニナツテ居リマス、夫レカラ此石英水銀燈ハ丁度水面カラ十仙迷許リ上ノ所ニ掛ケテアル其上ニ蓋ガアル、其蓋ニ二ヶ所ツリ下ゲル所ガアツテ、其上ニ金屬デ拵ヘタ棒ガ出テ居リマシテ、夫ヲ下ニ挽ケバ水銀燈ガ傾斜ヲスルト云フ譯デアアル、之ハ何ウ云フ譯デ斯ウ云フコトニナツテ居ルカト云ヘバ其「ランプ」ノ形ガ丁度中高ナ形ニナツテ居ル石英水銀燈ト云フモノデ其兩端ニ電氣ノ極ガ有ツテ其極ニ水銀ガ這入ツテ居ルカラ此上ノ鑽ノツイテ居ル横ニ這入ツテ居ル棒ヲ挽ケバ水銀ノ「ランプ」ガ倒ニナツテ水銀ガ一方ニ流レルト同時ニ其處ヲ電流ガ通ル、夫ヲ元ニ戻セバ又水銀ガ切レテ仕舞ウト云フ構造ニナツテ居リマス、夫カラ使用法ハ只今申上ゲマシタ如クニ最モ簡短デ御座リマシテ、唯ダ使フ時分ニハ電氣ヲ避ケベキヤウニシテ然シテ鑽ヲ引キマシテ、水銀ヲ一方カラ一方ニ連絡サセバ直グ其所ニ電氣ガ來テ火ガ附キマス、一旦火ガ附ケバ夫ヲ放シテモ一方ノ水銀ノ方カラ一方ノ水銀ノ方ニ水銀蒸氣ガ電氣ヲ導イテソレガ即チ紫外光線ヲ發射スルト云フコトニナリマス、故ニ用井方ハ極メテ簡短デアリマス、夫ヲ据附ケタモノヲ寫眞ニ取ツテ居リマシガ、夫ハ後カラ御覽下サレバ分リマス、其上御分リニナラス点ハ御尋ネニナレバ満足ヲ致シマス、夫レカラ此費用デアリマスガ、費用ハ何ノ位掛ルカト云フコトニ就テノ計算ヲ見ルニ一時間ニ費消スル電力ハ平均ガ

○四一二五大略○四「キロワット」ニ當ルヤウデアリマス、此計算ハ何ウ云フ所カラ出タカト云フト此器械ニハ大中小トアツテ此検査ハ中デアリマスガ電壓ガ百十「ボルト」デ若シ之ヨリ大キナ器械デアレバ二百二十「ボルト」ニ仕切レルヤウニナツテ居リマスガ……其處デ之ヲ使ヘバ「アンペア」ガ三・乃至四ト云フモノガ出ル、然ウ云フ風ニ電力ヲ備ヘテ居リマスカラ、然ウシテ火ガ附キマシテ約十分位置ケバ丁度電壓ガ約七十「ボルト」位ニナツテ「アンペア」ガ四乃至三・五ヲ昇降スル様ニナル其時分ガ一番此殺菌ノ力ヲ逞フスル時デアリマス、夫レカラ水栓ヲ開ヒテ置ク、其水流ノ速度ハ一時間ニ六百「リター」ト云フ見當デアリマスガ其一時間六百「リター」ノ割合デ使ヘバ横濱デハ電力ガ「キロワット」ガ拾貳錢ノ割合デアリマス、故ニ○四「キロ」弱ハ丁度其十二ニ四ヲ乗ケレバ五錢許リデアリマス、之ハ大体六百「リター」ノ水量ヲ用ヒタ計算ト同様デアリマス、夫カラ此効力ガ如何ナルモノデアルカ、果シテ學者ノ云フガ如クニ有効チモノデアルカ何ウカト云フコトニ就テハ未ダ試験中デ具体的ニ申スコトハ出來マセヌケレバ、先ヅ私共ノ水道ニ於テ通例細菌ノ數ガ「十」トカ或ハ「二十」以下ガ普通デアリマシテ、私ノ試験ヲシタ場合ハ夏デアアルカラ折節絶水ガアリマシタ、其爲メニ直接ニ水栓ヲ使フ譯ニ行カヌノデ「タンク」ノ水ヲ使用致シマシタ、夫ヲ使用スレバ細菌ガ多イ場合ガアル、其場合ニモ無論百以下デアルト云フコトハ斷言ガ出來マス、細菌百個以下ノ水道水ニ就テ十何回試験ヲ致シマシタ、其試験ヲスル速力ハ一時間約六百「リター」次ニ五百「リター」ト云フ風ニ順序ヲ立テ、致シマシタ、ソコデ六百「リター」ハ幾許行ツテモ全く無菌ニナルト云フコトハ無カッタ、乍併一時間ガ五百「リター」ニ於テハ全く無菌ニナル場合モアリ又極ク少イ數ニ減ジタモノモ出來マシタ、先ヅ

之ヲ以テ見レバ尤モ此試験ハ唯ダ其水道ヲ使ツテ然ウシテ此平板培養ト増菌ノ二ツノ方法デ試験シタ結果デアリマシテ、夫ヨリ進ンデ大腸菌トカ其他枯草菌ハ枯レ草ニ居ルモノデ大變ニ抵抗力ノ強イモノデアルカラ、是等モ皆行ル積リデ夫々準備ハ致シテ居リマスケレ共、未ダ試験ガ進ミマセヌ、兎ニ角水道ノ水ヲ殺菌ヲスルニハ煮沸シタ水ト酷イ差ガ無イト云フヤウナ結果ヲ見タノデアリマス、尤モ御參考マデニ申シ上ゲマスガ水ヲ煮沸スルノデモ二十分ヤ三十分デハ煮沸ハ出來ヌノデアリマシテ矢張り少々位煮沸シテモ全く無菌ニナルト云フコトハ中々困難デアリマス、夫レデ此紫外光線應用ニヨル水ノ殺菌効力ニ付テハ先ヅ煮沸ヲスルト同シ位カ又ハ夫ニ亞グ位ノ効力ハアルヤウデアリマス、先ヅ大略其位デ御座リマス

○議長(中山助役) 此問題ハ如何デ御座リマシヤウカ、矢張り決定スルト云フ問題デハアリマセヌガ、尙ホ研究題トシテ各市御研究ノ結果ヲ御報告ニナルト云フコトニシテハ如何デアリマスカ

(「異議無シ」ト呼ブ者アリ)

御異議ガ無クンバ研究題ノ内ニ加ヘテ置キマス

○議長(中山助役) 然ウスレバ又元ニ戻リマシテ、新問題ノ第十六ニ移リマス、横濱市御提出ノ分

(新)十六 上水中ニ不純物混入ノ實例 (横濱市)

○十八番(横濱市) 是ハ水質試験ヲスル上ニ於テ斯ウ云フコトヲ承ツテ置ケバ大變ニ參考ニナルガト思ツテ實ハ各市ノ御實例ヲ承リタイト思ツテ提出ヲ致シタノデアリマス、夫ニ就テ御參考マデニ私ノ方ノ實例ヲ云ヘバ昨年七月カラ本年ノ六月ニ至ル一ケ年間ニ於テ何ウ云フ實例ガアツタカト云フコトヲ申上ゲマスガ、第

一ハ水が濁ツテ濾過ノ不完全デアルト云フヤウナ外觀ヲ呈シタコトガアリマシタ、夫カラ第二ニハ「クロール」トカ……ノ固形物が……ノ証據ガ充分ニアル、夫カラ第三ニハ濁ツテ居リ或ハ……アリナガラ細菌數ガ百以上アリマシテ、是ハ何ウモ不完全デ或ハ不純物ノ混入デアルト認メタコトガアリマス、此内ノ第一ノハ調べマシタ結果粘土デアアル、決シテ細菌ヤ其外ノ不潔物カラ來タモノデ無イ、粘土デアツテ別段然ウ差支モ無イト云フコトデアアル、第二ノ場合ニ於テモ原因ヲ調べタ所ガ是ハ水栓カラ直接ニ水ヲ排出シタモノデナイノデ夏絶水中ニ於テ屋外ニ設ケラレテ居ル……水槽ガアツテ夫ニ貯ヘテアル水ヲ參考ノ爲ニ行ツタ試験ノ結果ハ「コロール」ガ多ク又固形物ガ多イ、斯ウ云フ結果ヲ示シテ居ツタケレバ段々克ク調べテ見レバ脇ニ井戸水ガアツテ絶水ノ爲ニ水ガ足ラヌデ其井戸水ヲ半バ以上混淆シタモノデアルト云フ話デアリマシタ、夫カラ第三ノ場合ニハ或ル學校ノ附近ニ……其處ノ所ニ於テ細菌數百個以上ヲ度々見出シタコトガアル、夫デ是ハ外觀ハ……或ハ……シテ居ツタコトモアリマシタガ、之ハ何ウ云フ譯デアアルカト云フコトヲ頻リニ伺ヒマスケレ共、詰リ其間ニ一二回鉄管工事ガアツタト云フコトヲ聽キマシタカラ、或ハ其時ニ土ノヤウナモノガアツタトモ思ヒマス、併シ其頃ハ學校ガ休ミデアツテ飲料ニハ差支ハ生ジマセナシタガ夫カラ細菌ガ百個許リデ無クシテ其細菌ハ一種特別デアツテ其「コロニー」ノ形狀ガ一種異ツテ居ル、其「コロニー」ガ源水ニハ無イ、其處ノ「コロニー」許リガ形狀ガ異ツテ居ル、夫デ……尤モ細菌ハ獨逸ニ於テモ……別段ニ有害ナモノデ無イト云フコトハ信ジテ居リマスケレバ、何ウ云フ譯デ斯ウ云フ細菌ガアツタカマ云フコトハ今以テ取調べ中デアリマス、是等ガ不純物混入ノ一例ト考ヘマスガ、モウ一ツハ昨年此源水ノ

方ニ濁リヲ生ジタ時分ニハ從ツテ濾過水ニ於テモ濁リヲ免レナシタノデアアル、其際リニハ細菌ノ數ニ就テハ何等變リモ無カツタ、所ガ本年ノ七月ニ濁リヲ生ジタ時ハ昨年ト趣キヲ異ニシテ源水ガ濁ツタ許リデ無クシテ濾水ニモ免レナシタ、然ウシテ其上ニ細菌ガ百個以上アツタ、夫ノミナラズ過滿俺酸加留護ノ消費量ガ五以上アツタ、先刻申シタ如クニ私ノ方ノ過滿俺酸加留護ノ消費量ハ……デアアル、然ルニ本年ハ過滿俺酸加留護ノ消費量ガ五以上ト云フ結果ヲ示シテ居ル、是ハ何ウ云フ譯デアツタカ只今検査中デアアルカラ申上ゲ難ク御座リマスガ、何ウカ各市ノ是迄ノ御實驗ヲ承リタウ御座リマス

○議長(中山助役) 是ハ尙ホ研究シテ是非實例ヲ得タイ御考ヘデアリマスカ

○十八番(横濱市) 成ルベク然ウ云フ希望デアリマス

○議長(中山助役) 成ルベク試験ノ御報告ヲ得タイト云フノデアリマスカラ、之モ宿題ニシテ明年御報告ヲ願ヒタイ

○議長(中山助役) 次ハ第十七、横濱市ノ御提出デアリマス

(新)十七

河水ヲ利用セル水道ニ在リテハ其水源地附近ニ於テ鑛業ノ振興ニ伴ヒ水質汚染ノ虞ナキニ非ザルニ依リ適當ナル之ガ豫防ノ方法ヲ講ズルノ必要アラザル乎 (横濱市)

○十八番(横濱市) 此問題ハ未ダ實地ニ斯ウ云フ場合ガ現レテ來テ夫ヲ實地ノ試験ノ結果ガ何ウデアツタト云フコトハ實験ハ致シマセスケレ共、斯ウ云フコトニ就テ各市ニ於カレテハ如何デ御座リマシヤウカ、御意見ヲ伺ツテ置キマスルレバ大變ニ參考ニナルト思ヒマス

○四番(東京市) 私ノ方ニハ此水源地ニ於キマシテ、砂金ノ採取、夫カラ硝石ノ試掘願其他鑛業ニ属スル色々ナ出願ガアリマシタ、夫ニ就キマシテハ鑛山監督署及水源地所在地ノ府縣知事ニ向ツテ成ルベクス様ナクハセヌ様ニ絶對ニ鑛山ノ試掘願トカ或ハ採金等ノ如キハ、許可セヌ方針ヲ執ツテ貫ヒタイト云フコトヲ豫メ申請シテ置キマシテ、夫ガ爲ニ鑛山監督署ノ方へ試掘願ガ出マスレバ、一應其願書ヲ東京市ノ方へ廻シマシテ、然ウシテ此場所デ斯ウ云フ願ヒガ出タガ、東京市ノ意見ハ何ウデアルカト云フコトヲ尋ネテ居ラレルト云フ取扱ヒニナツテ居リマス、私ノ方デハ絶對ニ如何ナル方法ニ依テモ亦如何ナル事柄ニ依ツテモ許可セヌコトニシテ貫ヒタイト云フコトヲ一々回答シテ居リマス、夫ガ爲ニ豫メ申請ヲセヌ先キニ許サレタコトハアリマスケレ共、其後ニ於テハ會テ許可サレタコトハ御座リマセヌ、然ウ云フコトニナツテ居リマスカラ、別段ニ豫防方法ト云フコトハアリマセヌガ、唯ダ然ウ云フ手續キヲ運ンデ居ツテ許可ヲセヌヤウニト云フコト丈ケニナツテ居ルカラ從テ事實ノ上ニ於テ許可サレヌコトニナツテ居リマス

○二十一番(神戸市) 此問題ハ曩ニ委員附託ノ時ニ少シク述べマシタノデアリマスカ、今四番カラ御述べニナリマシタコトハ、何レノ地方デモ行ハレルカ行ハレヌカ即チ絶對ニ禁ズルコトガ出來ルカ出來ナイカト云フコトハ多少ノ問題デハナカラウカト思ヒマス、夫デ或ル程度マデハ何ウシテモ水質ヲ汚染サレヌ丈ケノ規程ハセネバナラント思ヒマス、之ハ隨分有要ナコトデアラウカト思ヒマスカラ、委員附託ノ一ツニ合シテ研究シタイコトヲ希望致シマス

○議長(中山助役) 委員ハ何レノ委員デアリマスカ

○二十一番(神戸市) 前回ニ於テ委員附託ノ分ノ水源選定云々ト云フノハ宿題ニナツテ居リマス、之ト合セテモ宜シイカ知ラント思ヒマス

○議長(中山助役) 彼ノ委員へ附託ヲスルノデアリマスカ

○二十一番(神戸市) 左様デアリマス

○議長(中山助役) 神戸市ヨリ委員附託ノ御意見ガ出マシタガ、如何デアリマスカ、御異議ガ無クンバ前委員ニ附託スルコトニ決シマス

○議長(中山助役) 次ハ第十八ニ移リマス、神戸市御提出ノ分デアリマス

(新)十八 給水設備修繕費ノ徴收ヲ強制シ得ル規程ヲ水道條例ニ加ヘラレンコトヲ其筋へ建議スルノ可否 (神戸市)

○二十一番(神戸市) 此給水ノ設備修繕費ノ徴收デ御座リマスカ、全体給水設備修繕ノ場合ハ水道條例第十條、十三條ノ規定ニ依ラネバナランコトニ承知シテ居ルノデ御座リマシテ、此規定ニ依レバ強制處分所謂滯納處分ヲスルコトハ出來ヌコトデアラウト思ツテ居リマス、乍去此規定ニ依テ滯納處分ヲスルコトガ出來ネバ何ウモ修繕ノ義務ヲ履行シナイト云フコトニナツテ市ノ營造物ノ管理ニ影響スルノデアリマス、之ヲ市費デ行ツテ其費用ヲ徴收スルニ應ゼネバ義務ヲ履行セヌト云フコトニナルダラウト思ヒマス、故ニ之ハ矢張り滯納處分ガ出來ベキ方デハナイカト思ヒマスカ、然ルニ今ノ所デハ何ウモ出來兼ネルヤウニ思ヒマス、依テ然ウ云フコトヲ何カ條例ノ内ニデモ規定シテ貫ツタナレバ出來得ベキコトデハナイカト思ヒマス、夫デ諸

君ノ御意見ヲ承ツテ其筋ニ建議ヲ致シタイト思ツテ本問題ヲ提出シタノデアリマス

○四十番(廣島市) 私ノ方ニモ本問題ニ就テハ從來カラ甚タ苦ンデ居リマス、御承知ノ通りニ公課デ御座リマセスカラ、國稅滯納處分法ノ例ニ依テ整理スルト云フコトモ出來ヌ、故ニ此際政府ニ建議シテ是ガ強制方法ヲ講シテ貰フト云フコトハ實ニ時宜ニ適シタ必要ナ問題デアリマス、尤モ此原案デハ水道條例ニ加ヘラレシコトヲ建議シタイト云フコトニナツテ居リマスガ、此事タル水道條例ニ掲ゲルガ適當ナモノデアルカ、若クハ市制町村制ノ上ニ掲ゲルガ至當デアルカ、又ハ其他ノ法律デ規定サレルガ相當デアルカ、其邊ニ就テハ考ヘニ苦ンデ居リマスルデ、兎ニ角實際各市願フ所ノ趣意ヲ具シテ政府ニ建議シテ、政府ガ御採用ニナリマシタ上ハ何カ相當ナ形式ヲ以テ發布ニナラウト思ヒマスルデ、此方カラハ別ニ注文ヲシナイデ、單ニ強制法ヲ設ケテ貰フト云フコトヲ御建議ニナリマシテハ如何デ御座リマシヤウカ、全然原案ニ賛成ヲシマスルト同時ニ一言希望ヲ述ベテ置キマス

○二十一番(神戸市) 私ノ方デハ唯ダ修繕諸費ノ滯納處分ガ出來レバ結構デ必ラズ水道條例ニ加ヘテ貰ハネバナラント云フ趣意デハナイノデアリマス、要スルニ修繕費ノ滯納處分ガ出來ルヤウニト云フコトガ骨子ニナツテ居ルノデアリマス

○二十三番(長崎市) 本問題ハ整理ノ上カラ云ヘバ政府ニ向ツテ強制執行ノ出來ルマデノ權能ヲ與ヘテ貰フコトハ必要デアルト思フノデアアル、乍併此建議ヲシテモ到底其建議ガ容ラレルト云フコトハ覺東ナイト自分ハ信スルノデアアル、是丈クハ遺憾ナガラ從前ノ取扱ヒニ依ルヨリ仕様ガナイト思ヒマス

○七十番(岡山市) 是迄協議會ノ議事録ヲ調べテ見レバ工事ノ事務上ノコトハ多ク其會ニ於テ議了セラレテ餘リ研究題トカ宿題ト云フコトニナツテ居リマセヌガ、實ハ此給水設備費若クハ修繕費ノ如キハ是迄ノ協議會ノ時ノ問題ニ出マシタノデハ、矢張り公課ナドト同視スルコトハ出來ズシテ、私法的ノ關係ノモノ、ヤウニナツテ居ルヤウデアリマスガ、私ハ之ニ疑ヲ有ツテ居ル、何ウモ現行ノ水道條例ノ上彼ノ各戸ノ給水管ハ市町村ノ定ムル所ニ依テ云々トアル、其修繕ヲ怠ルトキハ市町村ガ之ヲ行ツテ其費用ヲ徵收スルト云フコトガ現行條例ニアリハセヌカト思フ、然ウスレバ給水條例ノ上デ市町村ガ定メタ所ニ依テ給水ノ設備費ヲ納メネバナラス、又修繕ハ市町村ガ行フタナレバ其費用ノ徵收ガ出來ルトアツタ以上ハ即チ公法的ノ關係ニナツテハ居リマセヌカ、左スレバ市稅許リデナクとも市制ノ上デ使用料手数料學校授業料等ガ公課トシテ滯納處分ガ出來ルト同様デ特別ナ規定又ハ條例ノ改正等ハ無クとも是ハ當然行ハレルコトデハ無イカト云フ考ヲ以テ研究シテ見タイト思ツテ居リマスガ、實ハ甚ダ不親切ナヤウデアリマシタケレ共、色々多忙ナリシ爲ニ傍例等ヲ充分ニ未ダ調べル暇ガナカツタノデアリマス、段々御意見ヲ拜聽シテ見レバ從來ノ通りデアリマスガ、是ハモウ少シ研究ヲシテ見レバ公法的收入ト見テ強徵スルコトガ出來ハセヌカト思フノデアリマス、故ニ今申シマシタ通りニ之ニ類似ノ事務問題ハ未ダ曾テ宿題トナツテ殘サレタコトハナイケレ共、此モノニ限ツテ宿題ニシタイト思ヒマス

○十七番(横濱市) 只今七十番デ御座リマシタカ詰リ公法的ニ依テモ徵收出來ナイコトハナイト云フ御説デアリマシタガ、之ハ先ヅ以テ公法的ノ收入ト云レルカ、何ウシテモ私法的ノ關係ヲ離レルコトガ出來ナイモ

ノデアカト云フノガ先決問題デアラウカト思ヒマス、工費即チ設備費其コトハ、何ウ見テモ商事ニ關係ノヤウニ思ハレルコトハ既ニ提出者ノ御説明ニモアツタヤウデアリマス、一体公法上ノ收入ト云ヒ得ルト云フコトニ就テハ多少其處ニ具備スル條件ガ備ラヌデハ何ウカト云フ考ヘヲ有ツテ居リマス、此修繕費ノ如キハ到底一定シテ幾許徴收スルト云フコトヲ極メテ豫メ組ムコトハ困難ナコトデアラウト思ヒマス、然ウ云フコトヲ豫メ極メテ強制シテ行ルト云フコトニハ何ウモ箝ラナイカノヤウニ思ヒマス、尤モ神戸市ノ御話ニモアリマシタ通りニ、修繕ヲ怠ル場合ニハ市ノ營造物ニ影響シテ來ルカラ是ハ私等ノ方デモ大イニ困ツテ居ルノデアリマスケレ共、何ウモ自分ノ意見トシテハ建議スル丈ケノ價値ガナカラウカト思ヒマス、假ニ建議ヲ致シタ所デ政府ノ關門ヲ通ルコトハ六ケ敷シカラウカト思ツテ居リマス、故ニ之ハ御見合セニナツタ方ガ宜イデハナイカト云フ考ヘヲ有ツテ居リマス

○四十番(廣島市) 只今岡山市ヨリ御陳述ガ御座リマシタヤウニ、公課ト云フコトニナレバ甚ダ處置ハ見易イコトデアリマスルデ結構デ御座リマスガ、私共ノ見解デハ之ハ公課デハナイト認メテ居リマス、故ニ相當ナ法律ヲ設ケテ貰フト云フコトヲ建議スルト云フコトハ必要ト認メテ居リマス、乍併之ハ法律ノ見解デ御座リマスルデ、何ウモ何レガ適當デ御座リマスカ容易ニ決セナイコトデアラウト存ジマスルデ、岡山市ヨリ陳述サレマシタ通りニ、本問題ハ宿題トシテ充分ニ研究スルト云フコトハ至極宜カラウト思ヒマスルデ御同意ヲ致シマス

○四十五番(下關市) 大体ハ七十番ノ御話ニ賛成デ御座リマスガ、實ハ私ノ方ニ於キマシテモ七十番ノ御述ベニナリマシタヤウナ見解ヲ以テ居ルノデ御座リマス、乍併二十一番ナリ四十番ナゾノ御説ノ如クニ公法私法ノ關係ニ就テモ無論疑義ハ御座リマスガ、私ノ方ノ扱ヒトシテハ四十番ノ如キ考ヘヲ以テ扱ツテ居リマス、又事實ノ上ニ就テハ修繕費ハ今日マデハ強制處分ヲ要スルコトハ幸ニ無イデ之ヲ適用スルコトハ一回モアリマセヌ

○議長(中山助役) 宿題ニ段々御賛成ガアリマスガ、御異議ガ無クンバ宿題ニシテ差支ハアリマセヌカ
(「賛成」ト呼ブ者アリ)

然レバ宿題ニ決定致シマス、今日ハ既ニ四時ヲ經過致シマスルデ、是デ閉會致シマス、明日ハ成ルベク早く御出席下サルヤウニ御願ヒ致シマス

午後四時十分散會

大正元年十月卅一日(木曜日)

午前九時十五分開會

○議長(中山助役) 昨日ニ引續イテ開會致シマス、本日ハ初メニ委員附托ニナツテ居リマス、前回ノ問題デ今回報告セラレベキ分ノ第五ト第六ニ就テ報告ガ出マサルサウデ御座リマスカラ……………

(可報)五 各市給水用具ノ名稱ヲ一定ニスルコト (東京市)

(可報)六 各種水管及附属品形狀寸法等ヲ各市一定スルノ可否 (大坂市)

(右二問題ニ對シ費用支出各製造者ニ交渉ノ顛末報告)

○五十八番(台灣總督府) 此鉄管製造ノ事項其他ニ關シテ工學會ニ委托スルニ就テ先日東京市カラ報告ガ御座リマシタ、其報告ニ依レバ製造者ニ於テ、工學會ノ豫算ヲ致シマシタ所ノ金額支出等ニ就テハ、此際大部ノ支出ハ少シク都合ガアツテ出來難ナイ、故ニ尙ホ此協議會ノ方ヘモ相談ヲ致シタイト云フ意味デ御座イマシタ、是ニ就テ吾々委員ニ於テハ昨日此關西地方ニ於ケル所ノ製造者ト始終協議ヲ致シマシタ、其地方ニ於ケル製造業者ノ話ニ依レバ詰リ東京ト此地方ニ於ケル所ノ製造業者ノ間ニ於テ色々書面ヲ以テ往復シタ結果其間ニ於テ未ダ意志ノ疎通シテ居ラス所モアリマシタ、夫デ色々話ヲシタ所ガ幸ニ然ウ云フ方デアツタナレバ寧ロ製造業者ニ於テモ一日モ早く此鉄管ノ標準ヲ一定シ得ルコトノ出來ルコトヲ望ム、又此製造ニ就テ始終困難ヲシテ居ルデ吾々協議會ガ考ヘテ居ルヤウナコトデアルナレバ一日モ早く進行スルヤウニシテ貫ヒタイト云フコトデアアル、此前ニ意志ノ疎通ヲ欠イデ居ツタ傾キガアリマスガ、吾々ノ趣意ニ就テ話モシ又向フ製造者ノ話ヲ聽イタ結果、更ニ此工學會デ豫算ヲシタ金ニ就テハ全部製造業者ヨリ支出スルコトニナリマシタ、併シ前ノ關係モアルデ更ニ其事柄ヲ東京ノ製造業者ニ移牒シテ其東京ノ製造業者カラ東京市ノ方ヘ申上ゲルト云フコトニナリマシタ、尙ホ是ニ就テ協議ヲ致シタ所ガ鉄管製造ニ於ケル其形狀等ニ關シテ二三ノ点ニ就テ製造業者ガ今日ノ標準ニ就テハ斯々ニシテ貫ヒタイト云フ申出モアリマシタ、其申出ニ就テハ吾々モ全部ト云フコトデハ無イガ、其内ノ或ル部分ニ就テハ尤デアルト云フ考ヲ有ツタ次第デアリマス、何レ其製造業者ニ於テモ夫ニ關スル圖面其他仕様ニ就テハ利便ヲ期スルコトデモアリ、其事柄タルヤ理窟一片ヲ以テ此問題ヲ本會ガ極メル譯デハナイガ、其要点ニ就テハ製造業者ノ云フコトモ多少參考ニ資スルコトガアル

ダラウト考ヘマス、斯ウ云フコトデ數年來宿題デアツタ所ノ鉄管ノ標準ハ工學會ニ於テ向フ約一年間ノ期間ヲ以テ出來ルサウデアリマスカラ、此次ノ會ニ於テハ工學會ニ於テ調査セラレタ標準ノコトニ就テ御話ガ出來ル次第デアラウト信ジマス、是ハ委員ニ於ケル交渉ノ結果ノ概略ヲ申上ゲタ次第デアリマス

○議長(中山助役) 只今ノ御報告ニ依テ第五第六ハ矢張り宿題トシテ更ニ御協議スルコトニ決シマス

○議長(中山助役) 昨日ニ引續イテ新問題ノ第十九カラ……………

(新)十九 給水原簿ヲカート式ニ依ル可否 (神戸市)

○二十一番(神戸市) 給水原簿ヲカート式ニ依ル可否トアルノハ給水ノ徴收簿ヲ云フデアツテ、夫デ使用料即チ水料ノ徴收簿ニ就テ多年不便ヲ感ジテ色々研究ヲ致シマシタガ、何ウモ普通ノ帳簿式デハ意ノ如クナリマセス、夫デ此カート式ノ記帳法ト云フモノハ新シキ問題デハナイノデ大分前カラ出來テ居ルノデアリマスガ、何ウモ之ガ十分ニ普及シテ居ラズ其利用ヲ知ラナイモノ、頭ニハ解ラヌノデアリマス、之ガマア第一番ニ心配シテ居ツタ所デアリマシタ、所デ昨年來何ントモウ少シク徴收簿ヲ改正シタイト云フ所カラカート式ヲ研究シテ見タイト云フコトヲ考ヘマシテ、此カート式ハ郵便ノ貯金管理局デ専ラ使フテ居ルコトヲ承知シテ居リマスガ、其管理局ニ就テ實地ヲ克ク見セテ貫ヒマシタ、所ガ何ウモ此方ノ考ヘトハ悉ルデ異ツテ居リマシテ、私ガ見セテ貫フタノハ東京ト大坂ノ郵便管理局デアリマシタガ、之ハ何レモ五百枚以上ノカートヲ日々動かシテ居ル、夫デ開始以來未ダ一枚モ紛失シタコトハ無イト云フコトデアアル、之ハ取扱ヒニモ依リマシヤウガ、相當ナ注意ヲ拂フタナレバ決シテ紛失スルコトハ斷ジテナイト云フコトデアツタノデ、大ニ私

ノ方モカート式ニ就テ賛成ヲシタノデアル、夫デ其取扱ニ就テモ委シク聽キ又意見モ聽イタノデアリマスガ、是ニ依レバ徴收上或ハ統計上ノ便利ハ如何ニモ便利テアル、尙ホ神戸アタリノ如クニ未納者ガ多イ所ハ最モ便利デアル、從來ノ帳簿デアレバ未納者ヲ調べルニハ一々調べネバナラス、所ガカート式デアレバ既納者ト未納者ハ別ニナツテ居ルデ直グ分リマス、其外給水ノ種別ニ就テ統計ヲスルコトデモ餘程便利ニ行クノデアリマス、是ガ確實ニ行ツタナレバ頗ル輕便デアルヤウニ感じタノデ神戸デモ明年度カラ左様ニ仕様ト考ヘテ居リマス、夫デ水道ノ方デモ之ヲ使用サレテ居ル所ガアルヤウデアリマスカラ、此カート式ニ就テ是マデ御經驗ノアル所デハ之ガ便不便或ハ御注意ノ点ヲ委シク拜聽シタイト思ツテ此問題ヲ提出シタノデアリマス、何ウカ是マデ御採用ニナツテ居ル所ノ御方デ御經驗ニナツタ所ヲ委シク拜聽致シタウ御座リマス

○四十番(廣島市) 私ノ方デハ目下カート式ニ依テ行ツテ居リマスガ、是ハ四十二年度カラ實行シテ今日ニ及ンデ居リマスガ、從來ノ徴收簿ヲ年々使ヒマシテ、是ニ依テ整理ヲ致スノトカート式ニ依ツタノトヲ比較スレバ雲泥ノ差ガアル、即チ其効果ニ於テ大ニ見ルベキコトガアリマス、第一ニ只今神戸市カラ御述べニナリマシタ通りニ手數ヲ省クト云フコトハ中々少クナイ、夫カラ又此既納者未納者ヲ調べ分ケルト云フコトモ極メテ敏速ニ正確ニ出來マス、元ノ徴收簿ノ如キデハ消込ヲ押シマスルト云ツテモモウ後ヤ先キニシテ行クコトデアルカラ既未納者ヲ分ケルコトモ中々容易デアリマセヌガ、此カート式ニ致シテカラハ既納者ハ別ノ箱ニ區別ヲ致シマシテ、然ウシテ未納者丈クハ殘ルト云フ斯ウ云フコトニシテ居リマスカラ、毎日既納者ガ幾許未納者ガ幾許ト云フコトガ、分ツテ來ルヤウニナツテ居リマス、夫カラ又未納者ヘ發シマスル所ノ督

促狀ノ如キモ調製シタリスル上ニモ舊帳簿ノ如クニ後ヤ先キニ搜索シナイデ直チニ未納者ノカートニ依ツテ行リマシタナレバ、是亦直チニ明瞭ニ出來ルト云フ点ガアリマス、夫カラ一番ノ目的トシテ居ル所ノ費用ノ節減ハ小クナイ、舊帳簿デアレバ年々多分ノ費用モ要シ又一年限りノモノデ御座リマス、私ノ方ニハカートヲ六ケ年間一紙ヲ以テ使用シ得ルノデアリマス、夫デ舊帳簿ヲ六ケ年間調製シマスル所ノ手數ト云フコトヲ省イテ居リマス、是ガ非常ノ利益デ御座リマス、夫カラ只今二十一番カラ御話モ御座リマシタガ、成程紛失ト云フコトハ當初杞憂ヲ懷イテ居リマシタ、然ルニ四年間取扱フテ居ルニ今日マデ未ダ紛失ト云フコトハアリマセナシ、夫デ當初心配致シマシタノハ今日デハ何ソノ雜作モナイト云フ譯ニナツテ居リマス、先ヅ然ウ云フ方カラシテ利益ノ点ガ多々御座リマス、夫カラモウツツ利益ノ点ハ此取扱ヒ掛員ヲ一名減員シテ居リマスガ、夫ガ又永遠ニ及シテ大變ノ利益デアル、其他諸種ノ利益ノ点ヲ積算スレバ費用ノ節約ガ少カラシメテ居リマス

○二十三番(長崎市) 是ハ至極宜シイダラウト思ヒマスガ、廣島市ニ於テハ帳簿ノ編纂方ハ伊呂波分ケニシテ御座イマスカ、又ハ姓名分ケデ別ニシテアリマスカ、若シ姓名分ケニシテ居ラレルト云フコトニナレバ町名ガ亂雜ニナリハ致シマセヌカ、然ウシタナレバ納入告知書ヲ發表スル時分ニ納入ノ所ヲ見出スニ不便利デハアリマセヌカ、其邊ハ何ウ云フ行リ方ニナツテ居リマスカ

○四十番(廣島市) 私ノ方ハ専用栓ニ置キマシテハ給水栓台帳ト云フモノガアリマシテ、其頁數ノ番号トカートノ番号ト符合スルコトニ致シテ居リマス、夫カラ共用栓ニ就テハ共用栓台帳ガアリマシテ、其番號ハ公

設ハ一栓毎ニ私設ハ一ヶ町村毎ニ番号ヲ附シテ之トカートガ符合シ本人ノ請求書共右ノ番号ガ符合シテ夫々
對照スルコトニナツテ居リマス

○十七番(堺市) 一寸四十番ニ御尋ネヲ致シマスガ、此舊式ノ帳簿ニ御依リニナツテ居ツテ此カート式ニ御
改メニナル時分ニ要スル費用ヲ御調べニナツテ居リマスレバ、一寸其コトヲ……

○四十番(廣島市) 一寸手許ニ費用ノ控ガ御座リマセスガ、御入用デアリマスレバ、又後デ御覽ニ供シマス
○十二番(大坂市) 大坂ハ餘所トハ多少趣キヲ異ニシテ徴收ハ區役所デシテ居テリマス、夫デ區役所デ徴收

シテ居リマスカラ、何處其處ノ各戸ノ使用料ニ就テハ幾許デアルト云フコトヲ決定シテ然ウシテ區役所ニ通
知スルノデアアル、然ウ云フ必要ガアルカラ其通知ヲ所謂カート式ニ記入スル其通知ガ即チ徴收簿ニナツテ仕
舞フ、夫ニ依テ區役所デ整理ヲ致シマス、其通知ガ通知書兼徴收簿ニナルノデアリマス、是ハ四十三年度カ
ラ實行シテ居ルニ其成績ハ非常ニ宜シイヤウデアリマス

○議長(中山助役) 外ニ御實驗ニナツテ居ラレル御地方ハ御座リマセスカ、此問題ハ如何ニ致シマスカ
○二十一番(神戸市) 確ニ東京市デハ御實行ニナツテ居ルヤウニ考ヘテ居リマスガ、未ダ御出席ニナツテ居
リマセヌカラ、夫デ宜シウ御座リマス

○議長(中山助役) 夫デハ是デ終了シタモノト認メマス
○議長(中山助役) 次ハ第二十二移リマス

(新)二十 硝酸簡易定量法ノ件 (神戸市)

(新)二十一 沃度亞鉛澱粉液調製法一定ノ件 (神戸市)

(新)二十二 水中ニ於ケル「グイヅリオ」ノ意義 (神戸市)

(新)二十三 水中ニ於ケルコックケンノ病原性ニ就テ (神戸市)

○二十一番(神戸市) 此二十、二十一、二十二、二十三ノ問題ニ就テハ止ムヲ得ヌコトデ主任者ガ出席致シテ
居リマセヌデ、是ハ次會ニ延期ノコトニ御願ヒヲ致シタイ

○議長(中山助役) 諸君御聽キノ通りニ二十、二十一、二十二、二十三ハ主任者ガ出席ニナツテ居ラヌデ延期
シテ貰ヒタイト云フコトデアリマス、御異議ガ無ケレバ然ウ云フコトニ取計ヒマス

(「異議無シ」ト呼ブ者アリ)

夫デハ其コトニ取計ヒマス

○議長(中山助役) 此場合ニ諸君へ御協議ヲ致シマスガ、今日ノ議事日程ハ豫テ御報告致シテ居ル通りニ正
午マデ議事ヲシテ午後カラハ製紙會社工場、絹糸紡績工場、全國特産品博覽會ヲ參觀スルコトニ取極メテ居
リマスガ、然ルニ餘程議事ガ輻輳シテ居ルデ成ルベクハ開期中ニ議了シタイト思ツテ居リマスガ、殊ニ今日
ハ雨天デアリマスカラ、午後ノ二時マデ會議ヲシマシテ夫カラ參觀スルコトニ致シマス、尤モ此製紙會社ノ
工場ハ廣島ノ會議ノ時分ニ廣島ノ製紙會社ヲ御覽ニナツタ御方モアリマスガ、其本工場デアリマス、是ハ廣
島ノト大シタ相違ハ無イカラ寧ロ製紙會社ノ工場ノ參觀ハ省キマシテ、絹糸紡績ト博覽會丈クハ御巡視ヲシ
テ戴キタク御座イマスカラ、是ヲ一應御協議致シマス

〔賛成々々〕ト呼ブ者アリ

御異議が無クンバ午後二時マデ議事ヲ繼續致シマシテ、午後二時カラ只今申上ダタニケ所ヲ參觀スルヤウニ致シマス

○議長(中山助役) 次ハ第二十四ニ移リマス

(新)二十四 計量給水料ニ對スル會計年度整理法如何 (長崎市)

○二十三番(長崎市) 是ハ至ツテ平凡ナ問題デアリマスガ、御承知ノ通りニ會計法ニ依レバ會計年度ナルモノハ四月カラ起ツテ翌年ノ三月ニ終ル、夫デ是マデ私ノ方ニモ經常豫算ノ編成法ハ其年四月カラ起ツテ翌年ノ三月迄ノ一ケ年分ヲ編入シテ參ツテ居リマス、今度内務省令デ財務規程ガ出來テ、其規定ノ第三條ニ依レバ市町村條例又ハ豫メ市町村會ノ議決ヲ以テ納期ヲ定メタル收入ハ其納期末日ノ属スル年度トアリマス、然ルニ我市給水規則ニ於テハ計量給水料ハ毎月々末水量使用高ヲ点檢シ翌月十八日迄ニ納付セシムル規定ニナツテ居リマスカラ、從來ノ年度末三月分ノ給水料ハ翌年度ノ收入トナサザルヲ得ザルコト、ナリ豫算ノ編成モ從ツテ其内容ヲ變更セネバナランコトニナリマシタ、故ニ此場合ニ於テ各市ノ取扱振ハ如何ニセラル、ヤ承リマシテ、夫ヲ參考ニ致シタイ考ヘデアリマス

○十二番(大坂市) 大坂市ハ全部計量法ヲ取ツテ居リマスカラ、其結果トシテ何ウモ止ムヲ得ナイ、此財務規定ニ依ツテサヘ一月カラ……夫デ湯屋ダトカ特別ニ餘計ニ使フモノハ毎月徴收シテ居ル、其毎月徴收シテ居ルモノヲ……ト云フコトニナツテ居リマス

○二十一番(神戸市) 神戸市デハ繼續一貫シテ使用シテ居ルモノハ……何ウモ此三月ト云フ月ガ前年度ニ附クノト翌年度ニ附クノデ實ハ整理上困ツテ居リマスケレ共、財務規程ニハ然ウナツテ居リマスカラ、夫ニ從フテ整理シテ居リマス

○二十六番(佐世保市) 私ノ市モ全部計量法ヲ行ツテ居リマス、尤モ私ノ方ハ毎月徴收ニナツテ居リマス、夫デ三月分ハ翌年度ニ這入ルモノトシテ整理致シテ居リマス

○四十五番(下關市) 私ノ方ハ二十三番カラ御述ベニナツタヤウナ實際ノ狀況デアリマスガ、殊ニ私ノ方ハ工場等ニ属スルモノハ前納ニシテ居ラスデ後納ニシテ三ケ月毎ニ徴收スルコトニシテ居リマスカラ、一月カラ三月マデハ翌年度ニ向フノデ餘程經濟ノ關係上困ル實況デアリマシテ、縣廳カラ此財務規程ノ施行上ニ就テ改正ヲ要スル意見ガアルナレバ提出シタガ宜カラウト云フコトヲ云フテ來マシタカラ、其機會ニ改正ノコトヲ申立テラシタヤウナ次第デアリマス

○二十三番(長崎市) 各市カラ御意見ガ出マシテ了解致シマシタガ、只今ノ御話ニ依レバ私ノ申シタヤウニ各市トモ御困リノヤウデアアル、今ノ下關トシテノ御申立ニ御賛成ヲ致シマスガ、是ハ何處トモ困ツテ居リマスカラ、此ノ更正ノコトヲ申立テタイ考ヘデ居リマス、夫デ私ハ其伏線ニ此案ヲ出シタノデアリマス

○七十番(岡山市) 私ハ一寸闕席シテ居リマシタ爲メニ、長崎市カラ前ニ御述ベニナリマシタコトヲ拜聽致シマセナダノデアリマスガ、只今御述ベニナリマシタ所ヲ承ツテ見レバ、給水料ノ徴收方ニ就テ内務省令ノ市町村財務規程第三條ノ歳入年度所屬區分ノ改正ガ必要ナル如ク御考ヘニナツテ居ルカノヤウニ察セラレ

マス、夫デ各市ノ御意見ガ一致シマスルナラバ止ムヲ得マセズデ御座リマスガ、本番ニ於テハ此會計年度ノ區分方ヲ改正セラル、ノ必要ハ無イト考ヘテ居リマス、其理由ヲ委シク述ベマスレバ長クナリマスカラ、簡短ニ申シマスガ、會計年度ハ出納決算整理ノ爲メニ設クルノデアツテ、一般納人ハ其年度ノ區分方ガ如何ニナラウト、餘リ關係ハナイ、然シナガラ收納區分、納期ナルモノハ租稅デ所謂四大原則中ノ一ツデ最モ大切ナ事柄デアリマス、夫デ給水料徴收ニ付テ收納區分納期ノ定メ方ハ如何デアルカト云フニ、從來一ク年度四月ヨリ三月マデヲ或ハ二期或ハ三期四期若クハ毎月徴收ト云フ如クニ、其地方ノ狀況ニ依リ適宜ニ定メラレテ居ルヤウデアリマス、試ミニ租稅ノ例ヲ考ヘマスニ、地租ヲ一期カラ六期マデニ分ツテアリ、其六期ノ納期ハ翌年四月以後ニ涉ルカラ、會計所屬年度ノ上ニテハ翌年度ノ歳入ニ這入ルコトニナツテ居リマス、又酒類造石稅ノ納期ハ一種特別デアルケレドモ、醬油造石稅ハ其年一月ヨリ四月マデ査定済石數ニ係ル稅額ヲ第一期トシ七月限り徴收、五月ヨリ八月マテノ査定石數ヲ第二期トシ十一月限り、九月ヨリ十二月マデ査定石數ニ係ルモノヲ第三期トシ翌年三月限りニ納ムベシト定メラレテ、一會計年度ニ收入サレテ居リマス、其他大概曆年ニ依リ收納區分ヲ數期ニ分割サレテ居ルヤウデアリマス、市町村ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ト同ジト云フコトデアツタノデ財務規程ノ制定ニ依リ益々明瞭ニ全然一致ヲスルヤウニナツタノデアリマス、然ルトキハ給水料ノ收納區分納期ヲ定ムルニモ租稅ノ例ニ準シ倣フテ、曆年ニ依リ一月ヨリ十二月ニ至ル一ケ年分ヲ分割シ、何月ヨリ何月マデヲ何期分トシ何月何日限リト云フ如ク改定シテ其納期末日ノ所屬ニ依リ財務規程ノ示サル、所ニ從ヒ、年度ヲ區分整理スルノガ相當デアラウト考ヘラレマス、本市ハ此ノ方針ヲ以テ

使用條例ヲ改正スル機會ニ於テ納期ヲ改メマシテ本年十月一日ヨリ實施シテ居リマス、本年度ハ歳入出豫算上幾分ノ欠額ヲ生スル筈デアリマスケレドモ、翌年度カラハ順當ニナツテ來マスノデ、差支ナイト存ジマス、斯ノ如キ譯デアリマスデ別段ニ財務規程ノ年度區分ニ係ル條項ノ改正ヲ求ムル必要ハ感ジマセヌノミナラズ、此等條項ノ改正ハ迎モ希望ヲ達スルコトガ六ツカシイコトカト信ジマス

- 議長(中山助役) 二十四ニ就テハ他ニ御意見ハ出マセヌカ、二十三番ハ何ウデアリマスカ
- 二十三番(長崎市) 各市ノ御取扱振リハ克ク分リマシタ
- 議長(中山助役) 他ニ御異議ガ無クバ是デ結了シタコトニ致シマス
- 議長(中山助役) 次ハ第二十五ニ移リマス

(新)二十五 水料ニ對スル督促手數料ハ別ニ徴收簿ヲ作製スルカ又ハ附記ニシテ整理スルヤ

(長崎市)

○二十三番(長崎市) 之ハ至ツテ平凡ナ問題デアリマスカラ、御讀ニナツタナレバ御分リニナルダラウト思ヒマス

○十七番(堺市) 私ノ方デハ其督促狀ヲ發スル際ニ滯納額整理簿ト云フモノヲ拵ヘマシテ、其滯納額整理簿ニ附記シテ取扱ツテ居リマス

○七十番(岡山市) 岡山市モ只今十七番カラ御述ベニナリマシタ如クニ、矢張り別ニ滯納額整理簿、給水料滯納額整理簿ト云フモノヲ設ケテ居リマスガ、乍併極メテ滯納者ガ少數デアリマスカラ、然ウシテ扱フテ居

ルノデアリマスガ、市税ノ方ハ滞納者ガ多數デアリマスカラ、夫ハ別ニ帳簿ヲ拵ルト云フコトニナレバ矢張り帳簿ヲ二重ニ拵ヘルヤウナ煩雜ガアルノデ丁度長崎市御提案ノ後段ニ御記載ニナツテ居ルヤウニ本簿ニ附記シテ扱フヤウニナツテ居リマス

○二十一番(神戸市) 神戸デハ此給水料ハ振換貯金法ニ依ツテ郵便局ニ納メルト云フコトニナツテ居リマスルデ、此督促手数料ヲ取ラネバナラント云フ時期ニナレバ郵便局ヘ何日マデニ納附シナイ者ハ手数料ヲ徴收シテ貫ヒタイト云フコトヲ通知シテヤル、然ウスレバ其日限ヲ以テ以後ニ納メテ來タモノハ告知書ニ依ツテ手数料貳拾錢ト云フ判ヲ捺イテ取ルコトニシテ居リマス、夫デ手数料ト云フ台帳ガアツテ夫ニ記入スルコトニシテ居リマス、今度カート式ニシタナレバ……唯ダ記號ヲ捺イテ済マサウト思ツテ居リマス、夫デ別ニ徴收簿ト云フモノハ作ラヌ積リデアリマス

○議長(中山助役) 只今マデノ御報告デ二十三番ハ御満足デアリマスカ

○二十三番(長崎市) 宜シウ御座リマス

夫デハ終了シタモノト認メマス

○議長(中山助役) 次ハ二十六ノ問題ニ移リマスガ、之ハ報告ノ七ト牽連シテ居ルヤウデアリマスルデ此報告ノ七ヲ併合致シタク御座リマスガ、然ルニ此七ノ提出者タル東京市ガ未ダ御出席ニナツテ居リマセズデ、二十六ノ問題ハ後廻シニシテ二十七カラ行リマス

○二十六番(佐世保市) 此二十七、二十八、二十九ハ關連シテ居リマスルデ、事ノ進行ヲ計ル爲ニ一括シテ

議ニ附セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(中山助役) 諸君ニ御異議ガ無クンバ三問題ヲ一括シテ御協議ニ附シマス

(新)二十七 源水ノ濁度簡易試験法及濁度ニ對スル藥物ノ割合 (佐世保市)

(新)二十八 藥物注入ノ濾過水ハ鉄管及鉛管ニ害ナキヤ (佐世保市)

(新)二十九 藥物注入濾過水ト普通濾過水トノ耐久比較 (佐世保市)

○二十七番(佐世保市) 此三問題ニ就テハ別ニ説明ヲ要スルコトハ無イヤウニ思ヒマスガ、此二十七ノ源水ノ濁度簡易試験法及濁度ニ對スル藥物ノ試験ニ就キマシテハ、私ノ方デハ曾テ藥物ヲ注入シタク云フコトハ無イノデアリマス、所ガ九月ノ八日ニ非常ナ暴風雨デ出水ヲ致シマシタガ爲ニ源水ガ未ダ曾テ見ナイ程ニ濁ヲ致シマシタ、其際ハ止ムナク藥物ヲ注入致シマシタ、然ウ云フ際ニ方ツテ何カ濁度ヲ迅速ニ且ツ簡易ニ試験スル方法ナリ、尙ホ夫ニ對スル藥物ノ割合ヲ迅速ニ知り得ル方法ガアリマスレバ、御實驗ノアル市ノ御教示ヲ仰ギタク御座イマス、夫カラ二十八ノ藥物ヲ注入シタク濾過水ハ鉄管ナリ鉛管ニ何等ノ害ヲ及サナイカト云フコトハ、私ノ方デハ曾テ實驗ガ無イノデアリマスカラ、是モ御實驗ノアル各市ノ御意見ヲ承リタイ、夫カラ二十九ノ藥物ニ依ツタ濾過水ト普通ノ砂濾シノ濾過水等ヲ淨水トシテノ耐久ノ比較ヲサレタ所ガアレバ是亦承リタイノデアリマス

○十一番(大阪市) 大阪市ニ於テハ餘リ頻繁デハ御座リマセスガ源水ノ濁濁ヲシタ場合ニ藥物ヲ注入シテ沈澄ヲ謀ル場合ガアリマス、夫ハ先ツ濁度ヲ見ルニ白金ノ針金ヲ使ヒマシテ、其針頭ヲ濁水中ニ浸ケテ肉眼ヲ

以テ見得ル深サガ幾許マデ見得ルカト云フコトヲ以テ、藥物ヲ入レル割合ヲ變ヘテ居リマス、夫デ其白金線ノ濁水中ニ沈ミマシテ肉眼ヲ以テ見得ル深サガ三「インチ」迄デアル時分ニハ五万分ノ一、夫カラ三「インチ」以上六「インチ」マデニナレバ拾万分ノ一、六「インチ」以上ノ濁リニナレバ藥物ハ入レテ沈澄サセルト云フ方法ハ執ツテ居リマセヌ、二十八ノ問題ハ藥物注入ノ濾過水ハ鉄管及鉛管ニ害ハナイカト云フコトデアリマシガ、是ハ鉄管ナリ鉛管ナリニ害ヲ及ス程ノ藥物ノ量ヲ入レバ必ず又人ノ身体ニモ非常ナ害ヲ及スデアラウト思フ、又雷ニ人身ニ其害ヲ及スノミナラズ諸般ノ工業上ニモ非常ナ差支ヲ起シハセンカト思ヒマス、一寸一例ヲ云ヘバ染色ヲ行ル場合ニ於テハ非常ナ影響ヲ有チハセンカト思フ、左様ニ多量ナ藥物ハ此水道水ニ混入スルコトハ到底出來マイト思ヒマス、夫カラ二十九ノ藥物ヲ注入シタ濾過水ト普通濾過水トノ耐久比較ト云フコトハ未ダ大坂ニ於テハ實驗シタコトガナイテ申上ゲ兼マス

○五十六番(朝鮮總督府) 朝鮮總督府ニ於テハ平素藥物ヲ注入シテ居ルコトハアリマセヌケレ共、非常ニ濁濁スル場合ノ濁度ヲ測ル方法ハ今大坂市ヨリ述ベラレタル通ト同ジ方法で行ツテ居リマス、但シ私ノ方デハ五「インチ」マデハ明礬ヲ混入スルモ五「インチ」以上ニナレバ明礬ヲ使ハスト云フコトニ極メテ居リマス、夫カラ藥物ノ割合モ大坂市ト略ボ同ジデアリマス、夫カラ藥物ヲ注入ノ濾過水ハ鉄管及鉛管ニ害ナキヤト云フコトハ然ウ云フ状態デアリマスカラ、未ダ經驗モアリマセヌガ、考ヘテ見ルニ分量ハ極ク僅デアツテ且ツ硫酸礬土ノ如キハ硫酸ト「アルミニウム」ト化合スルカト或ハ硫酸礬土ノ中ニ這入ツテ居ルモノガ鉄或ハ鉛ニ化合スル場合ガアレバ其藥物ハ非常ニ不純ナモノデアリマシテ、然ウシテ……此前ノ協議會デアリマシタガ、

藥物ノ使用法并ニ其藥物ノ試験方法モ協定サレテ居ルヤウニ考ヘテ居リマスガ、彼ノ協定セラレタノヲ適當トシテ居ル藥物ナレバ鉄管ナリ鉛管ニ害ヲ來タスコトハナカラウト思ヒマス

○二十一番(神戸市) 神戸デハ藥物ノ沈澄ハ時々行ツテ居リマス、是ハ御承知ノ通りニ貯水池カラ源水ヲ取ツテ居リマスルデ濁水ノ場合ニハ急ニ雨デモ降レバ何ンデモ彼ンデモ取込マネバナラス、夫デ一時ニ濁濁シテ來ルコトガアル、然ウ云フ時期ニハ暫クノ間藥物沈澄ヲ行ツテ居マスガ又雨ノ都合ノ宜イ時ハ一年ノ内ニ日常使ツテハ居リマセン其分量ハ「アルカリ」ノ分量ニ依ツテ夫デ……濁度ノ極ク少ナイ場合ニ十分ノ一ヲ使用シテ見タコトガアリマスガ、何ウモ効力ガ宜クナイ、夫カラ以來餘リ濁度モ大シタ變化ハ無イノデアリマシテ餘リ變リマセヌカラ、五万分ノ一ト云フモノヲ大概用井テ居リマス、夫デ二十八ニ對スル鉄管ナリ鉛管ニ害ヲ及サンカト云フ例ハ源貯池カラ出ル水ヲ試験スレバ少シク硫酸ガ殖ヘル嫌ヒガアル、夫デ何チラカト云ヘバ微量デ別ニ著シク害ヲ及ス程度デハナイケレ共幾分カ遊離硫酸ガ殖ヘルカラ宜シイ方デハ無イ、併シ別段ニ害ガ及ブト云フ程度デハ無イ、二十九ハ試験ヲシタコトガ無イデ分リマセヌ

○八番(京都市) 京都市デハ絶ヘズ藥物ヲ注入シテ行ツテ居リマス、但シ普通ノ方法トシテハ……約一晝夜ニ三百八十「フート」ノ速度で行ツテ居リマス、其点ハ非常ニ相違シテ居リマスカラ、濁度ニ對スル藥物ノ割合標準トシテ行ツテ居ル方法ヲ云ヘバ濁度ガ十度ノ時ハ百万分ノ六、八二十五度ノ時ハ百万分ノ八、五五十度ノ時ハ百万分ノ一二〇ト云フ風ニ濁度ガ多クレバ多イ程加ヘル、京都ノ源水ハ琵琶湖デアルカラ濁度ノ變化モ始終起ツテ參リマス、夫デ只今普通行ツテ居ルノハ十万分ノ一乃至八万分ノ一ヲ加ヘテ居リマス、

夫デ大シタ濁度ノ變化ハアリマセヌ、然ウシテ其加ヘル量ハ一方ハ濁度ガ標準ニナルガ今二十一番ガ云ハレ
 タ如クニ「アルカリ」ガ非常ニ關係ヲ致シマスカラ如何ナル場合デモ硫酸礬土ヲ加ヘナイ、何時モ「アルカ
 リ」ガ五度位ハ残ツテ居ル程度ニ加ヘテ居ル、夫カラ二十八ノ鉄管及鉛管ニ害ナキヤト云フ問題デアリマ
 スガ、只今二十一番ノ御話デハ遊離酸ガ残ツテ來ルト云フ御話モ御座リマシタガ、京都市デハ然ウ云フ点ハ
 認メマセヌ、唯ダ此硫酸礬土ヲ加ヘル結果トシテ硫酸「カルシウム」ガ殖ヘテ來ル、夫デ四月カラ六月迄ノ試
 験ノ結果ニ依レバ源水ヨリモ濾過水ノ方ガ硫酸ノ量ガ殖ヘテ居ル、併シ之ハ殖ヘル量ガ八万分ノ一硫酸礬土
 ヲ加ヘタ時ニ、一寸云ヘバ源水ニ〇、〇八三九以上ガアリマシテ、濾過シタモノガ〇、一四八其位ノ程度ヲ
 殖ヘテ參リマス、之ハ石膏ノ形ニナツテ居リマスカラ別ニ鉛管ヲ侵ス恐レハナカラウト思ヒマス、或ハ其部
 分ニ沈澱シテ來ルカト云フ傾向ハアルラシク思ヒマス、市内栓ノ水ヲ取ツテ調べタ結果ハ濾過池ノ水ヨリモ
 硫酸ノ量ガ減ツテ居リマス、其外ニ化學的ノ害ハ無イヤウニ認メテ居リマス、二十九ノ問題ハ比較スルコト
 ガ出來マセヌデ、唯ダ二十七ト二十八ノ問題ニ就テ一寸御參考マデニ御話ヲ致シテ置キマス

○議長(中山助役) 是デ御異議ガ無ケレバ終了ト認メテ差支ハアリマセヌカ

○二十六番(佐世保市) 有難ウ御座リマス

○議長(中山助役) 然レバ終了シタモノト認メマス

○議長(中山助役) 第三十ト三十二ノ問題ヲ併合シテ……………

(新)三十 市區改正其他ニヨリ水道管ノ移轉ヲ要スル場合ハ其費用ハ如何ニセラル、ヤ(佐世保市)

(新)三十二 他事業ノ爲メ水道鉄管其他ニ異動ヲ生セシメタル場合ハ費用ノ全額ヲ企業者ニ於テ支
 辨スベキ規定ニ一定スル必要ナキヤ (青森市)

○二十六番(佐世保市)之モ至ツテ單純ナ問題デアリマシテ、市區改正或ハ其他營利會社ガ事業ヲ營ム爲ニ水
 道ノ配水管移轉ノ必要ヲ生ジマシタ場合ニ夫等ノ費用ハ如何ニセラレテ居ルノデアリマシヤウカ、其必要ヲ
 生ゼシメタル者ノ負担トシテ居ラレマスカ或ハ水道ノ負担トセラレテ居リマスカ、實ハ私ノ方デハ往々國縣
 道ノ改修ヲ行ラレマス、其爲メニ市ガ費用ヲ負担シテ其水管ヲ移轉セネバナラント云フノデ甚ダ迷惑ヲシテ
 居リマス、乍併國ノ所有スル土地ニ向ツテ市ガ營造物ヲ作ツテ居ルノデ國ノ都合ニ依テ其道ヲ改修スルニ從
 ツテ水管ヲ移轉スル爲メニ生ズル費用ノ負担スルコトモセナイデハ何ウカト思ヒマスガ、各市ノ御實驗ヲ承
 リタイ

○五十八番(臺灣總督府) 台北ニ於テ市區改正ノ工事ヲスルニ方ツテ水道鉄管ヲ裝置スル必要ナ場合ハ水道
 ニ於テ其工事ヲシテ居リマス、詰リ其負担ハ水道ニナツテ居ル、夫ハ市區改正モ水道ノ工事モ總テ一ツノ役
 所ニ於テシテ居リマスカラシテ、其間ニ種々ナル便宜等ハ御座リマスガ、種々都合ガアリマシテ其費用ハ水
 道デ負担シテ居リマス、但シ其市區改正ノ爲メニ若シ水管ノ延長ヲ來タス場合ニ於テハ別ノ方法ニ依ツテ取
 捨ヲ致シテ居ル都合デアリマス、

○十一番(大坂市) 大坂市ニ於テモ此市區改正ト云フ程デモアリマセヌガ、先ヅ夫ニ似寄リマシタ仕事モア
 リマス、又下水道ヲ布設スル爲メニ既設ノ鉄管ガ邪魔ニナルデ移轉セネバ或ハ電話ノ地下線ヲ敷設スルニ非

常ナ害ガアツテ何ウシテモ夫ヲ避ケルコトガ出來ナイデ鉄管ヲ移轉セイト云フコトヲ云ヘバ往々鉄管ヲ移轉セシムルコトガアリマスガ、之ハ何レモ其移轉ヲ要スル方即チ要求者ノ方面カラ費用ヲ全部徴收スルト云フコトデ行ツテ居リマス、夫カラ各戸ニ敷イテアル水管ヲ同時ニ動かサネバナランコトガ之ニ伴ツテ出來テ参リマス、夫ハ一体云ヘバ所有權ガ夫々給水飲用者ニアルカラ其人ガ負担セネバナラン譯デアリマスケレ共、其内容ハ給水飲用者ナリハ電氣燈會社カラ金ヲ取ツテ水道へ廻スト云フ順序デアリマスガ、夫ガ非常ニ煩ハシクナルデ直接ニ其企業者カラシテ費用ヲ水道ノ方ニ拂ハセテ居ル、水道ハ夫モ直ニ行ツテ遣ルト云フ取扱ヒニシテ居リマス

○二十一番(神戸市) 神戸デモ此市區改正ノ爲メニ道路ヲ取擴ゲルト云フ程ノ仕事ハ無イ、云ハ道路ノ改修デアアル、夫ニ向ツテ水道ノ配水管或ハ小サナ管ヲ移轉スル場合ハ度々アリマス、其際ニ要スル費用ハ悉ク其企業者カラ取ルコトニシテ居リマス、之ハ縦合市デ行ツテモ水道ノ收入ニスルノデ他ノ官署デ行ラレル場合モ勿論デアアル、一体水道ハ一ツノ別經濟デ縦合市デ起工サレル場合デモ其費用ハ水道ニ取ル、夫デ引込管ハ各持主ガ行ルガ當然デアリマスガ、實ハ便宜上企業者カラ負担サセル場合モアリマス

○四十番(廣島市) 廣島市ハ市區改正等ノ實例ハアリマセスガ、私ノ方ニハ目下。下水道工事ヲ行ツテ居ルノデ、之ハ市ノ仕事デアリマスガ、經濟モ違ツテ居ルト云フ方カラ矢張り下水道ノ費用ヲ以テ負担シテ居ルト云フコトニ致シテ居リマス、其他瓦斯會社ノ鉄管ノ埋設デアルトカ軌道會社ノ線路敷設ノ爲メニ水管ノ移轉ヲスルト云フ如キコトモ、只今大坂ノ方カラ御述ベニナツタノト同一デ御座リマス

○二十六番(佐世保市) 神戸ニ御尋ネテ致シマスガ、國縣道ノ擴張若クハ改修ノ場合ニ方ツテ其府縣カラ此水管ノ移轉費ヲ御取リニナツテ居リマスカ

○四十五番(下關市) 大体二十一番ノ御扱ヒニナツテ居ルヤウナ振合ヒデアリマスガ、縣カラ取ツタコトガ一回アリマシタ、之ハ或ル公道ニ縣ノ營造物ヲ拵ヘル際ニ縣カラ費用ヲ負担シテ呉レタコトガ一回アリマシタ、尙ホ二十六番其他ノ人ニ就テ承リマスガ、鐵道廳内ノ工事ヲ擴張スルニ水管ノ移轉ヲ要スル場合ガアツタ時ハ或ハ鐵道院カラ其費用ヲ御取リニナツタト云フ場合ガアリマスレバ伺ヒタイ

○二十一番(神戸市) 神戸デハ鐵道ノ擴張モ未ダアリマセスカラ、實際取リマシタ例ハナイノデアリマス、是迄ノ慣例上然ウ云フコトガアリマシタナレバ、其費用ハ出シテ貰フ考ヘデ居リマス、彼ノ遞信省ノ四ヶ年工事トカ地下線工事トカニ就テ徴收シタコトハアリマスガ、併シ鐵道ト縣道ニ就テハマダ徴收シタコトハアリマセス

○十九番(横濱市) 只今下ノ關カラ鐵道ノコトガ出マシタガ、私ノ方デハ丁度其例ガアリマスカラ御話ヲ致シマス、丁度横濱ハ停車場ノ移轉ニナル爲メニ其移轉セラレル宿驛ニ鉄管ヲ敷設シテアリマスガ、之ヲ移轉スル費用ハ此方カラ別ニ申シマセステ御座リマシタガ、管理局ノ方カラ移轉ノ費用ヲ出スカラ移轉シテ呉レト云フコトノ交渉ヲ受ケタノデ移轉ヲ致シマシテ御座リマス、夫カラ其他ノコトニ就テハ他市カラ御述ベニナリマシタ通りニ、總テ企業者ノ方カラ費用ヲ出シテ貰フコトニナツテ居リマス、夫カラ會社等ノ如キハ其水管ヲ移轉スル前ニ移轉スル丈ケノ費用ヲ調べテ然ウシテ其費用ノ半額ヲ豫納シテ貰フテ移轉スルト云フコ

トニ取扱ヒヲ致シテ居リマス

○十七番(堺市) 私ノ方デハ何時モ道路ノ取擴ゲ工事費用ハ市デ負担致シテ居リマス、所ガ但堺電車ガ或ル道路ヲ縦斷致シマシタ爲メニ非常ニ道路ガ廣クナリマシテ、夫デ從來ハ五間ナレバ五間幅ヲ市デ負担スレバ宜シイモノガ十間ニナツタト云フ勘定デ市ノ負担ハ非常ニ増加スル譯ニナリマシタデ、其差額ハ會社ヘ交渉シテ取附ケルコトニ致シマシタ、夫ハ幾許ト云フ金額ヲ豫メ極メマシテ、然ウシテ其年度中ニ水管ヲ取附ケマシタ數ニ依テノ金額ヲ、其年度ノ終リニ會社カラ取りマス、其他瓦斯會社ナゾガ往々瓦斯管ヲ敷設スル際ニ、各戸ニ取附ケテアル鉛管等ニ障害ヲ與ヘタ場合ハ、其都度々々會社ノ方カラ取ツテ居リマス

○三十七番(青森市) 實ハ私ノ方テモ此事業ニ當ツテ來テ然ウシテ前年各市ヘ書面ヲ以テ照會シタコトガアリマシタ、只今各市カラ承ルト殆ンド區々ニナツテ居ルヤウデ、或ル市ハ企業者カラ費用ヲ取り、或ル市ハ企業者カラ取ラナイト云フコトニナツテ居リマスガ、一体何レモ水道ノ經濟ハ特別經濟ニナツテ居ツテ、市ノ仕事ニセヨ國ノ仕事ニセヨ、取ルベキモノハ取ルノガ當然ヘデアラウト云フ考ヘヲ以テ居リマス、然ウシテ條例等モ各市ノヲ取調べタケレ共、明ニ載ツテ居ルノモアリ、夫カラ條例又ハ給水規則等ニ記載ガシテナイ所ガアルノデ、私モ非常ニ惑ヒマシタノデ、此際水道ハ特別經濟デアルカラ本會ノ決議ニ依テ若シ一定スルト云フコトニナレバ、使用條例ナリ給水規則ニ夫ヲ記載シテ行ツタナレバ大變ニ好都合デハナイカト云フ考ヘデアリマス、今各市ニ於テ企業者カラ取ツテ居ラレル所ハ夫デ宜シウアリマスガ、現在取ツテ居ラレナイ所ノ規則ヲ改正スル必要ハ無イカト云フコトヲ尙ホ附加ヘテ申上ゲテ置キマス

○十一番(大坂市) 此費用ノ負担ニ就テハ各市ノ狀況ニ依テ決定スベキモノデアリマスカラ、豫メ茲デ一定スルコトハ困難デアラウト思ヒマスカラ、本問題ニ就テハ反對ヲ致シマス

○議長(中山助役) 三十ノ方ハ色々各市ノ御取扱ヒモ御報告ニナリマシタカラ、提出市ハ御満足デ御座リマシヤウ、三十二ノ規定ヲ一定スル必要ナキヤト云フノニ就テ御協議ヲ致シマス

○十七番(堺市) 是ハ矢張り規定中ニ掲ゲマシタ所デ、最後ノ強制力ガ無ケレバ其結果ハ交渉デ進ンデ行カシケレバナラント思ヒマスカラ、寧ロ之ハ無キ方ガ宜カラウト思ヒマス

○議長(中山助役) 段々不必要ト云フ御意見ガアリマスガ、然ウスレバ本問題ハ不必要ト認メテ御異議ハアリマセヌカ、

(「異議無シ」ト呼ブ者アリ)

夫デハ不必要ト認メマス

○議長(中山助役) 夫カラ三十一ニ移リマス

(新)三十一 水道鉄管ニ及ボス震害ノ豫防方法 (青森市)

○三十七番(青森市) 是ハ水道鉄管ニ及ボス震害ノ豫防法ト云フコトニナリマスガ、實ハ本年ノ五月デ御座リマシタガ、私ノ方デ大シタ地震デモナカツタノデアリマスガ、上下動ガ二分六厘水平動ガ三分五厘ノ地震ガアリマシタ、其時ニ殆ンド七十何箇所ノ家屋ガ倒レ、又人畜等ニモ負傷ガ出來マシタ、然ウシテ一時水ハ來ナクナツタノデアアル、元來日本ノ國デモ青森市ノ如キハ餘リ震害ノ多イコトハナイヤウニ聽イテ居リマス

ガ、私等ノ所デスラモ其位ノ地震ニ夫レ丈クノ害ヲ被ツタノデアルカラシテ、其他ノ山間ノ所デハ往々アル
コトデアラウト考ヘラレマスルデ、實ハ私ノ方ノ研究旁々各市ノ實例ヲ承ハリタイト云フ希望デ御座リマス
○二十一番(神戸市) 神戸アタリデハ未ダ斯ウ云フコトニ遭遇シタコトガ無イデ經驗ガナイノデアリマスガ
、今承ハレバ多少考ヘネバナラン問題デハナイカト思ヒマス、夫デ困難ナ問題デハアリマシヤウガ、姑ク調
ベテ見タイト云フコトデ研究題ニシテ殘シテ貰ヒタイト云フ希望致シマス

○議長(中山助役) 御異議ガ無クンバ然ウ致シマス、
此場合一寸少憩ニ致シマス

午前十時五十分休憩

全 十一時開議

○議長(中山助役) 引續イテ開會致シマス、三十三ノ問題ニ付テ御協議致シマス

(新)三十三 球付消火栓ノバッキングゴム以上ノ代用物ナキヤ (青森市)

○三十七番(青森市) 青森市デハ消火栓ハ總テ球付ヲ使ツテ居リマス、其水ヲ止メルバッキングハ全部護謨
デアリマス、實ハ大概ノ所ハ皆護謨ノヤウデアリマスガ、之ハ何ウモチツト弱クツテ不可ナイヤウニ考ヘマ
ス、夫デ若シ之レ以上ノ強イモノガアレバ其モノニ代ヘタイト云フ希望デ御座リマス、之モ先輩各市ノ御實
驗ヲ承リタイト思ツテ提出致シマシタ

○二十七番(佐世保市) 私ノ方ニモ此護謨ニ就キマシテハ色々困ツテ居リマスルノデ、先程「クロンセ」トカ

云ツテ革ニ藥物ヲ注入シテ製シタ極ク滑カナ革ガアルデ夫ヲ取寄セテ使用シテ居リマスガ、是ハ稍々宜カラ
ウト思ツテ居リマス、其價モ護謨カラ比較スレバ廉ク行クヤウデアリマシテ、確カ厚味一步位ノモノデ防火
栓一ヶ所ニ對シテ貳拾五錢位デ出來ルカノヤウデアリマス、一寸御參考ノ爲メニ申シテ置キマス

○議長(中山助役) 佐世保市以外ニハ別段ニ變ツタモノヲ御使用ニナツテ居ラヌヤウデアリマスガ、三十七

番ハ夫デ御満足デアリマスカ、他ニ御異議ガナケレバ三十三ハ終了シタモノト認メマス

○議長(中山助役) 次ハ三十四ニ移リマス

(新)三十四 給水料減免規定ノ内慈善及公共事業ノ種類ノ内容承リタシ (青森市)

○三十七番(青森市) 私ノ方ノ水道使用條例ニ慈善及公共ノ事業ニハ水代ヲ減免スルコトガアリマス、所ガ
其慈善公共ト云フコトノ識別デアリマスガ、之ハ中々困難ナヤウデアリマシテ、表面カラ見レバ如何ニモ慈
善事業ノヤウニ見エマスルガ、其内實ハ幾許カ營利ト云フヤウナコトガ含ンデ居ルヤウニ見エマスルノデ、
實ハ惑フテ居リマスガ、他市デ御扱ヒニナツテ居ル其振合ヒノ内容ヲ承ツテ參考ニシタイト云フ考ヘデアリ
マス

○十二番(大坂市) 大坂市ノ給水使用料ノ免除ハ孤兒院トカ教育院デアル、公共事業トシテハ職業紹介所デ
アル、現ニ免除シテ居ルノハ惣計十一ヶ所アリマス

○十九番(横濱市) 横濱市ハ給水ノ減免ニ就テハ別ニ規定ハ致シテ居リマセヌガ、若シ然ウ云フ者ガ減免シ
テ異イト云フ願ヒガ出マシタ時ハ、其都度市會ノ決議ヲ經テ減免スルコトガ出來ルコトニシテ居リマス、現